

逗子市総合計画

進行管理表

《令和7年度分》

目 次

1	総合計画等の進行管理	1
2	数値目標等の評価基準	1
3	総合計画等進行管理総括表	3
4	総合計画における進捗状況評価一覧	11
5	総合計画における節ごとの進捗状況評価一覧	13
6	総合計画進行管理表	
第1節	共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち	23
第2節	共に学び、共に育つ「共育（きょういく）」のまち	55
第3節	自然と人間を共に大切にするまち	75
第4節	安全で安心な、快適な暮らしを支えるまち	95
第5節	新しい地域の姿を示す市民主権のまち	129
7	まち・ひと・しごと創生総合戦略における進捗状況評価一覧	139
8	まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表	141

1 総合計画等の進行管理

基本構想の5本の柱ごとに設定した数値目標と、各取り組みの方向における具体的施策ごとに設定した重要業績評価指標（KPI）に基づいて、毎年度、実施計画の達成状況を検証していきます。この達成状況をベースに、施策横断的、定性的要素などを勘案して評価を実施し、計画の推進を図っていきます。

実施計画はまち・ひと・しごと創生総合戦略と一体化していることから、総合計画の進行管理は、まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証を同時に行っていく方法で実施します。

そのために、総合計画審議会は、まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理に係る意見聴取を行う懇話会と一体化させて、評価の合理性・整合性の向上を図ります。

2 数値目標等の評価基準

（1）進捗状況評価について

総合計画の節ごとに設定している数値目標、具体的施策ごとに設定している重要業績評価指標（KPI）及び総合戦略の基本目標ごとに設定している数値目標について、次のとおり3段階で「進捗状況評価」（自己評価）を行う。

- A：順調である
- B：概ね順調であるとみなせる
- C：順調であるとみなせない

（2）進捗状況評価の評価基準について

次の基準に沿って、進捗状況評価を行う。

①定量的な目標について

評価年度の想定目標に対し、次のとおり進捗状況に応じた評価を行う。

- A：進捗状況 100%以上
- B：進捗状況 70%～99% ただし、翌年度でも遅れが取り戻せない場合は C
- C：進捗状況 70%未満

②定性的な目標について

評価年度の想定目標に対し、次のとおり進捗状況に応じた評価を行う。

- A：計画通りに進捗している
- B：全てが計画通りには進捗していないが、翌年度には遅れが取り戻せる
- C：計画通りに進捗しておらず、翌年度でも遅れが取り戻せない

総合計画等進行管理総括表

■ 総合計画

□ 第1節

取り組みの推進・改善に向けての意見・提案（今年度、来年度に向けた意見）

【取り組みの方向2-具体的施策③地域医療体制の推進】

・地域医療体制の充実にあたっては、広域的な連携の検討と併せて、市単独での取り組みについても検討されたい。

【取り組みの方向3-具体的施策①健康寿命を延ばしてみんなで元気な高齢者をめざす取り組み】

・前期高齢者（65歳から74歳までの人）が、早い段階から介護予防の意識を持てるよう取り組まれたい。

【取り組みの方向4-具体的施策②障がいのある人の居住支援】

・グループホームについて、実際のニーズを把握した上で施設数を検討されたい。
・人材確保の問題等により、設置を希望する事業者が少ない現状がある。市民の今後の不安材料が解消されるよう取り組まれたい。
・グループホームの施設数だけでなく、施設の定員数や入居率などの情報を明記されたい。

【取り組みの方向4-具体的施策④バリアフリーの推進】

・障がい福祉施策においては、当事者がどのように感じているかが重要な指標となる。また、障がいの種別によりニーズも異なる。障がい者を対象とするアンケートの実施等により現状を把握し、暮らしやすいまちづくりに努められたい。

【取り組みの方向5-具体的施策①妊娠前からの子育ての相談・支援の充実】

・概ね目標を達成している事業よりも、進捗に課題のある他の取り組みにリソースを割くなど、最適なりソース配分について検討されたい。

今後の展開に向けて考慮・検討を要する事項（中長期的視点からの意見）

【取り組みの方向2-具体的施策③地域医療体制の推進】

・高齢化により、地域医療体制の充実は多くの市民が不安を抱える重要な課題である。全国的な医師偏在の問題も踏まえ、1次医療圏、2次医療圏、3次医療圏や地域の医療機関と連携し、引き続き地域医療体制の充実に取り組まれない。

【取り組みの方向2-具体的施策④地域自殺対策の推進】

・ゲートキーパーの養成などの自殺対策に資する取り組みが適切に評価されるよう検討されたい。

【取り組みの方向3-具体的施策①健康寿命を延ばしてみんなで元気な高齢者をめざす取り組み】

・元気高齢者の増加に向けて、若い世代に対する取り組みを検討されたい。

【取り組みの方向3-具体的施策②介護サービス等の保険給付】

・高齢者保健福祉計画の見直し、変更等を踏まえ、実態に即した取り組みを推進されたい。

【取り組みの方向5-具体的施策①妊娠前からの子育ての相談・支援の充実】

・次期計画を策定する際には現状の達成度を考慮したKPIを設定されたい。

その他意見

□ 第2節

取り組みの推進・改善に向けての意見・提案（今年度、来年度に向けた意見）

【取り組みの方向1-具体的施策②生涯を通じた学習活動の支援】

・個人情報保護の観点からガイドブック等に掲載を希望する生涯学習団体数が減少している。団体がガイドブックへの掲載を希望するような対策を検討されたい。

【取り組みの方向2-具体的施策①文化芸術活動の推進（継承と創出）】

・逗子アートフェスティバルについて、企画数や来場者数に加え、認知度についても捕捉を検討されたい。

【取り組みの方向3-具体的施策①スポーツの推進】

・スポーツに取り組んでいない人へのアプローチとして、情報発信にとどまらず、インセンティブ設計など動機付けとなる施策を検討されたい。

【取り組みの方向4-具体的施策①教員の指導力及び教育課題への対応力の向上】

・取り組み⑦の学校施設の整備・充実について、体育館の空調設備など市民の懸念があるものについては、現在の取り組みや、なぜ整備が進んでいないか等を丁寧に説明、情報発信されたい。

・学校の統廃合の問題については、単に学校施設の問題にとどまらず、地域コミュニティの核としての学校の役割という観点からも、市民からの意見を聴取しながら進められたい。

今後の展開に向けて考慮・検討を要する事項（中長期的視点からの意見）

【取り組みの方向4-具体的施策①教員の指導力及び教育課題への対応力の向上】

・研修や授業への取り組みは評価できるものの、過度な負担が教員の疲弊や離職につながるものが懸念される。各種取り組みを効果検証し、必要性の低いものは見直しや廃止も含めて判断し、教員が子どもと向き合う時間の確保に努められたい。

その他意見

□ 第3節

取り組みの推進・改善に向けての意見・提案（今年度、来年度に向けた意見）

【取り組みの方向1-具体的施策⑤良好で持続可能な逗子海岸の推進】

・逗子海水浴場が国際環境認証「ブルーフラッグ」を取得していることについて引き続き積極的な周知に努められたい。

・すべての市所有（管理）施設において、再生可能エネルギーを導入することをKPIとしているが、実績の記載が導入済み施設数のみにとどまっている。KPI（目標値）の表記においては「全施設数（低圧施設・高圧施設）」と「再生可能エネルギー導入率」を併記されたい。

今後の展開に向けて考慮・検討を要する事項（中長期的視点からの意見）

その他意見

□ 第4節

取り組みの推進・改善に向けての意見・提案（今年度、来年度に向けた意見）

【取り組みの方向2-具体的施策①自主防災組織育成の推進】

- ・防災ハンドブックの更新については、KPIの達成を目指すとともに、実際に自主防災組織が育成されているかどうかについても留意されたい。
- ・自主防災組織が存在しているのに機能していない自治会がある。自主防災組織の育成が進むよう、行政と自治会が連携して取り組まれない。

【取り組みの方向2-具体的施策②災害対策に係る整備の充実】

- ・津波避難ビルとして指定を受けることのメリットの明確化や、指定解除されないための対策を検討したうえで、理解・協力をいただけるよう丁寧に働きかけ、目標に近づけるように引き続き取り組まれない。併せて、地域住民への周知活動にも取り組まれない。

【取り組みの方向2-具体的施策③避難行動要支援者への支援の確立】

- ・個別避難計画や制度が正しく理解されるよう、丁寧な説明を心がけられたい。

【取り組みの方向2-具体的施策⑦防災・消防・防犯分野の連携の推進】

- ・昨今は特殊詐欺や匿名・流動型犯罪グループなど、刑法犯の傾向も変化してきており、市民の不安が高まっている。市と警察が連携し、犯罪被害を抑止するためにより一層の周知・啓発に取り組まれない。

【取り組みの方向2-具体的施策⑧犯罪のないまちづくりの推進】

- ・LINEの市公式アカウントの友だち登録者数について、年度ごとの推移を記載されたい。

【取り組みの方向3-具体的施策①歩行者と自転車を優先するまちの推進】

- ・取り組み②の自家用車に頼らないまちづくりの推進について、人口減少やバスの減便等によりバスの利用者は減少傾向にあるが、バス利用者の減少が更なるバスの減便や、自動車利用者の増加につながる可能性があることを勘案した上で慎重に検討されたい。

【取り組みの方向5-具体的施策①逗子海岸保全活用事業の推進】

- ・海水浴客の増加によりまちが一層賑わうのは良いことだが、その一方で、ごみの不法投棄や治安の悪化により、地域住民に負担が生じている。行政や関係機関が連携して受け入れ態勢を整え、引き続き安心安全な海水浴場の運営に努められたい。

今後の展開に向けて考慮・検討を要する事項（中長期的視点からの意見）

【取り組みの方向2-具体的施策⑦防災・消防・防犯分野の連携の推進】

- ・刑法犯発生率には市の貢献が直接反映されるものではないため、評価方法については中長期的に検討されたい。

【取り組みの方向5-具体的施策①逗子海岸保全活用事業の推進】

- ・海水浴客数の増加が市内の商工業者に還元される仕組みについて検討されたい。

その他意見

□ 第5節

取り組みの推進・改善に向けての意見・提案（今年度、来年度に向けた意見）

今後の展開に向けて考慮・検討を要する事項（中長期的視点からの意見）

その他意見

【取り組みの方向1-具体的施策①住民による自治活動の推進】

・住民自治条例について、逗子小学校区の住民自治協議会の発足が長年滞っている状況であるが、既に活動している4つの住民自治協議会だけで条例化を進めることについて検討されたい。

■ 施策間連携

施策の柱を越えた連携についての意見

【第3節-取り組みの方向1-具体的施策⑤良好で持続可能な逗子海岸の推進】

【第4節-取り組みの方向5-具体的施策①逗子海岸保全活用事業の推進】

・海水浴客数の増加により、逗子海岸の水質等へ影響が生じる可能性がある。海水浴客の増加と国際環境認証「ブルーフラッグ」の基準を満たすことの両立（バランス）を図られたい。

■ 全般

総括意見

・事業執行において計画とは異なる事情（予算、優先順位）が生じた結果が評価を左右する場合には、その事情（理由）を明記したうえで評価結果を説明されたい。

・それぞれの「取り組み」が、どのようなロジックでKPIにつながっているのかという筋道を明示的に説明できるよう施策管理の工夫をされたい。

・文章での説明については前後関係や、因果関係を明示するとともに、数値での報告が可能なものについては数値を示すよう努められたい。

・市民意識調査の活用にあたっては、統計的な精度や有意性を検証し、結果の解釈が適切になされるよう努められたい。

・KPIや取り組みの実績について、用語の定義を明確にするとともに、全体像を把握するために母数を併記するなど、より明瞭な進行管理表の作成に努められたい。

・市の事業全体の施策効果等を横断的に把握、管理し、財源、人、時間等のリソースの最適化に努められたい。また、それらの市政状況を市民へ情報提供、発信するよう取り組まれたい。

・計画の変更・修正について、計画を毎年見直さないという方針は理解できるが、中止、中断が明確に意思決定された事業についてはあるいは計画の修正あるいは資料内で明示するよう努められたい。

■ まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標に関する総括意見

・リモートワークの普及など、多様な働き方やライフスタイルの変化に伴い湘南エリアにおいては人口増加の傾向が見られる。こうした人口移動の動向を分析し転入促進に向けた施策を検討されたい。

総合計画における進捗状況評価一覧

() 内は前年度の値
上段：指標数 下段：割合

総合計画での位置付け		重要業績評価指標					
		A		B		C	
第1節 ふ心共 れ豊に あか生 いにき の暮、 まら ちせ る	1 「その人らしく生きること」を お互いに支え合う福祉のまち	0 0%	(1) (100%)	0 0%	(0) (0%)	1 50%	(0) (0%)
	2 医療・保健・福祉が連携した 安心・健康長寿のまち	2 50%	(3) (75%)	1 25%	(0) (0%)	1 25%	(1) (25%)
	3 高齢者が住み慣れた地域で、 安心して暮らせるまち	1 50%	(0) (0%)	0 0%	(1) (50%)	1 50%	(1) (50%)
	4 障がい者が安心して 自分らしく暮らし続けられるまち	3 60%	(3) (60%)	1 20%	(0) (0%)	1 20%	(2) (40%)
	5 誰もが心豊かに子育て・子育てできる まち	0 0%	(0) (0%)	2 50%	(1) (25%)	2 50%	(3) (75%)
	数値目標	6	(7)	4	(2)	6	(7)
計（指標数 16）		38%	(44%)	25%	(13%)	38%	(44%)
A (A)							
第2節 く共共 育に 「へ学 のきび まよ、 ちう共 いに 育つ	1 子どもも大人も共につながり 成長していく生涯学習のまち	2 67%	(2) (67%)	0 0%	(1) (33%)	1 33%	(0) (0%)
	2 文化を新たに創造するまち	1 100%	(1) (100%)	0 0%	(0) (0%)	0 0%	(0) (0%)
	3 スポーツを楽しむまち	0 0%	(0) (0%)	0 0%	(0) (0%)	1 100%	(1) (100%)
	4 学校教育の充実したまち	3 75%	(4) (100%)	1 25%	(0) (0%)	0 0%	(0) (0%)
	5 ふるさとの遺産をまもり つないでいくまち	1 100%	(1) (100%)	0 0%	(0) (0%)	0 0%	(0) (0%)
	数値目標	7	(8)	1	(1)	2	(1)
計（指標数 10）		70%	(80%)	10%	(10%)	20%	(10%)
A (A)							

総合計画での位置付け		重要業績評価指標					
		A		B		C	
第3節 まちに自然と人間を大切にする	1 自然を大切にするまち	2	(2)	2	(2)	1	(1)
		40%	(40%)	40%	(40%)	20%	(20%)
	2 廃棄物による環境負荷の少ないまち	3	(3)	2	(2)	1	(1)
		50%	(50%)	33%	(33%)	17%	(17%)
	3 カーボンニュートラルを実現するまち	0	(0)	1	(1)	0	(0)
		0%	(0%)	100%	(100%)	0%	(0%)
	4 暮らしと景観に配慮したまち	1	(1)	0	(0)	0	(0)
		100%	(100%)	0%	(0%)	0%	(0%)
数値目標	計（指標数 13）	6	(6)	5	(5)	2	(2)
B (A)		46%	(46%)	38%	(38%)	15%	(15%)

第4節 支えとなるまちを、安全で安心な暮らしを	1 良好な住環境の形成により、くつろぎが生まれるまち	2	(2)	0	(0)	0	(0)
		100%	(100%)	0%	(0%)	0%	(0%)
	2 災害に強く、犯罪のない安全なまち	1	(2)	1	(4)	6	(2)
		13%	(25%)	13%	(50%)	75%	(25%)
	3 歩行者と自転車を優先するまち	0	(0)	1	(1)	0	(0)
		0%	(0%)	100%	(100%)	0%	(0%)
	4 都市機能の整った快適なまち	1	(1)	0	(0)	2	(2)
		33%	(33%)	0%	(0%)	67%	(67%)
5 地域資源を生かした個性豊かなにぎわいのあるまち	3	(3)	2	(3)	1	(0)	
	50%	(50%)	33%	(50%)	17%	(0%)	
数値目標	計（指標数 20）	7	(8)	4	(8)	9	(4)
A (A)		35%	(40%)	20%	(40%)	45%	(20%)

第5節 まちの新しい姿を、主権者のす	1 市民自治のまち	1	(2)	2	(1)	0	(0)
		33%	(67%)	67%	(33%)	0%	(0%)
	2 誰もが尊重され、自由で平等なまち	1	(1)	0	(1)	1	(0)
		50%	(50%)	0%	(50%)	50%	(0%)
	3 世界とつながり、平和に貢献するまち	2	(2)	0	(0)	0	(0)
		100%	(100%)	0%	(0%)	0%	(0%)
数値目標	計（指標数 7）	4	(5)	2	(2)	1	(0)
A (A)		57%	(71%)	29%	(29%)	14%	(0%)

総計（指標数 66）	30	(34)	16	(18)	20	(14)
	45%	(52%)	24%	(27%)	30%	(21%)

総合計画における節ごとの進捗状況評価一覧

第1節 共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち

※（ ）内は前年度の値

数値目標	共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまちをめざす市の取り組みに満足している人の割合が10ポイント増加している。	A (A)
------	---	-------

上段：指標数 下段：割合

重要業績 評価指標	A		B		C		計
	6	(7)	4	(2)	6	(7)	16 (16)
	38%	(44%)	25%	(13%)	38%	(44%)	

取り組みの方向		具体的施策	重要業績評価指標（KPI）	進捗状況評価
1	「その人らしく生きること」を お互いに支え合う福祉のまち	①地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の構築	地域包括支援センターが担当した相談支援のうち、多機関との協働を実施した件数が、3包括支援センター合計で年120件になっている。	C (A)
		②健康づくり・食育の推進	国民健康保険被保険者の1人当たり医療費の伸び率を、県平均以下に抑制している。	A (A)
2	医療・保健・福祉が連携した 安心・健康長寿のまち	②感染症予防対策の推進	予防接種対象者への個別通知の送付率100%を維持している。	A (A)
		③地域医療体制の推進	「一番不便または不満に感じる事柄」について、「医療施設が整っていない」と回答する人の割合が20%以下になっている。	B (A)
		④地域自殺対策の推進	自殺者数が0人になっている。	C (C)
		①健康寿命を延ばしてみんなで元気な高齢者をめざす取り組み	元気高齢者の割合が83%になっている。	C (C)
3	高齢者が住み慣れた地域で、 安心して暮らせるまち	②介護サービス等の保険給付	特別養護老人ホームの待機者数が100人以下になっている。	A (B)
		①子どもの発達段階に応じた継続的な支援	療育教育総合センターを18歳までに一度でも利用したことのある市内の子どもの割合が18.9%になっている。	A (A)
4	障がい者が安心して自分らしく 暮らし続けられるまち	②障がいのある人の居住支援	市内におけるグループホームの施設数が12か所になっている。	B (A)
		③障がいのある人の就労支援	福祉施設の利用者のうち、就労移行支援事業等を通じて一般就労に移行する人数が18人/年になっている。	A (C)
		④バリアフリーの推進	「障がいや障がいのある人に対し、社会全体の理解が進んできた」と回答する人の割合が66%以上になっている。	C (C)
		⑤地域生活支援拠点等の充実	緊急時の受け入れ・対応の対象となるハイリスク者の登録者数が30人になっている。	A (A)

取り組みの方向	具体的施策	重要業績評価指標（KPI）	進捗状況評価
5 誰もが心豊かに 子育て・子育てできるまち	①妊娠前からの子育ての相談・支援の充実	保健師及び助産師が、乳児がいるすべての家庭を訪問し、相談に応じている。	B (B)
	②子育てを支える取り組みの推進	ファミリー・サポート・センターに登録している支援会員（両方会員を含む）の登録人数が550人になっている。	C (C)
	③幅広い保育ニーズに対応できる体制づくり	保育所等入所待機児童が0人になっている。	B (C)
	④子どもたちの居場所づくりの推進	体験学習施設「スマイル」の主催講座の延べ参加者数が2,000人/年になっている。	C (C)

第2節 共に学び、共に育つ「共育（きょういく）」のまち

※（ ）内は前年度の値

数値目標	共に学び、共に育つ「共育（きょういく）」のまちをめざす市の取り組みに満足している人の割合が10ポイント増加している。	A (A)
------	--	-------

上段：指標数 下段：割合

重要業績 評価指標	A		B		C		計
	7	(8)	1	(1)	2	(1)	10 (10)
	70%	(80%)	10%	(10%)	20%	(10%)	

取り組みの方向		具体的施策	重要業績評価指標（KPI）	進捗状況評価
1 子どもも大人も共につながり成長していく生涯学習のまち	①学習機会の提供による社会教育の推進	講座事業において、各分野（現代的課題、地域課題、家庭教育）3講座以上実施され、受講生の満足度が5段階評価のうち4以上が90%を超えている。	A (B)	
	②生涯を通じた学習活動の支援	市内で活動する生涯学習団体の総数が400を超えている。	C (A)	
	③地域で子どもと大人が共に育つ学習環境の整備	世代間交流を促す共育の講座やイベントへの参加者数が5,000人を超えている。	A (A)	
2 文化を新たに創造するまち	①文化芸術活動の推進（継承と創出）	逗子アートフェスティバルの参加企画数が30企画になっている。	A (A)	
3 スポーツを楽しむまち	①スポーツの推進	成人の週1回以上のスポーツ実施率が70%以上になっている。	C (C)	
4 学校教育の充実したまち	①教員の指導力及び教育課題への対応力向上	児童・生徒を対象に実施している「学校生活アンケート」に「授業がよくわかる」「学校が楽しい」の項目を設け、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の回答が80%以上になっている。	A (A)	
	②子どもの発達段階に応じた継続的な支援	療育教育総合センターを18歳までに一度でも利用したことのある市内の子どもの割合が18.9%になっている。	A (A)	
	③ICTを活用した授業と情報教育の推進	「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」の「教員のICT活用指導力等の実態の項目」のうち「授業にICTを活用して指導する能力」「情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力」の「できる」「ややできる」の回答が80%以上になっている。	B (A)	
	④地域教育力の効果的な活用と幼・保・小・中の相互理解の促進	地域講師を活用した授業を各小・中学校で年3回実施する。	A (A)	
5 ふるさとの遺産をまもりつないでいくまち	①文化財保護の推進	市指定文化財の数が24件に増加している。	A (A)	

第3節 自然と人間を共に大切にするまち

※（ ）内は前年度の値

数値目標	自然と人間を共に大切にするまちをめざす市の取り組みに満足している人の割合が10ポイント増加している。	B (A)
------	--	-------

上段：指標数 下段：割合

重要業績評価指標	A	B	C	計
	6 (6)	5 (5)	2 (2)	13 (13)
	46% (46%)	38% (38%)	15% (15%)	

取り組みの方向	具体的施策	重要業績評価指標（KPI）	進捗状況評価
1 自然を大切にするまち	①自然の回廊の保全と活用	自然の回廊を活用したイベントを複数回支援している。	C (C)
	②みどりの保全と緑化の推進	公園への花苗の植栽が、年2,500個以上となっている。	A (B)
	③公園の活用及び維持管理	「現在の逗子のイメージ」について、「気軽に行ける公園や広場が整備されている」と回答する人の割合が、過去5年の平均で25%以上になっている。	B (B)
	④河川環境の保全	アダプトプログラムにより市民が活動している河川管理の箇所数 6箇所 親水施設整備 4箇所	B (A)
	⑤良好で持続可能な逗子海岸の推進	国際環境認証であるブルーフラッグを継続して取得している。	A (A)
2 廃棄物による環境負荷の少ないまち	①ごみの発生量・排出量の削減	市民1人当たりのごみ排出量が1日当たり797g以下になっている。	A (A)
	②生ごみの減量化・資源化の推進	家庭用生ごみ処理容器等の助成件数が延べ9,010件以上になっている。	A (A)
	③安心・安全で持続可能な廃棄物処理システムの構築	環境クリーンセンター焼却施設長寿命化計画を策定し、計画的な維持管理を行い、年間20,000tの焼却処理を行っている。	A (A)
	④紙ごみの減量化・資源化の推進	燃やすごみに含まれる紙ごみが36.7%以下になっている。	B (B)
	⑤資源化品目の拡大	資源化率が61.4%以上になっている。 最終処分率が0.3%以下を維持している。	B (B)
	⑥ごみ処理の広域連携の推進	鎌倉市の可燃ごみの一部を受入れ広域処理を行っている。 葉山町の生ごみ資源化処理施設での生ごみ資源化共同処理を行っている。	C (C)

取り組みの方向	具体的施策	重要業績評価指標（KPI）	進捗状況評価
3 カーボンニュートラル を実現するまち	①2050年カーボンニュートラル実現の推進	市内の電力を使用するすべての市所有（管理）施設において、再生可能エネルギー100%の電気を導入する。	B (B)
4 暮らしと景観に配慮した	①景観まちづくりの推進	景観啓発冊子「まちなみデザイン逗子」を活用した啓発活動を年3回以上実施する。	A (A)

第4節 安全で安心な、快適な暮らしを支えるまち

※（ ）内は前年度の値

数値目標	安全で安心な、快適な暮らしを支えるまちをめざす市の取り組みに満足している人の割合が10ポイント増加している。	A (A)
------	--	-------

上段：指標数 下段：割合

重要業績評価指標	A		B		C		計
	7	(8)	4	(8)	9	(4)	20 (20)
	35%	(40%)	20%	(40%)	45%	(20%)	

取り組みの方向		具体的施策	重要業績評価指標（KPI）	進捗状況評価
1 良好な住環境の形成により、くつろぎが生まれるまち	①計画的なまちづくりの推進	市を取り巻く環境の変化による条例運用上の課題等に早急に対応するため、3年ごとに土地利用に係る3条例等の見直しを行う。	A (A)	
	②空き家対策と利活用	空き家バンク等の施策誘導を通して、解消された空き家が中期実施計画期間中累計で35件になっている。	A (A)	
2 災害に強く、犯罪のない安全なまち	①自主防災組織育成の推進	防災ハンドブックを更新し、各種訓練、イベント等で配布し、世帯数の80%以上に配布している。	C (A)	
	②災害対策に係る整備の充実	津波避難ビル（民間施設）の指定数が21施設以上になっている。	C (B)	
	③避難行動要支援者への支援の確立	個別避難計画の作成率が35%以上になっている。	C (B)	
	④消防力の充実	防災拠点としての機能強化を図るため、老朽化した分団詰所3箇所の整備が進められている。	B (B)	
	⑤建築物等の耐震化の推進	耐震改修工事の補助金により耐震化された住宅が中期実施計画期間中累計35件になっている。	C (C)	
	⑥浸水対策の推進	2025年度末までに、田越川準用河川浸水想定区域図及び内水浸水想定区域図を作成し、浸水被害が予想されるエリアの周知を行う。	A (A)	
	⑦防災・消防・防犯分野の連携の推進	各関係機関と連携を図り、刑法犯発生率が0.15%以下となっている。	C (C)	
	⑧犯罪のないまちづくりの推進	防犯メール登録者数が21,000人以上となっている。	C (B)	
3 歩行者と自転車を優先するまち	①歩行者と自転車を優先するまちの推進	居住地域の現在のイメージで、次に掲げる項目の数値を達成する。 ・「歩行者や車イスの人が安全に出歩けるまち」と回答する人の割合が10%以上になっている。 ・「自転車を利用しやすいまち」と回答する人の割合が10%以上になっている。	B (B)	

取り組みの方向	具体的施策	重要業績評価指標（KPI）	進捗状況評価
4 都市機能の整った快適なまち	①公共施設等の更新・統廃合・長寿命化の実施	JR東逗子駅前用地活用に係る構想、計画のもと、2027年度末までに整備した施設が利用されている。	C (C)
	②バリアフリーのまちづくりの推進	金沢新道路切について改良工事が完了している。	A (A)
	③都市環境の改善	防災工事費助成件数が中期実施計画期間中累計で182件になっている。	C (C)
5 地域資源を生かした個性豊かなにぎわいのあるまち	①逗子海岸保全活用事業の推進	海水浴客数が40万人になっている。	C (B)
	②商工業振興の推進	逗子市商工会の会員数が、1,300人以上になっている。	B (B)
	③小坪漁港を中心とした小坪海浜地域活性化の推進	小坪漁業協同組合が観光等の組み合わせによる漁業体験等を事業として実施し、年間280人以上参加している。	A (A)
	④創業への支援	創業支援事業計画に基づき、創業に至った者が中期実施計画期間中累計で50件になっている。	A (A)
	⑤多様な働き手、柔軟な働き方の支援	女性の個人市民税所得割課税額が14%増加している。	A (A)
	⑥観光振興の推進	入込観光客数が105万人/年になっている。	B (B)

第5節 新しい地域の姿を示す市民主権のまち

※（ ）内は前年度の値

数値目標	新しい地域の姿を示す市民主権のまちをめざす市の取り組みに満足している人の割合が10ポイント増加している。	A (A)
------	--	-------

上段：指標数 下段：割合

重要業績評価指標	A		B		C		計	
	4	(5)	2	(2)	1	(0)	7	(7)
	57%	(71%)	29%	(29%)	14%	(0%)		

取り組みの方向		具体的施策	重要業績評価指標（KPI）	進捗状況評価
1 市民自治のまち		①住民による自治活動の推進	住民自治協議会が組織され、その活動が防災防犯、環境や福祉など複数の領域で実施されている。	A (A)
		②市民活動の推進	市内で活動している市民団体が500団体になっている。	B (B)
		③行政活動に対する市民参加の推進	パブリックコメントにおいて、1案件当たりの意見提出数の平均が20件を超えている。	B (A)
2 誰もが尊重され、自由で平等なまち		①人権啓発活動の推進	「返子市は、人権が尊重されているまちだ。」と感じる市民の割合が70%を超えている。	A (A)
		②男女平等参画の推進	「男女の地位が平等」と感じる人の割合が50%を超えている。	C (B)
3 世界とつながり、平和に貢献するまち		①国際交流・国際理解の推進	フェアトレードの認知度が50%を超えている。	A (A)
		②非核平和の推進	平和イベントへの参加者数が3,000人を超えている。	A (A)

逗子市総合計画

進行管理表

第1節

柱	第1節 共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち
---	--------------------------

めざすべきまちの姿
<p>人と人との支え合いが、人と暮らしを元気に豊かにし、安心・安全なふれあい社会をつくりだします。ふれあいの基本は、人への優しい心と思いやりです。</p> <p>わたしたちは、共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまちの実現をめざします。</p> <p>返りに生まれ、育ち、暮らしていく人生のステージにおいて、すべての人が優しさと思いやりの心を育み、次の世代へとつないでいきます。</p>

目標	共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまちをめざす市の取り組みに満足している人の割合が10ポイント増加している。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
未実施	60.8%	66.7%(62.5%)	67.0%(64.2%)	(65.9%)	(67.6%)	(69.2%)	(70.8%)	70.8%

進捗状況評価
A：順調である

取り組みの方向	1 「その人らしく生きること」をお互いに支え合う福祉のまち
---------	-------------------------------

<p>すべての人々が、住み慣れた地域で安心して住み続けるためには、地域での温かいふれあいの中で、多様な人材がつながり、互いに見守り支え合う顔の見えるまちとなることが求められます。また、地域の様々な課題を解決するためには、公・共・私が役割を分担し、互いに連携し、協力し合うことが大切であり、大きな力となります。</p> <p>地域におけるあらゆる主体のサービスや諸活動のネットワーク化、総合化を進め、公・共・私のパートナーシップの構築により、「その人らしく生きること」をお互いに支え合う福祉のまちの実現をめざします。</p>

具体的施策	① 地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の構築
-------	----------------------------

KPI	地域包括支援センターが担当した相談支援のうち、多機関との協働を実施した件数が、3包括支援センター合計で年120件になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
36件	23件	45件	46件					120件

進捗状況評価
C：順調であるとみなせない

補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
<p>重層的支援体制整備事業を開始して5年目を迎え、定期的な研修や情報交換会等の実施により、庁内外の関係機関との協働・連携体制は非常に充実してきた。本市の特性として、個別相談に対する各相談支援機関の支援体制は非常に充実していることから、このような支援体制を基盤にして、更に充実した全市的な包括的相談支援体制の構築を目指している。その一環として、2025年度は神奈川県重層的支援体制整備事業アドバイザー派遣事業を活用し、アドバイザーから本市の重層的支援体制及び事業内容について評価・助言をしていただき、更に効率的・効果的な事業が実施されるよう継続的な見直しを行っている。</p> <p>なお、実績は目標の半分以下ではあるが、これまでの多機関協働による包括的相談支援に係るノウハウの蓄積等の理由により、個別相談支援機関等であっても複雑・複合的な地域生活課題を単独で対応できるようになった等の理由により、多機関協働に至らなかったケースも見受けられることから、多機関協働による件数は実績として把握するとともに、その支援内容について多面的な評価に取り組んでいきたい。</p>								
今後の対応								
<p>・地域生活課題の一つ一つについて丁寧な支援を行うとともに、支援が行き届かない要支援者・世帯等に対するアウトリーチ支援や長期的な支援を要するための継続的な伴走支援に積極的に取り組む。</p> <p>・包括的相談支援を効率的、効果的に進めるために、支援者支援の体制整備に取り組んでいく。</p>								

主な取り組み

取り組み①	地域における支え合いの仕組みづくり				
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての人に対し、福祉教育及び活動・実践の機会を充実させるため、ICT等の活用による福祉情報発信の充実・拡大を図る。 ・地域間の交流・連携を通じたボランティア活動の実践を支援し、活動の活性化を図る。 ・ボランティア講座・研修の充実により、地域における支え合いの仕組みづくりを推進する。 				
2025年度 実施内容	・誰一人取り残さない地域づくりを実現するため、特に解決が急務である孤独・孤立に対する課題への理解に向けた講座を実施した。				
【参考】予算事業名	地域福祉推進事業	【参考】実績額	119,270円	担当課	社会福祉課
取り組み②	避難行動要支援者の支援体制の整備				
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・平常時から築かれた近隣の関係性を、避難行動要支援者への避難支援体制づくりに導く。 ・自主防災組織と地域活動、ボランティアセンターが連携し、災害時の個別避難計画の作成支援を通じて、地域の自主性を強化し相互扶助の取り組みを活性化させる。 				
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会及び自主防災組織91団体中、58団体に対して、避難行動要支援者名簿及びマップを配付し、避難支援体制の強化を図った。 ・関係部署と協議を行い、個別避難計画（※個別支援プラン）を作成していくための優先順位について決定した。優先度リストを基に、福祉専門職に委託し個別避難計画の作成を11件行った。 				
【参考】予算事業名	災害対策事業	【参考】実績額	63,121,811円	担当課	防災安全課
2025年度 実施内容	・誰一人取り残さない地域づくりを実現するために、孤独・孤立の課題への理解を目的として、引きこもり支援者及び当事者による講座を実施した。				
【参考】予算事業名	地域福祉推進事業	【参考】実績額	119,270円	担当課	社会福祉課
取り組み③	社会的困窮者の自立の支援				
説明	・社会的困窮に陥った者に対し、その原因となる複合的な課題解決に取り組み、社会的自立に向けた支援を行う。				
2025年度 実施内容	・生活困窮者自立相談支援事業として新規に113件。前年度からの継続相談として37件。計150件の相談支援を行った。				
【参考】予算事業名	生活困窮者自立支援事業	【参考】実績額	14,836,974円	担当課	社会福祉課
取り組み④	多機関協働による身近な地域での相談支援				
説明	・身近な地域で包括的に相談を受け止めるため、民生委員・児童委員や地域活動団体等と福祉の専門機関・団体が連携して地域課題の解決に取り組む。				
2025年度 実施内容	・市内を三圏域に分けて各圏域に地域包括支援センターを開設し、地域における身近な包括的相談支援機関として、関係機関と連携、協働しながら地域生活課題の解決に取り組んだ。				
【参考】予算事業名	地域共生社会推進事業（地域包括支援センター運営事業）	【参考】実績額	77,711,683円	担当課	社会福祉課

取り組み⑤	多様な主体による活動の支援と推進				
説明	<p>・8050問題などの複合的なニーズが増加する中、すべての人が住み慣れた地域で安心して住み続けられるように、地域において福祉に関わる問題を共有し、知恵や力を出し、支え合いながら生活するため、互いに顔が見え、交流でき、歩いて行ける範囲において「ふれあい活動」を推進することを目的とした活動の場を整備する。</p> <p>・ICTの活用により福祉情報を発信することで福祉活動の支援と推進を図る。</p>				
2025年度 実施内容	<p>・地域における交流、参加、学びの機会を生み出すため地域資源の開発等を目的として、市内全域を所管する第一層生活支援コーディネーターの業務を逗子市社会福祉協議会へ、市内三圏域を所管する第二層コーディネーターの業務を各地域包括支援センターに委託し、各種地域生活課題の解決に向けた取り組みを進めた。</p>				
【参考】予算事業名	地域共生社会推進事業（生活支援体制整備事業）	【参考】実績額	18,714,776円	担当課	社会福祉課
取り組み⑥	地域福祉計画等推進事業に係る事業の推進				
説明	<p>・総合的な福祉の推進を図るため、逗子市地域福祉計画及び逗子市地域福祉推進計画・逗子市地域福祉活動計画に係る事業を実施する。</p>				
2025年度 実施内容	<p>・地域福祉推進計画・地域福祉活動計画懇話会を2回開催し、市並びに社協の活動実績及び次年度計画についてメンバーに報告し、意見を聴取した。また、地域福祉計画懇話会を1回開催し、各個別計画の懇話会から聴取した意見等を基に本市における福祉全般の動向や課題を関係部局と共有した。</p>				
【参考】予算事業名	地域福祉計画等推進事業	【参考】実績額	61,592円	担当課	社会福祉課
取り組み⑦	誰一人取り残さない地域共生社会の実現				
説明	<p>・現在、多くの地域生活課題が発生している中で、課題を悪化させている原因として孤独・孤立の問題がある。本市が地域共生社会をめざす中で、誰一人残さない包括的な相談支援体制の構築を地域や関係機関と連携して進める。</p>				
2025年度 実施内容	<p>・誰一人取り残さない地域づくりを実現するために、孤独・孤立の課題への理解に向けた講座を実施した。また、孤独・孤立が原因又は課題悪化の要因となっている地域生活課題全般について、地域包括支援センター等で、包括的相談支援を行った。</p>				
【参考】予算事業名	地域福祉推進事業	【参考】実績額	119,270円	担当課	社会福祉課
【参考】予算事業名	地域共生社会推進事業	【参考】実績額	15,945,736円	担当課	社会福祉課

取り組みの方向 2 医療・保健・福祉が連携した安心・健康長寿のまち

歳を重ねても健康でいたいという思いはみんなの願いです。人生のうちで健康でいる期間が長ければ長いほど質の高い生活が送れます。そのためには、市民一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」という自覚を持ち、自身の健康状態を的確に把握するとともに、家族みんなや仲間と楽しみながら健康づくりを続けることが重要です。

市民誰もが生涯を通じて活動的に生活できるように、市民が主体の健康づくり活動や地域で進める健康づくりを推進していきます。

また、健やかで安心して暮らしていくために、医療・保健・福祉の各分野の関係機関・団体との連携を強化し、誰もが身近なところで適切な医療を受けられるような地域医療体制が充実したまちをめざします。

具体的施策 ① 健康づくり・食育の推進

KPI	国民健康保険被保険者の1人当たり医療費の伸び率を、県平均以下に抑制している。							
2017～2021平均	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
2.5%	2.5% (県平均2.4%)	1.44% (県平均2.17%)	1.89% (県平均2.53%)					県平均以下
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
<p>2023年3月に健康増進・食育推進計画を策定。医療費適正化においては生活習慣病の予防が不可欠であり、健康増進・食育推進を進めるための懇話会を開催。市民を含めた関係機関からの助言を得ると共に、より全庁的に計画を推進するために、2023年度から庁内関係課を集めた担当者会議を開催し、協力関係を構築している。</p> <p>また、2024年3月に第3期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画を策定。特定健康診査の受診率や特定保健指導の実施率を上げ、健康に関する正しい情報の発信、生活習慣病の重症化予防等の取り組みを行うことで医療費の増加を抑えるべく、目標を立てて進行管理している。2026年度中に第3期データヘルス計画の中間評価を行う予定。</p> <p>令和3年度より高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業を開始。生活習慣病重症化予防やフレイル予防の推進のためにハイリスク対象者へのアプローチ、シニアセミナー等にてポピュレーションアプローチを展開。事業対象者の拡大や健診受診率向上に向けた取組が検討課題。</p>								
今後の対応								
<p>健康増進・食育推進計画を推進しつつ、健康に関する正しい情報を発信。健診や検診の受診率を上げることで疾病を早期発見し、また生活習慣病の重症化を予防することで医療費の適正化を図る。</p>								

主な取り組み

取り組み①	健康増進・食育推進計画推進事業の展開				
説明	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり・食育の推進のため未病センターなど、様々な媒体を活用した情報発信及び健康・栄養相談や健康づくり出前講座などの普及啓発事業を実施する。 健康増進・食育推進計画懇話会を開催し、計画の進行管理及び推進を図る。 「逗子市健康増進・食育推進計画」に基づいて、関係機関等と連携し、健康づくりや食育、疾病予防の啓発事業を行う。 				
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 2023年3月に「逗子市健康増進・食育推進計画」を策定。 逗子市健康増進・食育推進計画懇話会を2回開催して進行管理した他、庁内8課の担当者を集めた逗子市健康増進・食育推進計画担当者会議を2回開催。2024年に全庁的に連携して計画を推進する体制を整えた。 未病センター（市役所）では、9時～12時、13時～16時まで保健師や管理栄養士が常駐する体制で対応している。 （2025年度 242日開設、4677人利用） 広報誌やHPの他、LINEなどを活用して健康や食育、疾病予防に係る情報や講座などの情報を発信した。 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業：神奈川県後期高齢者医療広域連合からの委託事業。KDBシステム等を活用した地域の健康課題の分析。ポピュレーションアプローチによる健康教育・健康講座（シニアを楽しむための健康セミナー（圏域および市役所開催）参加者161名）他。ハイリスクアプローチによる保健指導介入（低栄養：22名、重症化予防-糖尿病性腎症：11名）。 				
【参考】予算事業名	健康増進・食育推進計画推進事業	【参考】実績額	6,213,708円	担当課	国保健康課
取り組み②	特定健診・特定保健指導の推進				
説明	<ul style="list-style-type: none"> 40歳から74歳までの国民健康保険加入者を対象とした特定健康診査を実施する。 健診結果から、必要な者に対し保健指導を行う。 データヘルス計画・特定健康診査等実施計画に基づき、健康診査及び保健指導を実施する。 若い世代に対して健診・検診の受診啓発を行う。 				
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 2023年度から特定健診の自己負担額を無料にして実施（2022年度迄は1500円）。 受診率：2023年度：37.1%（確定値）、2024年度：37.6%（速報値） 特定保健指導は集団健診会場で初回分割を行っている他、健診結果から対象者へ通知・電話。 未病センターで保健師・管理栄養士が特定保健指導実施。実施率（終了率）（確定値）：32.8% 2024年3月に「逗子市国民健康保険第3期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画」を策定し、進捗管理を行った。 若い世代に対しては「アプリで健康ポイント ゲットキャンペーン」を主催し、健診受診を条件として若い世代向けのインセンティブを準備して受診を促した。 				
【参考】予算事業名	特定健診・特定保健指導事業	【参考】実績額	43,208,588円	担当課	国保健康課

取り組み③	女性のがん検診の充実			
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・女性に対して、集団・個別での検診を実施する。 ・無料クーポン券を発行し、受診を促進する。 			
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子宮頸がん検診を実施。集団：6回。施設：通年。受診者数：1,767人。要精検者数：20人。 ・乳がん検診を実施。集団：18回。施設：通年。受診者数：806人。要精検者数：36人。 ・がん予防講演会（10/9 転ばぬ先のガン予防～大腸がんのプロに聞く大腸がんの予防について～）を開催。43人参加。 ・3歳児健診・就学児健診・成人式で検診受診を勧めるチラシを個別配布した。 			
【参考】予算事業名	成人等保健事業	【参考】実績額	140,217,736円	担当課 国保健康課
取り組み④	「未病を改善する半島宣言」の推進			
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命の更なる延伸と生活の質の向上をめざし、三浦半島4市1町が、特に保健・福祉分野において積極的に連携を図り、県の未病を改善する取り組みに参画する。 			
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・逗子市と市民の健康増進に関する連携協定を行っている企業や神奈川県公共型未病センター健康支援プログラムを活用し、講座を開催。 <ul style="list-style-type: none"> ①5/13 シセイカルテ(11名) ②6/1 味の素(株)講習会(逗子アリーナで開催)(23名) ③6/19 生活習慣・ベジチェック(37名) ④9/16 シセイカルテ(10名) ⑤10/7 骨密度・ストレス測定(40名) ⑥11/28 生活習慣・AGEs(41名) ⑦2/3 生活習慣・AGEs(50名) ⑧3/10 シセイカルテ(10名) ・県のアプリ『マイME-BYOカルテ』を活用した健康ポイント事業を開催（10/10～1/31）244人参加 ・未病センター利用人数：38,913人(市役所：4,677人(19.3人/日)・アリーナ：34,236人(108.3人/日)) 			
【参考】予算事業名	健康増進・食育推進計画推進事業	【参考】実績額	6,213,708円	担当課 国保健康課

具体的施策		② 感染症予防対策の推進						
KPI	予防接種対象者への個別通知の送付率100%を維持している。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
100%	100.0%	100.0%	100.0%					100%
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
高齢者肺炎球菌予防接種・高齢者带状疱疹予防接種においては、費用の一部助成を受けられるのが生涯に一度であることから、全対象者へ個別通知を100%実施し、予防接種の実施期間・実施医療機関・自己負担額・ワクチンの種類・実施にあたっての注意事項などの周知を徹底している。また、個別通知だけでなくHPや4月上旬の広報掲示板などで予防接種についての情報の普及啓発を行っている。								
今後の対応								
肺炎（日本人の死因の第5位）は死亡者の95%以上が高齢者であり、带状疱疹はその発症が日常生活に支障をきたすことがあることから、高齢者への周知をさらに徹底する。特に、高齢者からはワクチンの種類についての問い合わせが多いことから、ワクチンの効果・費用・副反応・注意事項などの周知に努める。								

主な取り組み

取り組み①	感染症予防対策の推進				
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の流行等について、情報の収集及び市民への周知を行い、注意喚起する。 ・具体的な予防行動の知識普及を行う。 ・予防接種がある感染症については、接種が促進されるよう環境を整える。 				
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者肺炎球菌予防接種・高齢者带状疱疹予防接種対象者への個別通知。個別通知の内容としては予防接種の実施期間・実施医療機関・自己負担額・ワクチンの種類・実施にあたっての注意事項など。 ・HPや広報誌を活用した市民への周知。 				
【参考】予算事業名	成人等保健事業	【参考】実績額	140,217,736円	担当課	国保健康課
【参考】予算事業名	感染症予防事業	【参考】実績額	1,914,942円	担当課	国保健康課

具体的施策		③ 地域医療体制の推進						
KPI	「一番不便または不満に感じる事柄」について、「医療施設が整っていない」と回答する人の割合が20％以下になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
38.2%	33.5%	29.6%	30.3%					20％以下
進捗状況評価								
B：概ね順調であるとみなせる								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・ 逗子葉山地区医療保健福祉対策協議会において地域医療の充実に向けて検討を行う。 ・ 2023年度から2024年度にかけて、「逗子の地域医療検討会」において病院も含めた逗子に必要な地域医療について検討を行い、最終とりまとめを市長に提出した。 ・ 2025年8月に「逗子の地域医療の方針～これから取り組む課題について～」を策定した。								
今後の対応								
・ 逗子葉山地区医療保健福祉対策協議会での検討を継続する。								

主な取り組み

取り組み①	在宅医療介護連携の推進							
説明	・ 多職種による医療・介護連携支援体制の強化を図るため、逗葉地域在宅医療・介護連携相談室において在宅医療・介護サービスを提供している関係者からの相談・支援や対象者の支援に必要な、医療・介護等の情報提供、多職種連携会議や研修会などを開催する。							
2025年度 実施内容	・ 相談事業計139名（延376件） ・ 逗葉地域在宅医療・介護連携相談室多職種連携会議（2回） ・ 逗葉地域在宅医療・介護連携相談室多職種連携研修会（2回・参加者計139人） ・ 医療・介護・福祉職員向け研修（井戸端サロン）（6回・参加者計130人）							
【参考】予算事業名	在宅医療・介護連携推進事業				【参考】実績額	23,374,394円	担当課	国保健康課
取り組み②	地域医療の充実							
説明	・ 医師会・歯科医師会・薬剤師会・葉山町等で構成する、逗子・葉山地区医療保健福祉対策協議会で地域医療の充実に向けて連携強化等の検討を行う。 ・ 総合的病院の誘致を含めた今後の逗子の地域医療体制の充実に向けた検討を行う。 ・ 近隣病院の地域外部委員会等に参加するなど意思疎通を図り、市に必要な連携を要望する。							
2025年度 実施内容	・ 逗子葉山地区医療保健福祉対策協議会（1回）、小委員会（3回） ・ 災害時医療研修会（1回）、実地訓練（1回） ・ 「逗子の地域医療の方針～これから取り組む課題について～」を策定。							
【参考】予算事業名	地域医療充実事業				【参考】実績額	140,572円	担当課	国保健康課
取り組み③	ICT等の活用による救急体制の充実							
説明	・ 病院連絡や受入れ確認の時間の短縮を図るため、ICTを活用する。							
2025年度 実施内容	・ 2023年度に実証途中で終了したICTを活用した救急実証事業については、その後の体制の整備や医療機関との調整が進まず、2025年度は新たな実施には至らなかった。 ・ 2025年10月から全国一斉にマイナ救急が本格運用されたものの、2025年度の閲覧割合は全体の救急出場の1.2%と低水準に終わった。 ・ 現在、国と連携し、逗子市のホームページへの掲載やポスター配布等の普及啓発活動を実施している。							
【参考】予算事業名	救急活動事業				【参考】実績額	0円	担当課	消防総務課

具体的施策	④ 地域自殺対策の推進							
KPI	自殺者数が0人になっている。							
2021.1～12	2023.1～12	2024.1～12	2025.1～12	2026.1～12	2027.1～12	2028.1～12	2029.1～12	目標
8人	11人	8人	6人					0人
進捗状況評価								
C：順調であるとみなせない								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
2024年3月に第2期自殺対策計画を策定。講演会や広報等で知識普及の啓発をしている他、自殺対策に理解のあるゲートキーパーの人材育成を行っており、そうした施策の進捗を管理・推進するための懇話会を開催している。また、地域生活の現場で起きる様々な問題に対する対策一つ一つが生きる支援につながることから、庁内関係課を集めた担当者会議を開催し、包括的支援を行うための連携体制を構築している。								
今後の対応								
自殺対策に関する正しい情報を発信して自殺対策計画を推進。また、ゲートキーパーを増やし、庁内関係課とも連携して、生きることの包括的な支援を図ることで、自殺者数0を目指す。								

主な取り組み

取り組み①	地域自殺対策の推進							
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・逗子市自殺対策計画に基づき、生きることを支える人材の育成、市民への啓発・周知、地域・庁内組織間における連携の強化、生きることの促進要因への支援を推進する。 ・逗子市自殺対策計画は5年に1回の改定を行っていく。 							
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・逗子市自殺対策計画推進懇話会：2回開催 ・逗子市自殺対策担当者会議：2回開催 ・ゲートキーパー養成講座開催：2回開催（教職員向け：8/4、42人参加、市民向け：3/20、27人参加） ・自殺対策普及啓発活動 1回実施（3/20 啓発グッズ150個配布） ・自殺対策講演会：1回開催（9/20、71人参加） ・こころの健康講座：1回開催（3/20、37人参加） 							
【参考】予算事業名	自殺対策計画推進事業				【参考】実績額	195,069円	担当課	国保健康課

取り組みの方向 3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまち

高齢化の急速な進展や、地域社会・家族関係が大きく変容していく中において、高齢者が住み慣れた地域で、安心して住み続けることができ、人生を豊かに過ごすことができるような地域社会の構築を進めていかなければなりません。

年齢を重ねてもできる限り要支援・要介護状態とならないための予防の取り組みや、介護サービスの基盤整備を進めていくとともに、多様な生活ニーズや地域課題の把握に努め、介護、医療、行政、地域などが連携したネットワークを構築し、いつまでも心豊かに、自分らしく暮らしていけるような環境づくりを進めていきます。

具体的施策 ① 健康寿命を延ばしてみんなで元気な高齢者をめざす取り組み

KPI	元気高齢者の割合が83%になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
78.89%	77.90%	76.48%	77.35%					83%
進捗状況評価								
C：順調であるとみなせない								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・本市は男女問わず健康寿命、平均寿命のいずれも県平均、全国平均と比較して高い。その一方で、平均寿命から健康寿命を差し引いた期間が長期化する傾向が高く、当該期間は日常生活に制限が生じて生活の質が低下し、医療、介護の支援が必要となる事が多いことから、平均寿命と健康寿命の期間が等しくなるような取り組みが必要である。								
・介護予防教室等には一定数の参加者はいるが、新規参加者が少ないことから新たな参加者の確保に向けた工夫が必要である。								
・介護予防・日常生活圏域ニーズ調査等のデータを活用し、本市の特性を踏まえた効率的、効果的な介護予防施策への取り組みを進める。								

主な取り組み

取り組み①	高齢者の運動の機会の促進と啓発							
説明	・高齢者が運動やスポーツに対し関心を高め、習慣化を図るために、eスポーツ等手軽に始められて、かつ継続して続けられる取り組みを進める。							
2025年度 実施内容	・手軽に参加できるeスポーツ太鼓の達人実施4コース 計31人参加 ・高齢者サロン等へのeスポーツ機器の貸し出し及び必要に応じて機器の使い方の指導等の実施							
【参考】予算事業名	一般介護予防事業				【参考】実績額	8,292,623円	担当課	社会福祉課

取り組み②	要介護状態になるおそれのある者への支援			
説明	・要介護状態になるおそれのある者に対して、各種データ等を用いて、より効果の高い介護予防事業を提供する。また、必要と思われる者が、できるだけ早期に参加するよう啓発を行い、積極的な介護予防事業への参加を促していく。			
2025年度 実施内容	・シニアヘルスアップ運動教室（運動機能向上を目的とした屋内運動教室）延41回 548人参加 ・水中運動教室（運動機能向上を目的とする、浮力を利用した水中運動教室）延12回、155人参加 ・脳活・筋活講座（認知症予防のためのライフキネティックを中心とした教室）計44回 478人参加 ・フレイルチェック測定会（身体の虚弱化を早期に把握し、改善を目指す）延12回 145人参加			
【参考】予算事業名	一般介護予防事業	【参考】実績額	8,292,623円	担当課 社会福祉課
取り組み③	高齢者の生きがいと健康づくりの推進			
説明	・教養講座を開き、知的好奇心を高める。			
2025年度 実施内容	高齢者自身の人生を豊かにするために高齢者が互いにふれあい、学びあう講座等（（特非）ズシップ連合会に委託）を開催した。 45回／年、延べ1264人参加（内訳○歴史講座（16回／年、延べ773人参加）、○高齢社会講座（15回／年、延べ240人参加）、○特別講座（14回／年、延べ251人参加））			
【参考】予算事業名	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	【参考】実績額	462,000円	担当課 高齢介護課
取り組み④	要介護状態となることを予防する活動の実施			
説明	・高齢者の生活機能維持や向上をめざし、介護予防教室の開催やサロン活動を推進する。			
2025年度 実施内容	・住民主体の通いの場（高齢者サロン）等に対する助成と当該活動の場へ介護予防のための専門職の派遣 ・シニアヘルスアップ運動教室、脳活・筋活講座等の介護予防施策の実施			
【参考】予算事業名	地域介護予防活動支援事業	【参考】実績額	5,629,565円	担当課 社会福祉課
【参考】予算事業名	一般介護予防事業	【参考】実績額	8,292,623円	担当課 社会福祉課
取り組み⑤	高齢者同士の交流			
説明	・老人クラブの活動を通して高齢者の交流を図る。			
2025年度 実施内容	高齢者の寝たきりゼロ運動推進を目指して、介護サービスを受けない高齢者づくりを推し進めることを目的として、シニア健康教室（特非）ズシップ連合会に委託）を開催した。 （20回／年、延べ751人参加）			
【参考】予算事業名	老人クラブ育成事業	【参考】実績額	3,512,900円	担当課 高齢介護課
取り組み⑥	認知症になっても住み慣れた地域で安心・安全に暮らせるための支援			
説明	・認知症予防の取り組みを継続しつつ、認知症に対する正しい知識及び認知症の人に対する正しい理解を進めるための取り組みを、認知症の方やそのご家族等の意見を反映しながら進めていく。			
2025年度 実施内容	・認知症サポート医による講演会 1回 38名 ・認知症当事者及び家族介護者による講演会（家族交流会含） 1回 54名（4世帯 6名） ・認知症サポーター養成講座 6回 172名			
【参考】予算事業名	認知症総合支援事業	【参考】実績額	612,777円	担当課 社会福祉課

具体的施策	② 介護サービス等の保険給付
-------	----------------

KPI	特別養護老人ホームの待機者数が100人以下になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
162人	145人	121人	96人					100人以下
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
高齢者保健福祉計画において、特別養護老人ホーム100床の増加をめざすもの。 特別養護老人ホーム以外の介護施設（有料老人ホーム等）の選択肢も増えてきている。								
今後の対応								
高齢者保健福祉計画において、特別養護老人ホーム100床の増加をめざす。								

主な取り組み

取り組み①	利用料の給付							
説明	・利用者の尊厳の保持と能力に応じて日常生活を住み慣れた地域で支援する。							
2025年度 実施内容	事業所向け研修の実施、事業所への実地指導及び住宅改修実施宅への調査等により適正な給付管理を行った。							
【参考】予算事業名	介護サービス等給付事業				【参考】実績額	6,177,990,971円	担当課	高齢介護課
取り組み②	地域密着型サービスの提供							
説明	・小規模多機能型居宅介護、定期巡回随時対応型訪問介護看護を実施する事業所の公募を実施する。							
2025年度 実施内容	令和6年度にグループホームの公募を実施し1事業所を採択した。令和7年度中に施設を建築し事業を開始する予定であったが、工事遅延により開設は令和8年度中となった。							
【参考】予算事業名	一般管理事務費				【参考】実績額	19,982,870円	担当課	高齢介護課
取り組み③	介護人材の確保、業務効率化の取り組みの強化							
説明	・安定的な介護サービスの供給のため、「介護人材の確保」を筆頭に、「介護職員の離職防止」、「介護需要の削減」の3つの視点に基づき、総合的に実施していく。							
2025年度 実施内容	介護人材確保事業補助金を4事業所及び2施設に交付した。 また、介護職員研修受講助成補助金を19名、介護事業所等就労支援補助金を12名に交付した。							
【参考】予算事業名	介護人材確保事業				【参考】実績額	3,178,890円	担当課	高齢介護課
取り組み④	特別養護老人ホームの拡充							
説明	・ショートステイの転換など既存施設の活用も検討し、特別養護老人ホーム100床の増加をめざす。							
2025年度 実施内容	高齢者保健福祉計画において、特別養護老人ホーム100床の増加をめざす。							
【参考】予算事業名	介護サービス等給付事業				【参考】実績額	6,177,990,971円	担当課	高齢介護課

取り組みの方向	4 障がい者が安心して自分らしく暮らし続けられるまち
<p>これまでわたしたちが築いてきたノーマライゼーションとリハビリテーションの理念を継承するとともに、ソーシャルインクルージョンの考え方に基づき、障がいのある人もない人も、誰もが分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合い、共に支え合いながら暮らすことができる共生社会を実現していくまちづくりを進めます。</p> <p>障がいのある人を取り巻く環境は、複雑化、多様化しています。誰もが生まれてからずっと安心して暮らし続けられるよう、ライフステージに応じた一貫した支援体制を充実するとともに、高齢化や「親亡き後」を見据えた仕組みづくりを進める必要があります。</p> <p>また、バリアフリーのまちづくりとして道路や施設等の整備だけでなく、こころのバリアフリーも実現し、障がいのある人ない人、団体、地域などあらゆる主体が支え合えるようなまちづくりを進めます。</p>	

具体的施策	① 子どもの発達段階に応じた継続的な支援
-------	----------------------

KPI	療育教育総合センターを18歳までに一度でも利用したことのある市内の子どもの割合が18.9%になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
12.6%	17.1%	19.5%	21.8%					18.9%
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
2022.3 利用人数1,107人/18歳以下人口8,760人＝12.6%								
2023年度 利用人数1,442人/18歳以下人口8,448人＝17.1%								
2024年度 利用人数1,604人/18歳以下人口8,242人＝19.5%								
2025年度 利用人数1,748人/18歳以下人口8,022人＝21.8%								
・「発達障がい」や「療育」についての世間認知度が上がったことによる利用人数の増加、及び18歳以下人口の大幅な減少により、療育教育総合センターを18歳までに一度でも利用したことのある市内の子どもの割合が上昇した。								
・市民向け公開講座について、引き続きオンライン配信を併用して開催した。また、利用者との連絡調整や関係機関との円滑な連携を図るため、電話やメール、オンライン等を適宜活用している。								
・SNS(Instagram)を活用し、療育支援に関する情報発信力の強化を行っている。								
今後の対応								
・SNS(Instagram)の活用により、療育支援に関する発信力を強化する。								
・療育相談員、専門員等による相談体制の充実に努める。								

主な取り組み

取り組み①	療育教育総合センターの運営				
説明	・18歳までの子どものライフステージに応じて継続的に支援を行うため、療育教育総合センターを運営する。				
2025年度 実施内容	<p>【相談体制の充実】</p> <p>・療育相談員、専門員等を配置し、相談支援に当たった。（SW 3 名、療育学齢相談員 1 名、心理士 3 名、ST 3 名、PT 1 名、OT 3 名、保育士 1 名、嘱託医 3 名）相談件数 7,321件 相談者数 967名</p> <p>・子どもの育ちに関する療育相談をはじめ、児童精神科の医師による講座や、センターで行う勉強会等で、保護者同士の交流の場を作り、家族支援を実施した。</p> <p>公開講座：1 回／75名（来場35名・オンライン40名）、就学に向けての家族勉強会：全 3 回／34名</p> <p>【療育機能の充実】</p> <p>児童発達支援事業を実施した。（利用者数21名／延959回利用）</p> <p>放課後等デイサービスを実施した。（利用者数64名／延2,156回利用）</p>				
【参考】予算事業名	こども発達支援センター運営事業	【参考】実績額	92,984,765円	担当課	療育教育総合センター
取り組み②	早期発見・早期療育のための相談体制等の充実				
説明	・療育を必要とする子どもの早期発見・早期療育への対応のための相談体制及び家族のケアの充実を図る。				
2025年度 実施内容	療育相談員、専門員等を配置し、相談支援に当たった。（SW 3 名、療育学齢相談員 1 名、心理士 3 名、ST 3 名、PT 2 名、OT 3 名、保育士 1 名、嘱託医 3 名）相談件数 7,321件 相談者数 967名				
【参考】予算事業名	こども発達支援センター運営事業	【参考】実績額	92,984,765円	担当課	療育教育総合センター
取り組み③	相談支援事業所との連携及び切れ目のない支援の充実				
説明	・本人を中心として、相談支援事業所及び相談支援の中核的な役割を担う機関である基幹相談支援センター等との連携と、18歳以降を含む生涯を通じた切れ目のない支援の充実を図る。				
2025年度 実施内容	基幹相談支援センターによる各相談支援事業所との連絡会を年12回開催し、相談支援機関とのネットワークの強化に努めた。				
【参考】予算事業名	相談支援事業	【参考】実績額	33,560,554円	担当課	障がい福祉課
【参考】予算事業名	児童福祉法給付等支給事業	【参考】実績額	321,005,914円	担当課	障がい福祉課

具体的施策	② 障がいのある人の居住支援
-------	----------------

KPI	市内におけるグループホームの施設数が12か所になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
7か所	8か所	8か所	8か所					12か所

進捗状況評価
B：概ね順調であるとみなせる

補足説明（反省点・問題点、工夫している点）
グループホームの設置を検討している事業者からの相談に対しては補助制度の案内等適宜対応をしている。令和7年度では実際の設置まで繋がらなかった。
今後の対応
グループホームの設置を検討している事業者から電話等による相談があった際は、補助制度等の情報提供を積極的に行っていく。

主な取り組み

取り組み①	グループホームの整備の支援			
説明	・グループホームを新規に設置する社会福祉法人等の運営法人または運営法人に賃貸する目的でグループホームを整備した者に、その整備費用の一部を補助する。			
2025年度 実施内容	令和7年度では、電話相談を1件受けたのみで、具体的な計画にはつながらなかった。			
【参考】予算事業名	民間障がい者福祉施設整備等促進事業	【参考】実績額	40,397,492円	担当課 障がい福祉課
取り組み②	グループホームの家賃助成			
説明	・市内外のグループホームに入居する障がいのある人に、家賃の一部を助成する。			
2025年度 実施内容	市民税課税世帯の者については月額上限20,000円、同非課税世帯の者については月額上限15,000円（別途、国の給付月額10,000円有）の支給を行った。支給決定人数85人。			
【参考】予算事業名	民間障がい者福祉施設整備等促進事業	【参考】実績額	40,397,492円	担当課 障がい福祉課

具体的施策		③ 障がいのある人の就労支援						
KPI	福祉施設の利用者のうち、就労移行支援事業等を通じて一般就労に移行する人数が18人/年になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
6人	11人 (R4年度実績)	4人 (R5年度実績)	11人 (R6年度実績)					18人
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
<p>KPI内訳：知的障がい者4人、精神障がい者7人</p> <p>自立支援会議専門会議就労支援部門を開催し、当事者団体、よこすか障害者就業・生活支援センター、特別支援学校、各事業所等と就労に向けた意見交換や情報共有、関係機関の相互連携等に努めた。</p> <p>よこすか障害者就業・生活支援センターと連携し、「障がい者就労なんでも相談」を実施。「ふれあいマーケット」をふれフェスinずしにおいての同時開催とし、「特別支援学校との進路に関する情報交換会」についても実施。</p> <p>あわせて就労支援員による事業主訪問を実施している。</p> <p>「逗子市障がい者活躍推進計画」を策定し、組織・人材等の体制、職務環境・人事管理等の整備や毎年度の取組状況の検証等を行いながら、市役所における障がいのある人の雇用、定着について推進していくこととしている。</p>								
今後の対応								
<p>自立支援会議専門会議就労支援部門における意見交換や情報共有を行い、関係機関の相互連携を深めていくとともに、「障がい者就労なんでも相談」をはじめとする当事者の相談の場による支援と就労支援員による事業主訪問を引き続き実施していく。</p>								

主な取り組み

取り組み①	障がい特性に応じた就労支援体制づくり							
説明	<ul style="list-style-type: none">・ 障害福祉サービス提供事業者への補助や市役所内における職場体験を行うなど、障がい特性に応じた就労等への支援を行う。・ 関係機関の相互連携により、就労可能な事業所等の情報共有、就労体験の実施が可能な事業所等の確保、雇用主に対する理解促進事業等、多岐にわたる支援の取り組みを進める。							
2025年度 実施内容	市役所で10日間勤務するトライアル雇用を2人に対して実施。経験等を活かし、取り組んでいた。							
【参考】予算事業名	就労等支援事業				【参考】実績額	3,566,732円	担当課	障がい福祉課
取り組み②	知的障がい者等の雇用促進							
説明	<ul style="list-style-type: none">・ 雇用の促進と就労の定着を図るため、知的障がいや精神障がいのある人を雇用する市内外の事業主に雇用報償金を支給する。							
2025年度 実施内容	市内在住の知的障がい者及び精神障がい者を3か月以上雇用する雇用主10か所に対して、障がい者1人につき月3万円を支給した。							
【参考】予算事業名	知的障がい者等雇用促進事業				【参考】実績額	4,710,000円	担当課	障がい福祉課
取り組み③	就労系障害福祉サービスの充実							
説明	<ul style="list-style-type: none">・ 障がいのある人の地域生活を支援するため、訓練等給付を支給し、機能訓練、就労支援などの通所系サービスを提供する。							
2025年度 実施内容	令和7年度では、通所系サービス（自立訓練、就労継続支援A型、就労継続支援B型、就労移行支援、就労定着支援）を242人が利用した（延べ人数）。また、自立支援会議専門会議就労支援部門を開催し、関係機関との円滑な就労支援を行う体制づくりに取り組んだ。							
【参考】予算事業名	障害者自立支援給付等支給事業				【参考】実績額	1,094,699,499円	担当課	障がい福祉課

具体的施策		④ バリアフリーの推進						
KPI	「障がいや障がいのある人に対し、社会全体の理解が進んできた」と回答する人の割合が66%以上になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
59.1%	43.8%	47.5%	44.90%					66%以上
進捗状況評価								
C：順調であるとみなせない								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
基幹相談支援センターで事業者を中心とした関係機関に対して、差別解消や権利擁護に関する研修を2回実施した。 理解促進研修・啓発事業及び自発的活動支援事業については、4事業を実施した。 市職員に対し、合理的配慮の提供をテーマにオンデマンド研修を行った。 障がい者の権利擁護啓発講演会を実施した。 声の広報ずし、声の議会報、点字広報について、毎月発行している。								
今後の対応								
引き続き上記事業を推進し、市内における障がいや障がいのある人への理解促進に取り組んでいく。								

主な取り組み

取り組み①	障がい理解のための啓発と自発的な取り組みの支援							
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいや障がいのある人への市民の理解を深め、こころのバリアフリーを推進するため、啓発イベント等を実施し、理解の場や人々のふれあいの場を確保する。 ・障がいのある人やその家族、地域等における自発的な取り組みを支援する。 							
2025年度 実施内容	ふれあいフェスinずしを障害者週間に実施し、409人の参加があった。							
【参考】予算事業名	障がい者の住みよいまちづくり推進事業				【参考】実績額	478,954円	担当課	障がい福祉課
取り組み②	公共施設整備バリアフリー懇話会の運営							
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・市が設置または管理する公共施設を整備する際に、広く市民、高齢者、障がいのある人等の代表を含む関係者等の意見を公共施設バリアフリー懇話会にて聴取することにより、ユニバーサルデザインの視点を取り入れたバリアフリー化を進める。 							
2025年度 実施内容	逗子市消防署北分署建替工事について、バリアフリー懇話会を1回開催した。							
【参考】予算事業名	障がい者の住みよいまちづくり推進事業				【参考】実績額	478,954円	担当課	障がい福祉課
取り組み③	福祉教育の推進							
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校において、社会福祉協議会や当事者団体等と連携しながら、障がい、LGBT等社会的マイノリティとその多様な在り方や、高齢者の介護などを広く理解する福祉教育に取り組む。 							
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会の協力を得て、市内小中学校において、共に生きる視点を持つことを目的に授業実践を行った。 							
【参考】予算事業名	—				【参考】実績額	—	担当課	学校教育課

具体的施策	⑤ 地域生活支援拠点等の充実
-------	----------------

KPI	緊急時の受け入れ・対応の対象となるハイリスク者の登録者数が30人になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
2人	22人	22人	27人					30人
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
一定数の事業所が登録され、制度として整備されたものの、未登録の市内事業所が存在しているため、引き続き登録を促していくこと、また登録された事業所に対しても、登録した機能以外の機能も担っていただくよう促していくことが必要。								
今後の対応								
今後も事業について広く周知していき、緊急時の受け入れ・対応の対象となるハイリスク者の洗い出し、並びに対応できる市内事業所の登録勧奨を行っていく。								

主な取り組み

取り組み①	緊急時の受け入れ・対応等の整備							
説明	・障がいのある人の高齢化・重度化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための5つの機能（相談、緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくり）を地域生活支援拠点等として整備、充実に取り組む。 ・5つの機能のうち、緊急時の受け入れに係る費用を補助し、各機能に関連する給付費加算を支給する。							
2025年度 実施内容	2人の利用があった。							
【参考】予算事業名	障害者自立支援給付等支給事業				【参考】実績額	1,094,699,499円	担当課	障がい福祉課
取り組み②	相談機能・地域の体制づくり等の充実							
説明	・基幹相談支援センターが委託相談支援事業及び特定相談支援事業等と連携し、緊急時の対応に必要なコーディネート及び相談、専門的な人材の確保・養成、地域の様々なニーズに対応できる体制づくり等の機能を担う。 ・自立支援会議を活用して地域生活支援拠点等の運用状況の検証・検討を行う。							
2025年度 実施内容	基幹相談支援センターによる各相談支援事業所との連絡会を年12回開催し、相談支援機関と困難事例等を通じて、支援体制の強化に取り組んだ。 自立支援会議にて、地域生活支援拠点等の運用状況の検討・検討を行うとともに緊急時を見越したシミュレーションを行った。							
【参考】予算事業名	相談支援事業				【参考】実績額	33,560,554円	担当課	障がい福祉課
取り組み③	体験の機会・場の促進							
説明	・地域移行支援や親元からの自立にあたって、就労を目標とした障害福祉サービスの利用を進める通所体験事業を実施する。							
2025年度 実施内容	障がい者の体験利用受け入れを行った事業所3か所に対して、事業種別に応じた金額を支給した。							
【参考】予算事業名	就労等支援事業				【参考】実績額	3,566,732円	担当課	障がい福祉課

取り組みの方向 5 誰もが心豊かに子育て・子育てできるまち

急速な少子化の進行や、家庭や地域を取り巻く環境の変化、地域とのつながりの希薄化の中で、心豊かに子育てをするためには、子育てに対する不安や孤立感を減らし、子育ての喜びを実感できることが必要です。子育てを親が主体的に行えるよう、まち全体で子育てを応援し、住み慣れた地域で安心して子どもを生み育てることのできる総合的な支援体制の充実をめざします。

さらに、家庭環境や雇用形態の多様化などを踏まえ、家庭と地域や学校等が相互に協力し、まちを生かした豊かな遊びと学びの環境を整え、すべての子どもがその権利を擁護され、愛され信頼されることを通じて、次世代を担う子どもたちが、心身共にたくましく生きる力と豊かな人間関係を培うことができるよう、地域と共に子育て・子育てできるまちづくりをめざします。

具体的施策 ① 妊娠前からの子育ての相談・支援の充実

KPI	保健師及び助産師が、乳児がいるすべての家庭を訪問し、相談に応じている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
93.1%	94.87%	96.52%	97.93%					100%

進捗状況評価

B：概ね順調であるとみなせる

補足説明（反省点・問題点、工夫している点）

出生届出時に産婦・乳児訪問の案内をしている。産婦・乳児訪問未実施の理由としては、訪問日程調整のための連絡が繋がらなかったことや長期里帰り中で訪問の希望が無かったこと等が挙げられる。

工夫点:(1)逗子市民の里帰り先自治体への訪問依頼、逗子市が里帰り先の者への訪問、それぞれの情報共有を実施している。(2)産後健診の状況を病院とやり取りし、訪問の時期や担当などを工夫している。(3)専門職の訪問後、孤立している母子に関しては、主任児童員の家庭訪問を勧め繋げたり、子育て支援センターを案内するなどしている。

今後の対応

- ・妊娠期から産後の支援強化として経済的支援と伴走型支援（専門職の継続的支援）を並行して実施していく。対象者の状況やニーズに合わせて集団指導や個別相談で対応していく。
- ・他部署・他機関との連携を強化し、更なる支援体制の整備に努める。
- ・情報を1冊にまとめた子育てガイドを各家庭に2冊（父用・母用）作成・配付。
- ・離乳食教室・パパママ準備クラス・産後ケアの申し込みに電子申請を継続し、利用しやすい状況を継続する。
- ・妊娠8か月頃にSMSで状況の聞き取りアンケートを実施し、出産前の状況確認に加え、安全・安心な出産を目指す。また、産後1～2か月頃にもSMSで体調確認・事業紹介の案内を行い、相談へつなげる機会を増やす。
- ・乳幼児健診（4か月児健診・お誕生日前健診・1歳6か月児健診）対象者にSMSで案内実施し健診受診率の向上につなげる。

主 な 取 り 組 み

取り組み①	乳幼児健診等の充実				
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の心身の健康の確認、疾病や障がいを早期に発見し、早期治療及び早期療育を実現する。 ・健康な乳幼児に対しても子育て支援を行い、知識の普及と親の不安の解消を図る。 				
2025年度 実施内容	≪ 健診の実施状況 ≫ 4 か月児健診（対象者）259人（受診者）258人（受診率）99.6％ お誕生日前健診（対象者）257人（受診者）253人（受診率）98.4％ 1歳6か月児健診（対象者）253人（受診者）249人（受診率）98.4％ 3歳児健診（対象者）345人（受診者）331人（受診率）95.9％				
【参考】予算事業名	乳幼児健診事業	【参考】実績額	7,883,928円	担当課	子育て支援課
取り組み②	妊婦健診の充実				
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦の健康管理の強化徹底を図るため、妊産婦健康診査を医療機関・助産院に委託して行うことにより、妊婦、乳児の死亡率の低下、流産・死産の防止及び心身障がい児の発生を予防する。 				
2025年度 実施内容	《健診の実施状況》 ＊妊産婦健診（委託契約医療機関・助産院受診分） 合計延べ 3,440人 ＊妊産婦健診償還払い申請者数 168人				
【参考】予算事業名	妊産婦健診事業	【参考】実績額	26,372,057円	担当課	子育て支援課
取り組み③	産後ケア事業による支援				
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・心身のケアや育児サポート等を行い、産後安心して子育てができるよう支援するため、産後1年未満の産婦とその子を対象に、宿泊型、通所型及び訪問型のサービスを実施し、産婦の健康管理及び生活指導、授乳指導、乳児の発育・発達観察、家庭に戻ってからの子育てや生活の相談・指導等を行う。 				
2025年度 実施内容	＊利用内訳 デイサービス （実）30名・（延）43名、（通算43日） ショートステイ （実）40名・（延）157名、（通算157日） アウトリーチ （実）11名・（延）28名、（通算28日）				
【参考】予算事業名	妊産婦健診事業	【参考】実績額	26,372,057円	担当課	子育て支援課
取り組み④	妊産婦・乳児訪問等の実施				
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦訪問及び「こんにちは赤ちゃん訪問事業」として、未熟児を含めた乳児の全戸訪問を行い、母子が必要としている援助を行うとともに、育児不安の解消、適切な育児、子どもの発達や養育環境の観察を行う。 				
2025年度 実施内容	対象児 242人、訪問実施 237人、実施率 97.93％				
【参考】予算事業名	妊産婦・乳児訪問等事業	【参考】実績額	2,671,341円	担当課	子育て支援課

取り組み⑤	パパママ準備クラスの充実				
説明	・妊娠・出産・育児についての知識の普及を図り、親が共に育児を行う大切さを伝えるとともに、妊娠期からの仲間づくりの支援を行うため、パパママ準備クラスを開催する。				
2025年度 実施内容	妊娠中の教室→FirstStep 4回、SecondStep 4回、ThirdStep 5回 産後の教室→FourthStep 4回実施 計17回実施 参加者数（延べ数）：妊婦113名（初妊婦109名、経産婦4名）、夫・パートナー83名（初妊婦81名、経産婦2名）				
【参考】予算事業名	妊産婦・乳幼児教室事業	【参考】実績額	1,523,689円	担当課	子育て支援課
取り組み⑥	不妊治療、不育症治療に係る助成				
説明	・令和3年度末までに神奈川県の特定不妊治療支援事業の助成を受けた者に、特定不妊治療費の一部を助成する。 ・令和5年度から生殖補助医療費の助成を行う。				
2025年度 実施内容	《令和7年度申請件数》 生殖補助医療費助成 46件 不育症医療費助成事業 0件				
【参考】予算事業名	特定不妊治療費等助成事業	【参考】実績額	2,307,732円	担当課	子育て支援課
取り組み⑦	思春期から妊娠適齢期の健康相談、健康教育等の実施				
説明	・保健師による健康相談の一環として、思春期から妊娠適齢期の健康相談、健康教育等に対応する。				
2025年度 実施内容	・ホームページ「妊娠・出産を望まれる方へ」の情報リンクの整備 ・思春期保健（健康教育）に関わる保護者のみならず、思春期の子どもと直接の電話、面接等を通じて、子どもの声を聴いた（学校等と連携し、学校現場等での面接も適宜実施）。				
【参考】予算事業名	—	【参考】実績額	—	担当課	子育て支援課

具体的施策	② 子育てを支える取り組みの推進
-------	------------------

KPI	ファミリー・サポート・センターに登録している支援会員（両方会員を含む）の登録人数が550人になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
434人	415人	423人	425人					550人

進捗状況評価	
C：順調であるとみなせない	
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）	
工夫した点として、支援会員研修開催場所を市役所会議室としたことで、アクセスしやすいと好評であった。また託児を子育て支援センター内で行ったところ、安心して預けられるとのことで好評であった。お試し体験チケットを令和6年度より開始し、令和7年度は57時間分のチケット利用となった。問題点として、依然として支援会員の希望者が集まらないことがある。	
今後の対応	
受講者増加のため、周知方法を増やす。また令和7年度より支援会員を希望しない人でも聴講できる市民公開講座を開始した。これを継続して興味を持ってもらう人を増やす。	

主 な 取 り 組 み

取り組み①	子育て情報提供の充実				
説明	・子育てに関する情報の一元化、総合化を行い、子育て情報の提供を充実させる。				
2025年度 実施内容	子育て情報提供の充実を図るため、子育て支援センターにてInstagramを開始し、情報提供の迅速化に努めた。				
【参考】予算事業名	—	【参考】実績額	—	担当課	子育て支援課
取り組み②	ファミリー・サポート・センター事業の充実				
説明	・子育てについて地域の人たちがお互いに助け合っていくことをめざし、子どもの預かりを相互援助活動として行う。				
2025年度 実施内容	会員数 * 依頼会員 1,317人 * 支援会員 236人 * 両方会員 189人 活動件数 2,306件				
【参考】予算事業名	ファミリーサポートセンター運営事業	【参考】実績額	11,857,876円	担当課	子育て支援課

取り組み③	保育所、幼稚園等による相談、一時預かり等の支援の充実			
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・民間保育所の専門的機能を活用し、地域育児強化事業の推進を図る。 ・保育所等で児童を一時的に預かることで、安心して子育てできる環境を整備する。 			
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・一時預かり事業（一般型） <ul style="list-style-type: none"> 双葉保育園 1,973,000円 沼間愛児園 1,473,000円 桜山保育園 1,473,000円 逗子なないろ保育園 1,473,000円 ・一時預かり事業（幼稚園型Ⅰ） <ul style="list-style-type: none"> かぐのみ幼稚園 10,040,000円 明照幼稚園 842,000円 聖マリア幼稚園 5,745,000円 かまくら幼稚園 594,000円 横須賀幼稚園 249,000円 御国幼稚園 300,000円 			
【参考】予算事業名	一時預かり事業	【参考】実績額	24,162,000円	担当課 保育課
取り組み④	放課後児童への対応の充実（放課後児童クラブ）			
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が就労等により自宅にいない家庭の小学生を対象に、放課後の生活の場を提供する。 			
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブ指定管理料 <ul style="list-style-type: none"> 逗子小学校区放課後児童クラブ（ずしっ子太陽学童クラブ）18,978,608円 沼間小学校区放課後児童クラブ（ずしっ子そよ風学童クラブ）24,645,732円 久木小学校区放課後児童クラブ（ずしっ子あおぞら学童クラブ）21,394,504円 小坪小学校区放課後児童クラブ（波の子学童クラブ）13,226,482円 池子小学校区放課後児童クラブ（りす子どもクラブ）14,756,700円 ・補助型放課後児童クラブ <ul style="list-style-type: none"> 補助型放課後児童クラブ運営費補助金 11,617,000円 ・放課後児童支援員等処遇改善事業 5,058,900円 			
【参考】予算事業名	放課後児童クラブ事業	【参考】実績額	110,891,253円	担当課 保育課

取り組み⑤	放課後児童への対応の充実（ふれあいスクール）			
説明	・家庭・地域・学校の連携のもとに、小学生の放課後の居場所、遊び場及び異年齢交流の場を確保する。			
2025年度 実施内容	◎開所日数 231日（逗子小）、214日（久木小）、226日（小坪小）、218日（沼間小）、220日（池子小） ◎延べ利用者数 ・逗子小ふれスク16,925人・久木小ふれスク14,290人・小坪小ふれスク6,273人 ・沼間小ふれスク16,061人・池子小ふれスク8,010人 ・計61,559人			
【参考】予算事業名	ふれあいスクール事業	【参考】実績額	76,401,539円	担当課 子育て支援課
取り組み⑥	病児・病後児保育の充実			
説明	・子育てについて地域の人たちがお互いに助け合っていくことをめざし、子どもの預かりを相互援助活動として行う中で、病児・病後児預かりを実施する。			
2025年度 実施内容	会員数 * 依頼会員 1,317人 * 支援会員 236人 * 両方会員 189人 活動件数 2,306件 病児・病後児預かり * 依頼会員 0人 * 支援会員 7人 * 両方会員 0人 活動件数 0件			
【参考】予算事業名	ファミリーサポートセンター運営事業	【参考】実績額	11,875,876円	担当課 子育て支援課
取り組み⑦	親子遊びの場の運営			
説明	・親子遊びの場など親子が自由に利用でき、集える場を確保する。			
2025年度 実施内容	* 親子遊びの場（プレイルーム）を市内3か所（沼間、小坪、池子）に開設した。 * ボーネルンド親子遊びイベントを3回実施した。			
【参考】予算事業名	親子遊びの場運営事業	【参考】実績額	1,441,133円	担当課 子育て支援課
取り組み⑧	ほっとスペースの運営			
説明	・家庭・地域・学校の連携のもとに、小学生の放課後の居場所、遊び場及び異年齢交流の場を確保する。			
2025年度 実施内容	ほっとスペース開設日数 逗子73日、久木69日、小坪137日、沼間142日、池子280日 延べ利用者数 逗子610人、久木731人、小坪409人、沼間787人、池子9,983人、計12,520人			
【参考】予算事業名	ふれあいスクール事業	【参考】実績額	76,401,539円	担当課 子育て支援課

取り組み⑨	子育てに係る相談の充実				
説明	・逗子市要保護児童援助ネットワーク会議を中心に、関係機関が有機的に連携し、児童虐待に対する早期発見と虐待予防、ケアが必要な児童の保護、保護者支援等、子どもの立場に立った支援体制の充実を図る。				
2025年度 実施内容	児童福祉法等に基づき、市内に所在する全ての子どもとその家族並びに妊産婦の福祉に関する支援を行い、各機関との情報共有や対象児童やその保護者への面談等を行い児童福祉、母子保健の支援を実施した。				
【参考】予算事業名	こども家庭センター運営事業	【参考】実績額	7,239,353円	担当課	子育て支援課
取り組み⑩	子育て支援センターの運営				
説明	・育児不安等についての相談事業、育児サークル等の育成・支援、子育て中の親たちの自主活動を支援する。				
2025年度 実施内容	子育て支援センター利用者数 4,173組 9,278人 小坪巡回相談利用者数 118組 242人 沼間巡回相談利用者数 259組 544人				
【参考】予算事業名	子育て支援センター運営事業	【参考】実績額	19,989,769円	担当課	子育て支援課
取り組み⑪	ひとり親家庭等への継続的な支援				
説明	・ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援する。				
2025年度 実施内容	手当額 月額6,000円 対象世帯 142世帯（令和8年3月支払い実績件数）				
【参考】予算事業名	ひとり親家庭等福祉手当支給事業	【参考】実績額	11,688,000円	担当課	子育て支援課
取り組み⑫	支援を必要とする子どもに対する学習支援				
説明	・学習習慣が身についていなかったり、学習に不安がある中学生を対象とし、学習支援を行うとともに、仲間づくり、親睦と交流を図る。				
2025年度 実施内容	児童福祉法等に基づき、市内に所在する全ての子ども及びその家庭並びに妊産婦の福祉に関する支援を行い、各機関との情報共有や対象児童や保護者への面談等を行い、児童福祉、母子保健の支援を行った。				
【参考】予算事業名	—	【参考】実績額	—	担当課	子育て支援課
取り組み⑬	子どもの貧困に関する取り組み				
説明	・逗子市要保護児童援助ネットワーク会議において情報を収集し、教育・福祉・その他関係機関と連携し課題解決に取り組む。				
2025年度 実施内容	児童福祉法等に基づき、市内に所在する全ての子ども及びその家庭並びに妊産婦の福祉に関する支援を行い、各機関との情報共有や対象児童や保護者への面談等を行い、児童福祉、母子保健の支援を行った。				
【参考】予算事業名	こども家庭センター運営事業	【参考】実績額	7,239,353円	担当課	子育て支援課
取り組み⑭	小児医療費に係る助成の充実				
説明	・小児に係る医療費のうち健康保険の自己負担分を給付する。				
2025年度 実施内容	医療証対象者数 7,576件（令和7年度末） 助成額 235,187,698円（年間支出額）				
【参考】予算事業名	小児医療費助成事業	【参考】実績額	242,128,987円	担当課	子育て支援課

取り組み⑮	要保護児童に対する取り組み			
説明	・児童福祉法第10条の規定に基づき、児童及び妊産婦の実情の把握、必要な情報の提供、家庭その他からの相談に応じ、必要な調査及び指導を行う。			
2025年度 実施内容	・児童福祉法等に基づき、市内に所在する全ての子ども及びその家族並びに妊産婦の福祉に関する支援、各機関との情報共有や対象児童や保護者への面談等を通じて児童福祉かつ母子保健の支援を一体的に実施。 ・課題の多い内容の講座を年度6回開催。（子どもとの付き合い方講座、ICTとの付き合い方講座） ・子育て支援センター父の日に参加し話を聞く、相談にのるなどを実施した。			
【参考】予算事業名	こども家庭センター運営事業	【参考】実績額	7,239,353円	子育て支援課
取り組み⑯	居場所づくりへの支援			
説明	・子どもたちや保護者などが、身近な地域で気軽に集まり、おしゃべりをするなど自由にくつろぎ、安心して過ごせる居場所づくりをサポートする。 ・子どもたちや保護者などの居場所づくりに取り組んでいる民間団体を支援し連携を図る。			
2025年度 実施内容	フリースクール等、子どもの居場所づくりを目的とした団体が、スマイルの各部屋を優先的に使用できるよう団体登録制度を開始した。 団体登録件数3件 子どもがくつろげるスペースとして、多目的室3の改修を行った。 不登校の子どもの保護者向け講座を実施した。全2回/延べ45名			
【参考】予算事業名	子どもの居場所づくり事業	【参考】実績額	745,751円	子育て支援課
2025年度 実施内容	子どもの育ちに関する療育相談をはじめ、児童精神科の医師による講座や、センターで行う勉強会等で、保護者同士の交流の場を作り、家族支援を実施した。 相談件数 7,321件 相談者数 967名 公開講座：1回/75名（来場35名・オンライン40名）、就学に向けての家族勉強会：全3回/34名			
【参考】予算事業名	こども発達支援センター運営事業	【参考】実績額	92,984,765円	療育教育総合センター
取り組み⑰	（仮称）逗子市子ども基本条例の制定			
説明	・令和7年度から（仮称）逗子市子ども基本条例の制定に向けて子ども・子育て会議、関係所管や関係機関との議論を行う。その中で当事者である子ども・若者の意見を聴取し意見を反映させる。			
2025年度 実施内容	令和8年3月に開催した令和7年度第3回逗子市子ども・子育て会議において（仮称）逗子市子ども基本条例制定に向けた基本的な考え方や子どもや若者の意見聴取について議題とし、会議メンバーに提示した。			
【参考】予算事業名	次世代育成支援対策事業	【参考】実績額	384,366円	子育て支援課

具体的施策	③ 幅広い保育ニーズに対応できる体制づくり
-------	-----------------------

KPI	保育所等入所待機児童が0人になっている。							
2022.4.1	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
13人	11人	6人	3人					0人

進捗状況評価
B：概ね順調であるとみなせる

補足説明（反省点・問題点、工夫している点）
待機児童がいる一方、空きのある保育所等もある。
今後の対応
利用者支援員による適切な情報提供を行う。また、今後の人口の推移を見越し、ニーズに合った事業を進めていく。

主な取り組み

取り組み①	保育の充実と選択枝の拡大							
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する保育ニーズに合わせ、幼稚園の預かり保育の拡大等、保育の選択枝を増やし、働き方やライフスタイルに合った施設の情報を提供する。 ・子どもの成長に合わせて転園しやすい仕組みづくりを推進する。 ・広報誌、ホームページ等による適切なアナウンス、利用者支援員による適切な対応により、本施策の推進を図る。 							
2025年度 実施内容	・保育所等利用者支援員報酬及び手当 5,389,200円							
【参考】予算事業名	利用者支援事業				【参考】実績額	5,389,200円	担当課	保育課
取り組み②	保育士確保の取り組み							
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報誌のみならず、あらゆる機関や媒体への周知活動を行い、保育士の確保につなげる。 ・大学等からの保育実習生の受け入れをより積極的に行い、逗子市で保育士として働く機会を拡大する。 ・逗子市で保育士として働きたいと思ってもらえるよう、市内各園と協力・連携し、地域の特色を生かした魅力ある保育を発信する。 							
2025年度 実施内容	・民間保育所人材確保補助 1,724,912円							
【参考】予算事業名	民間保育所等運営支援事業				【参考】実績額	41,316,364円	担当課	保育課

取り組み③	様々な保育ニーズへの対応				
説明	・様々なニーズに対応する保育を実施する。				
2025年度 実施内容	こどもの良質な生育環境の整備、多様な働き方やライフスタイルに関わらない形での支援強化を目的として国が創設した「こども誰でも通園制度」が2026年度から全国の自治体で実施されるのを前に、実施の準備を行いました。 ※こども誰でも通園制度の対象児童：保育所等に通っていない0歳6か月～満3歳未満				
【参考】予算事業名	—	【参考】実績額	—	担当課	保育課
取り組み④	幼稚園就園等に係る支援				
説明	・子ども・子育て支援法に基づき原則3歳以上の児童に係る保育料を無償にし、子育て支援を図る。				
2025年度 実施内容	・無償化される利用料と2025年度利用人数 幼稚園（上限25,700円/月）76人 認可外/一時預かり保育施設（上限37,000円/月）105人 預かり保育事業（1日につき上限450円）166人				
【参考】予算事業名	幼児教育・保育無償化給付等事業	【参考】実績額	70,623,834円	担当課	保育課
取り組み⑤	子育てと仕事を両立させる環境整備				
説明	・自分らしく働き、暮らしやすいまちをめざすため、ライフスタイルに合った働き方のできる環境の創出を図る。				
2025年度 実施内容	子どもを預けながら働くことができる環境の創出を目指して、保育的機能を有する事業所開設の支援を行ってきたが、2024年度からは、より柔軟な「女性の新しい働き方」として時間にとらわれず自宅で仕事ができるテレワーク就業に向けたスキルアップセミナーを開催する女性のテレワーク支援事業を実施し、女性の就業支援を行った。 2024年度はオンラインのみのセミナーだったが、2025年度は逗子市商工会との連携により地域で活躍するロールモデルとなる女性による講演会を対面形式で実施した。対面形式の講座は多くの参加者から好評を得られ、自分らしく働くことの棚卸等を通じ、参加者同士のコミュニティの中で逗子市内で暮らしながら自分らしく働くことを目指すモチベーションの増加に寄与した。				
【参考】予算事業名	関係法人等創出事業	【参考】実績額	3,497,249円	担当課	企画課

具体的施策	④ 子どもたちの居場所づくりの推進
-------	-------------------

KPI	体験学習施設「スマイル」の主催講座の延べ参加者数が2,000人/年になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
557人	945人	1,239人	956人					2,000人

進捗状況評価
C：順調であるとみなせない

補足説明（反省点・問題点、工夫している点）
2024年度と比較して講座の延べ参加者数が減少し、目標達成に至らなかった。 定員に満たず中止になった講座があったこと、講師の調整が難しかったことが参加者数減少の要因であったと考える。
今後の対応
講師の報酬等の条件、受講者の募集方法、開催日時等を見直していく。併せて引き続き子どもたちがより参加したいと思える講座を企画していく。

主な取り組み

取り組み①	体験学習施設「スマイル」での講座やイベントの充実				
説明	・体験学習施設「スマイル」を拠点に、様々な講座やイベント等を行い、子どもたちの居場所をつくる。 ・子どもたちが地域でいきいきと自主的な活動ができるように支援する。 ・課外における教育としての「共育」を推進する。				
2025年度 実施内容	◎主催イベント ・スマイルハロウィン 10月26日（日） 参加者数 約1,000人 （ワークショップ、スタンプラリー、仮装コンテスト等を実施。イベント当日の天候は雨） ◎主催講座 ・118講座 延べ参加者数 956人				
【参考】予算事業名	体験学習施設講座等事業	【参考】実績額	609,201円	担当課	子育て支援課

取り組み②	青少年の健全な育成に係る事業の推進				
説明	・青少年問題協議会の開催のほか、青少年の健全の育成に係る事業を行う。				
2025年度 実施内容	青少年問題協議会 1回実施 第1回 10月6日				
【参考】予算事業名	青少年問題協議会経費	【参考】実績額	57,500円	担当課	子育て支援課

逗子市総合計画

進行管理表

第2節

柱	第2節 共に学び、共に育つ「共育(きょういく)」のまち							
めざすべきまちの姿	<p>世代間交流を通じて、共に学び合い、共に育つ「共育」理念のもと、市民の誰もが、人生のどの場面でも、いきいきと学び、文化を育み、スポーツに親しみ、その成果を様々な形で生かすことのできる、市民が主役を演じる「共育のまち逗子」をめざします。</p>							
目標	共に学び、共に育つ「共育(きょういく)」のまちをめざす市の取り組みに満足している人の割合が10ポイント増加している。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
未実施	63.1%	69.5%(64.8%)	67.8%(66.5%)	(68.2%)	(69.9%)	(71.5%)	(73.1%)	73.1%
進捗状況評価								
A：順調である								

取り組みの方向	1 子どもも大人も共につながり成長していく生涯学習のまち
<p>市民の誰もが、人生のどの場面でも、いきいきと学びを楽しめるよう、現代的課題や地域課題について、共に学び、個を高め合う社会教育の機会を広く市民に提供するとともに、市民の自主的な学びを支援します。</p> <p>そして、学ぶ楽しみ教える喜びで地域の一人ひとりがいきいきと輝いているまち、学んだ成果を生かすことで元気な地域づくりへとつなげていくまち、生涯学習のまち逗子をめざします。</p>	

具体的施策	① 学習機会の提供による社会教育の推進							
KPI	講座事業において、各分野（現代的課題、地域課題、家庭教育）3講座以上実施され、受講生の満足度が5段階評価のうち4以上が90%を超えている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
各分野3講座以上実施されている。 満足度86.9%	各分野3講座以上実施した。 満足度90.06%	各分野3講座以上実施した。 満足度81.23%	各分野3講座以上実施した。 満足度91.39%					各分野3講座以上実施されている。 満足度90%以上
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
<p>現代的な課題や地域課題の解決に資する人材育成に向けて、「学校を核とした地域づくりを目指した、大人とおとなが会える講座」や「地域の住民、児童の保護者が一緒にまちを歩く歴史散歩」、「郷土アイデンティティを育む講座」、「全世代を対象とした逗子についてのクイズ講座」等を開催し、学校教育との連携及び世代間交流を積極的に行った。</p>								
今後の対応								
<p>地域全体で子育てができる環境整備や人材育成に向けて、社会教育委員の専門性を積極的に活用し、充実した学習機会の提供に努める。</p>								

主 な 取 り 組 み

取り組み①	各種講座事業の推進				
説明	・ 現代的課題、地域課題に関する講座を開催し、学習機会を提供することにより、まちづくりに関わる人材育成を図る。				
2025年度 実施内容	各種講座の開催 ・ 現代的課題に関する講座 「学校づくりと地域づくりの困難と希望」「逗子トリビアクイズワークショップ」など 3講座3コマ 受講者数 延べ69人 満足度評価4以上 87.80% ・ 地域課題に関する講座 「歴史散歩」「親子料理教室」「サードエイジ連続講座」など 6講座13コマ 受講者数 延べ245人 満足度評価4以上 90.57% ・ 社会教育出張講座（沼間・小坪コミセンで開催） 「現代詩・現代俳句」「ボディコンディショニング体験教室」「小学生ウクレレ体験教室」など 9講座18コマ 受講者数 延べ116人 満足度評価4以上 96.15%				
【参考】予算事業名	各種講座事業	【参考】実績額	235,500円	担当課	社会教育課
【参考】予算事業名	社会教育出張講座事業	【参考】実績額	186,037円	担当課	社会教育課
取り組み②	家庭教育推進事業の充実				
説明	・ 家庭と地域の教育力の向上のため、子育て中の保護者を対象にした講座を開催する。				
2025年度 実施内容	家庭教育講座の開催 ペアレントプログラム体験講座（全3回） 受講者数 延べ54人 満足度評価4以上 97.73%				
【参考】予算事業名	家庭教育推進事業	【参考】実績額	121,941円	担当課	社会教育課
取り組み③	読書活動の推進				
説明	・ 図書展示の実施やおはなし会の開催などを通じて、読書に親しむ機会を提供するとともに、幅広い世代の居場所としての役割を果たす。				
2025年度 実施内容	次のとおり実施した。 ・ 図書館展示（展示回数：115回 展示点数：8,983点 貸出回数：13,888回） ・ おはなし会（開催回数：50回 参加延べ人数 子ども：577人、大人：340人）				
【参考】予算事業名	図書館活動事業	【参考】実績額	3,629,022円	担当課	図書館
取り組み④	子どもの読書活動の推進				
説明	・ 逗子市子どもの読書活動推進計画に基づき、市内小・中学校等との連携・協力を密にして、読書環境を整える。				
2025年度 実施内容	次のとおり実施した。 ・ 団体貸出 全学校計903冊 ・ リサイクル本提供 全学校計580冊 ・ 施設見学（逗子小学校2年生、2日） ・ 学校読み聞かせ（逗子中学校1年生、1日）				
【参考】予算事業名	図書館活動事業	【参考】実績額	3,629,022円	担当課	図書館

具体的施策	② 生涯を通じた学習活動の支援							
KPI	市内で活動する生涯学習団体の総数が400を超えている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
322	291	387	298					401以上
進捗状況評価								
C：順調であるとみなせない								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
2025年度末時点で登録団体数は432団体であるが、「ずし市民活動・生涯学習団体ガイドブック」への掲載を許可している団体数を集計した結果、上記の数字となった。近年、個人情報保護の観点から、ガイドブックへの掲載を希望する団体が減少している。 (登録団体数：2022.3：407団体、2023.3：373団体、2024.3：424団体、2025.3：390団体)								
今後の対応								
市民交流センターと連携し、市民団体の世代交代の支援の制度確立に向けた調整を行うなど、市民活動の活性化を図る。								

主な取り組み

取り組み①	生涯学習活動の情報の提供							
説明	・市や市民団体等が実施する講座、イベントや、生涯学習団体の情報を集約し、提供する。							
2025年度 実施内容	・市民活動のススメ講座の実施。 ・市民講師の育成を目的とした講座、市民団体との連携を目的とした講座などを実施。							
【参考】予算事業名	市民交流センター維持管理事業				【参考】実績額	62,509,666円	担当課	市民協働課
取り組み②	生涯学習活動の場の提供							
説明	・市の生涯学習関連施設など活動の場が継続的に確保されるよう、ニーズを的確に把握するとともに、適時の修繕など維持管理に努める。							
2025年度 実施内容	・市民交流センターにてボランティア相談、生涯学習相談、市民活動相談を実施。 ・市民交流センターの会議室など適正な維持管理を実施。							
【参考】予算事業名	—				【参考】実績額	—	担当課	市民協働課
取り組み③	図書資料の充実							
説明	・生涯学習の多様なニーズに応えるために、資料の充実を図り、読書に親しむ機会を提供する。							
2025年度 実施内容	次のとおり資料の更新を行った。※数値は全館合計 ・資料点数：240,582点（図書：237,288冊 視聴覚資料：3,294点） ・受入点数：7,717点（購入：6,764点 寄贈等：953点） ・除籍点数：5,462点							
【参考】予算事業名	蔵書整備事業				【参考】実績額	18,822,702円	担当課	図書館

具体的施策	③ 地域で子どもと大人が共に育つ学習環境の整備
-------	-------------------------

KPI	世代間交流を促す共育の講座やイベントへの参加者数が5,000人を超えている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
3,990人	5,354人	9,578人	10,301人					5,001人以上

進捗状況評価
A：順調である

補足説明（反省点・問題点、工夫している点）
・共育の講座やイベントの開催が増え、前年度を上回る参加者数となった。 （参考：2019.3：9,662人、2020.3：2,539人、2021.3：1,736人）
今後の対応
・引き続き事業を継続し、「共育」の普及、活動を推進していく。

主な取り組み

取り組み①	共育活動の推進							
説明	・「共育」のまちづくりの基本的な考え方の普及を図る。 ・身近な地域拠点を活用して、「共育」活動を推進する。							
2025年度 実施内容	・市民交流センター、沼間、小坪コミュニティセンターにて世代間交流を促す講座やイベントを実施した。 ・各所管において世代間交流を促す講座やイベントを実施した。							
【参考】予算事業名	市民交流センター維持管理事業				【参考】実績額	62,509,666円	担当課	市民協働課
取り組み②	共育のイベントの開催							
説明	・共育（トモイク）フェスティバルを開催する。							
2025年度 実施内容	・共育（トモイク）フェスティバルの実施。							
【参考】予算事業名	市民交流センター維持管理事業				【参考】実績額	62,509,666円	担当課	市民協働課

取り組みの方向	2 文化を新たに創造するまち
<p>文化芸術は、生活に潤いや刺激を与え、共感や連帯を生み、人の心を豊かにします。さらに、新たな付加価値を生み出すなど、地域社会にとっても多様な可能性を秘めています。</p> <p>わたしたちは、逗子の伝統文化を継承するとともに、潜在的な文化資源を掘り起こして、地域の文化を市民の手で拓き、互いを高め合い、育むことで、「まちが文化を活かし、文化がまちを活かす」地盤をつくります。そして、逗子の多彩な文化資源と恵まれた自然環境を背景に生まれる、個性的で創造的な文化芸術の力で、文化と自然がつむぐ活力あるまち（地域社会）の発展をめざします。</p>	

具体的施策	① 文化芸術活動の推進（継承と創出）
-------	--------------------

KPI	逗子アートフェスティバルの参加企画数が30企画になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
22企画	41企画	25企画	33企画					30企画

進捗状況評価
A：順調である

補足説明（反省点・問題点、工夫している点）

【反省点・問題点】

・2013年度（平成25年度）の『プレ・アートフェスティバル』から開始した『逗子アートフェスティバル』（ZAF）は、2018年（平成30年）から市民団体「逗子アートネットワーク」（ZAN）による運営となり、市民団体と市の協働により実施しており、地域文化の担い手育成や市民の文化活動の活性化につながる事業として定着しているが、産官学の連携強化や市民団体の運営体制をいかに持続可能なものとしていくかが、課題となっている。

【工夫している点】

・SNSの活用や動画配信等により広く広報活動を行うことで、市民の文化活動への参加の機会を増やすことに努めている。

・次年度のトリエンナーレに向けた機運醸成を図るため、ZAF新ロゴデザインコンテストを実施した。（応募134点、一般投票の総数128票）

・地域の高校生・大学生との連携、空き家やまちなかの空きスペースの活用、スタンプラリーによる地域の回遊などの工夫により、アートを通じたまちづくりを推進している。

・子どもや若年層が文化芸術に触れることができ、または自らも発表できる企画を積極的に取り入れ、多世代交流を促進している。

今後の対応

・市民団体は日ごろからミーティングを重ね、メンバー同士のコミュニケーションを図りながらアートフェスティバルの企画・運営の検討を行っている。市民による自主的かつ主体的な文化活動が行える環境づくりを目指し、青少年や若年層の活力を積極的に取り入れながら、世代間交流がうまれるような文化事業や、仕組みづくりを進めていく。

・これまでの実践を通じ、過去の参加者と次を担う人材がお互いに学び合う関係性を育みながら、役割分担を明確にした運営体制を強化しZANを中核とする持続可能な文化芸術の実施基盤を構築する。

・ZAFの実施に当たり、逗子の人や地域との出会いそのものが体験になる場を生み出すことにより、地域資源の再発見と新たな価値創造を目指す。

・逗子文化プラザホールの適正な維持管理に努めるとともに、関係部署との協力・連携を強化していく。

主 な 取 り 組 み

取り組み①	逗子アートフェスティバルの充実				
説明	<ul style="list-style-type: none">・逗子アートフェスティバルは、3年に1回は国等の助成金を確保するなど大規模な催しとする。その間の2年間は、経費を抑えて市民が自ら企画・実施する。・市民と市との役割を明確にした上で、事務局機能を市民が担えるよう、アートフェスティバル実行委員会メンバーと共に検討し、文化発展のため協働を進める。				
2025年度 実施内容	<p>10月4日（土）から10月26日（日）まで、全33企画を実施 企画者及び来場者数は、約7,674人</p> <p>【企画運営】</p> <ul style="list-style-type: none">・逗子アートネットワーク（ZAN）が中心となり、企画・運営を行った。・逗子アートフェスティバルの実施に向け、毎月オンラインと会場のハイブリッドで全体ミーティングを行った。全体ミーティングのほか、ZANは広報ミーティングや企画ミーティングを活発に行うことで、スムーズにイベントを運営することができた。 <p>【産官学連携】</p> <ul style="list-style-type: none">・市民交流センターから、場所の提供や制作協力を得て、地元の高校生とアーティストとのコラボレーションによる展示を行った。・関東学院大学の学生が、沼間地区での空き家を活用した展示に企画者として参加した。また横浜市立大学三浦半島研究会の学生が、池子の森の音楽祭にボランティアとして参加した。 <p>【広報等】</p> <ul style="list-style-type: none">・鉄道事業者やバス事業者の協力により駅構内やバス車内等にチラシ、ポスター、横断幕を掲出し周知を行った。・神奈川県が推進する「地域まるごとホテル@三浦半島」事業と、京急電鉄のエリアマネジメント構想「newcalプロジェクト」が連携する取り組みへの協力を行った（スタンプラリー企画）。・逗子市観光協会、地元紙（タウンニュース社）、FMヨコハマ、NHK横浜放送局など地元企業団体やメディアの後援や協力により、多方面への広報・シティプロモーションを行った。				
【参考】 予算事業名	文化活動振興事業	【参考】 実績額	355,690円	担当課	文化スポーツ課

取り組み②	文化芸術活動の振興に係る事業の推進				
説明	<ul style="list-style-type: none">・逗子市文化振興基本計画に基づき、文化芸術活動の推進を図る。・既存の文化団体（個人を含む）と連携して文化芸術活動の推進を図る。・市民が日常生活の中で多様な文化芸術を自由に表現できる環境づくりを推進するとともに文化やイベントに関する情報提供を行う。				
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none">・市民による文化事業43件を後援（共催1件、協力2件、後援40件）し、文化芸術活動の推進を図った。市民文化活動の成果発表や市民の鑑賞の場として定着している「第73回逗子市文化祭」（芸能部門（詩吟・詩舞、民謡、演劇、合唱、ダンスなど）、展示部門（絵画や工芸など）、競技部門（囲碁）の3部門、12企画）を共催事業として実施した。・逗子市にゆかりのある12基の文学碑の情報をまとめた「逗子の文学碑マップ」を作成し、市ウェブサイトに掲載することで地域の文化情報の発信を行った。それぞれの文学碑についての説明文は、市民団体の「逗子の文学を学び広める会」の調査内容を掲載している。				
【参考】 予算事業名	文化活動振興事業	【参考】 実績額	355,690円	担当課	文化スポーツ課

取り組み③	子どもを対象とした文化活動の振興に係る事業の推進				
説明	・ 逗子文化プラザホール指定管理者によるアウトリーチ事業を実施する。				
2025年度 実施内容	アート便2025（学校教育と連携し子どもたちが芸術に触れる機会を届けるアウトリーチ事業）として、5メニュー（和太鼓、太神楽、落語、パントマイム、クラシック）のうち4メニューを提供した。 市内小・中学校8校及び保育園1園、体験学習施設スマイル、逗子市高齢者センターでの実施を含めた合計11か所にて、和太鼓3コマ、太神楽3コマ、落語2コマ、パントマイム5コマの合計13コマの文化創造体験を提供。園児・児童・生徒など延べ1,126人が参加。 パントマイムでは参加者全員の体験型プログラムを実施。和太鼓では学校の要望に応じ演奏に加えて職業理解につながる講話も行う等、ニーズに応じて実施内容をアレンジした。				
【参考】予算事業名	文化プラザホール維持管理事業	【参考】実績額	234,718,305円	担当課	文化スポーツ課

取り組みの方向	3 スポーツを楽しむまち
<p>わたしたちは、スポーツ都市宣言の理念に基づき、市民一人ひとりがスポーツに親しみ健康な心とからだをつくる「健康づくり」、みんなでスポーツを楽しむ機会をつくり明るい生活を営むことができる「場づくり」、スポーツを通じていきいきとした地域連携の輪をひろげる「交流づくり」、スポーツを通じて活力に満ちたまちづくりを推進する「基盤づくり」を進めます。</p> <p>一人でも多くの市民が、スポーツに親しみ、互いに高め合うことで、健康で豊かな生活を送ることができるよう、いつでも、どこでも、誰もが気軽にスポーツ、健康づくりができるまちをめざします。</p>	

具体的施策	① スポーツの推進
-------	-----------

KPI	成人の週1回以上のスポーツ実施率が70%以上になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
56.1%	56.0%	56.7%	56.9%					70%以上

進捗状況評価	
C：順調であるとみなせない	

補足説明（反省点・問題点、工夫している点）

【反省点・問題点】
・地域に根差した市民のためのスポーツ活動の拠点として活用されている市立体育館及び有料公園施設について、必要な維持管理を行うこと。
・公立中学校における部活動の地域移行を見据え、幅広い世代が運動・スポーツに親しみることができる環境を整えること。
【工夫している点】
・県立スポーツセンターや競技連盟、民間企業などの協力を得て、子どもから高齢者まで幅広い年代、家族でも楽しめるスポーツイベントとして「逗子市スポーツの祭典」を開催。
・指導者養成教室、ジュニアスポーツ教室、地域体育祭、市内一周駅伝競走大会など様々な機会をとらえ、地域での運動・スポーツの推進を図った。
・市民のスポーツによる健康づくりのために開設している「未病センターずしアリーナ」にて、指定管理者である逗子市スポーツ協会による健康相談を実施した。健康相談は37回、114人の参加（前年度：45回、139人）

今後の対応

・市民の生活の中での運動やスポーツの位置づけは、ライフステージとともに変化することから、スポーツの祭典等のイベント時及び指定管理者（公益財団法人逗子市スポーツ協会）の業務におけるアンケート、地域のスポーツ活動に密接に関わるスポーツ推進委員、地域体育団体、うみかぜクラブ、スポーツ少年団等との情報共有、意見交換などにより幅広く市民ニーズを把握して、運動する機会、スポーツに触れる機会が増えるよう、庁内関係課と施策間の連携を図りながら、イベントや教室等の質、量の充実を図るなど、効果的な事業実施に努めていく。
・「逗子市スポーツ推進計画」の4つの基本目標〔健康づくり〕、〔場づくり〕、〔交流づくり〕、〔基盤づくり〕を進めていくうえで、市民、地域、スポーツ関係団体、学校等との協働により、それぞれが主体的なスポーツ推進の担い手となって取り組むことができる環境づくりに努めていく。

主 な 取 り 組 み

取り組み①	スポーツ活動に係る事業の推進			
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・逗子市スポーツ推進計画に基づき、スポーツの推進を図る。 ・スポーツイベントやスポーツ、健康・体力づくり教室を企画し、開催する。 ・市民へ「スポーツ実施と健康づくり」に関する情報発信を行う。 			
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者養成教室、ジュニアスポーツ教室、地域体育祭、市内一周駅伝競走大会など様々な機会をとらえ、地域での運動・スポーツの推進を図った。 ・スポーツに新たに取り組もうとする人や、スポーツを通して健康を維持しようとする人に向け、広報ずしや市ホームページ、SNS、市内広報板によるスポーツ実施と健康づくりに関する情報発信を行った。 			
【参考】予算事業名	スポーツ推進事業	【参考】実績額	23,958,000円	担当課 文化スポーツ課
取り組み②	総合型地域スポーツクラブの普及・啓発			
説明	・総合型地域スポーツクラブの普及・啓発、活動支援を行う。			
2025年度 実施内容	・広報ずしや市ホームページ、市内広報板により、総合型地域スポーツクラブの教室等の情報発信を行った。			
【参考】予算事業名	—	【参考】実績額	—	担当課 文化スポーツ課
取り組み③	逗子市スポーツの祭典の開催			
説明	・逗子市スポーツの祭典を開催する。			
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・逗子市スポーツの祭典2025 開催日：6月1日（日） ・種目：41種目実施、参加者：3,586人 ・逗子市スポーツの祭典実行委員会交付金：220,000円 ・同日開催の「ZUSHI SAILING FESTIVAL」と連携し、逗子海岸を会場としたフレスコボール体験会を実施した。 ・ピックルボールといった近年人気が高まっている種目のほか、ポッチャやコーンホールなどの年齢、性別、障がいの有無に関わらず経験がなくても楽しめる種目を多数用意し、スポーツを通じた健康づくり、地域づくりの推進を図った。 			
【参考】予算事業名	スポーツ推進事業	【参考】実績額	23,958,000円	担当課 文化スポーツ課
取り組み④	マリンスポーツ等、海でのレジャー体験の推進による地域ブランディング			
説明	・（公財）逗子市スポーツ協会に委託し、マリンスポーツの教室を実施する。			
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアスポーツ教室で、ヨット及ウインドサーフィンを実施。 ・参加者：ヨット13人、ウインドサーフィン延48人 ・スポーツ推進事業補助金 23,060,000円 			
【参考】予算事業名	スポーツ推進事業	【参考】実績額	23,958,000円	担当課 文化スポーツ課
取り組み⑤	子どもを対象としたスポーツ活動に係る事業の推進			
説明	・（公財）逗子市スポーツ協会に委託し、ジュニアスポーツ教室等を実施する。			
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアスポーツ教室を8種目で実施。 ・参加者：レスリング15人、卓球7人、陸上32人、水泳106人、ヨット13人、ウインドサーフィン延48人、バドミントン30人、テニス20人 ・スポーツ推進事業補助金 23,060,000円 			
【参考】予算事業名	スポーツ推進事業	【参考】実績額	23,958,000円	担当課 文化スポーツ課

取り組みの方向	4 学校教育の充実したまち
<p>人は自然と社会の中で生涯学び続けていくことが必要です。その入り口の一つとして学校教育は大きな役割を果たすものです。今日、価値観の多様化や高度な情報化社会の中であって、子どもたちが身につけなければならない力は多岐にわたっています。これまで受け継がれてきた知識や文化・伝統などを踏まえ、地域社会や家庭と連携し、互いの個性を尊重し合う人間性溢れる教育、限りある命を生きていることの素晴らしさを感じることができる教育を行っていくこと、そしてこれからの国際社会の一員として生きていく力を育むことが必要です。</p> <p>いつの時代にも変わってはならない本質の部分を土台に、その時々々の教育的課題に臨機応変に対応して、「豊かな人間性」・「確かな学力」・「健康な心身」を目標として『自ら考え、心豊かに、たくましく生きる逗子の子ども』の育成を図ります。</p>	

具体的施策	① 教員の指導力及び教育課題への対応力向上
-------	-----------------------

KPI	児童・生徒を対象に実施している「学校生活アンケート」に「①授業がよくわかる」「②学校が楽しい」の項目を設け、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の回答が80%以上になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
未実施	①85.0% ②85.3%	①88.0% ②91.4%	①87.30% ②88.65%					80%以上

進捗状況評価	
A：順調である	
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）	
<ul style="list-style-type: none">・適切な取組がなされていれば、常に80％以上の評価が得られるはずであり、常にそれを目指し継続していく。・各学校において主体的、対話的で深い学びの実現に向けて、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に進めるべく授業改善を行っている。	
今後の対応	
<ul style="list-style-type: none">・全ての教員が、常にトライし、点検し、改善を図ることを繰り返しながら、授業力の向上を図っていく。・数値の高さに過信することの無いよう、各学校において、授業改善を地道に進めていく。・「どちらかといえば当てはまる」と回答する子どもが「当てはまる」と回答するようにするべく、一人ひとりの教師が、授業の自己点検を習慣とし、不断の授業改善に努める。	

主な取り組み

取り組み①	教員の授業力・学級経営力・児童生徒指導力向上重点事業の推進			
説明	・授業と学級経営についての自己チェックリストを活用し、各市立学校において、「わかりやすい授業づくり」や「お互いを認め合う学級づくりなどに関する教員の指導力向上を図る。			
2025年度 実施内容	・自己チェックリストの活用を全教員に促し、校内研究と絡めながら指導力向上を図った。 ・支援教育推進巡回チームが市内小中学校を巡回し、個と集団のアセスメントを実施し、教員への助言・指導を行った。			
【参考】予算事業名	調査・研究事業	【参考】実績額	3,581,845円	担当課 療育教育総合センター 学校教育課

取り組み②	教育指導教員の派遣			
説明	・教育指導教員を各学校に派遣し、授業観察を行い、参観後にフィードバックの機会を設け、指導力向上に資する助言を行う。			
2025年度 実施内容	・全小学校へ教育指導教員を配置した。 ・全中学校へ少人数指導教員を配置した。			
【参考】予算事業名	少人数指導教員・教育指導教員派遣事業	【参考】実績額	11,230,194円	担当課 学校教育課
取り組み③	授業研究校の委託			
説明	・授業研究を基本とした研究を委託し、教員の授業力を向上させる一助とする。			
2025年度 実施内容	・全小中学校に対して、軽重をつけた委託を行った。			
【参考】予算事業名	学校教育調査・研究事業	【参考】実績額	1,071,701円	担当課 学校教育課
取り組み④	研修の充実			
説明	・年次研修の内容を充実させる。 ・夏季研修の内容の充実を図り、教員の指導力向上をめざす。			
2025年度 実施内容	・年次研修（初任者、1年経験者、2年経験者、5年経験者、中堅教諭等を対象とする研修）を行った。 ・逗子教育研究会へ交付金を交付した。			
【参考】予算事業名	学校教育調査・研究事業	【参考】実績額	1,071,701円	担当課 学校教育課
2025年度 実施内容	2025年度夏季研修会において悉皆研修、逗子市教育研究会や国保健康課との共催も含めて教科研修会と支援教育研修会等を26講座実施した。参加者の評価平均は3.7（4段階中）であった。			
【参考】予算事業名	調査・研究事業	【参考】実績額	3,581,845円	担当課 療育教育総合センター
取り組み⑤	各担当者の会の充実			
説明	・教育相談コーディネーター担当者会や児童・生徒指導担当者会、いじめ問題対策連絡協議会において、各小・中学校で実施し効果をあげている取り組みを共有し、各小・中学校で組織的な取り組みの一助としていく。			
2025年度 実施内容	・特別支援補助教員、学習支援員、学校看護助員の派遣等を行った。			
【参考】予算事業名	支援教育充実事業	【参考】実績額	88,569,720円	担当課 学校教育課
2025年度 実施内容	・教育相談コーディネーター担当者会を4回行い、情報交換・情報共有を通し、互いの課題を共有する中で、これからの学校教育相談の在り方、有機的な校内支援体制づくりについての協議、研修等を行った。 ・いじめ根絶に向けた取り組みとして、市立小・中学校教職員向けに悉皆研修を行った。			
【参考】予算事業名	いじめ防止等対策事業	【参考】実績額	198,675円	担当課 学校教育課
取り組み⑥	学校給食の安定的な提供			
説明	・市立小・中学校において安全な給食を提供する。 ・学校給食事業を公会計化する。			
2025年度 実施内容	・市立小学校において、学校給食設備の点検維持管理、調理業務の民間委託等を行った。 ・市立中学校において、調理業務の民間委託（食缶方式）により給食を提供した。 ・保護者の経済的負担軽減のため、物価高騰による給食費の値上げ額の一部を市費でまかなうよう、各給食会計に交付金を支出した。			
【参考】予算事業名	小学校給食運営事業	【参考】実績額	149,052,370円	担当課 学校教育課
【参考】予算事業名	中学校給食運営事業	【参考】実績額	118,695,306円	担当課 学校教育課

取り組み⑦	学校施設の整備・充実				
説明	・市立小・中学校における良好な教育環境の整備を図る。				
2025年度 実施内容	・池子小学校B棟防水改修工事ほか ・久木中学校給水設備改修工事ほか				
【参考】予算事業名	学校施設整備事業（小学校）	【参考】実績額	122,958,269円	担当課	教育総務課
【参考】予算事業名	学校施設整備事業（中学校）	【参考】実績額	65,827,806円	担当課	教育総務課

具体的施策		② 子どもの発達段階に応じた継続的な支援						
KPI	療育教育総合センターを18歳までに一度でも利用したことのある市内の子どもの割合が18.9%になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
12.6%	17.1%	19.5%	21.8%					18.9%
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
2022.3 利用人数1,107人/18歳以下人口8,760人＝12.6% 2023年度 利用人数1,442人/18歳以下人口8,448人＝17.1% 2024年度 利用人数1,604人/18歳以下人口8,242人＝19.5% 2025年度 利用人数1,748人/18歳以下人口8,022人＝21.8% ・「発達障がい」や「療育」についての世間認知度が上がったことによる利用人数の増加、及び18歳以下人口の大幅な減少により、療育教育総合センターを18歳までに一度でも利用したことのある市内の子どもの割合が上昇した。 ・市民向け公開講座について、引き続きオンライン配信を併用して開催した。また、利用者との連絡調整や関係機関との円滑な連携を図るため、電話やメール、オンライン等を適宜活用している。 ・SNS(Instagram)を活用し、療育支援に関する情報発信力の強化を行っている。								
今後の対応								
・SNS(Instagram)の活用により、療育支援に関する発信力を強化する。 ・療育相談員、専門員等による相談体制の充実に努める。								

主な取り組み

取り組み①	療育教育総合センターの運営				
説明	・18歳までの子どものライフステージに応じて継続的に支援を行うため、療育教育総合センターを運営する。				
2025年度 実施内容	<p>【相談体制の充実】</p> <p>・療育相談員、専門員等を配置し、相談支援に当たった。（SW 3 名、療育学齢相談員 1 名、心理士 3 名、ST 3 名、PT 1 名、OT 3 名、保育士 1 名、嘱託医 3 名）相談件数 7,321件 相談者数 967名</p> <p>・子どもの育ちに関する療育相談をはじめ、児童精神科の医師による講座や、センターで行う勉強会等で、保護者同士の交流の場を作り、家族支援を実施した。</p> <p>公開講座：1 回／75名（来場35名・オンライン40名）、就学に向けての家族勉強会：全 3 回／34名</p> <p>【療育機能の充実】</p> <p>児童発達支援事業を実施した。（利用者数20名／延958回利用）</p> <p>放課後等デイサービスを実施した。（利用者数64名／延2,154回利用）</p>				
【参考】予算事業名	こども発達支援センター運営事業	【参考】実績額	92,984,765円	担当課	療育教育総合センター
取り組み②	早期発見・早期療育のための相談体制等の充実				
説明	・療育を必要とする子どもの早期発見・早期療育への対応のため、相談体制及び家族のケアの充実に図る。				
2025年度 実施内容	療育相談員、専門員等を配置し、相談支援に当たった。（SW 3 名、療育学齢相談員 1 名、心理士 3 名、ST 3 名、PT 1 名、OT 3 名、保育士 1 名、嘱託医 3 名）相談件数 7,321件 相談者数 967名				
【参考】予算事業名	こども発達支援センター運営事業	【参考】実績額	92,984,765円	担当課	療育教育総合センター

取り組み③	学校や保護者との連携の推進				
説明	・就学後の児童生徒へ継続した支援を行うため、指導主事による就学前の幼児・児童の行動観察を丁寧に行い、結果を関係者等で共有し、保護者、学校、学校教育課、こども発達支援センター及び教育研究相談センターの連携を強化する。				
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・就学時健康診断を行った。 ・就学支援委員会を開催した。 ・学区希望制度による受入れを行った。 				
【参考】予算事業名	就学事務事業	【参考】実績額	1,307,092円	担当課	学校教育課
【参考】予算事業名	支援教育充実事業	【参考】実績額	88,569,720円	担当課	学校教育課
2025年度 実施内容	保護者がより適正な就学先を選択できるよう、相談や行動観察等を丁寧を実施するため、相談の機会を最低2回以上とした。また、就学相談に関わった園児・児童・生徒の支援シートの作成に際し、こども発達支援センター、保護者と連携・協力して、就学後も継続した支援ができるようにした。				
【参考】予算事業名	教育相談事業	【参考】実績額	8,729,359円	担当課	療育教育総合センター
取り組み④	支援が必要な児童・生徒についての情報共有の充実				
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が児童生徒の個別支援の必要性を的確に把握するため、学校と教育研究相談センターがケース会議や巡回チームの観察等で得た情報を整理し、情報共有を行い、相互連携の充実を図る。 ・巡回チームによるフィードバックや校内研修、夏季に実施する支援教育研修会を通して、支援教育について理解を深め、適切な支援シートの作成・活用の推進を図る。 				
2025年度 実施内容	・特別支援補助教員の派遣を行った。				
【参考】予算事業名	支援教育充実事業	【参考】実績額	88,569,720円	担当課	学校教育課
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・相談部や支援教育推進巡回チームがケース会議に参加し、児童生徒の情報共有等を行い連携した。 ・支援教育推進巡回チームが校内研修の講師として各校の課題をテーマに支援教育への理解を深めた。 				
【参考】予算事業名	教育相談事業	【参考】実績額	8,729,359円	担当課	療育教育総合センター
取り組み⑤	学校教育を支援する専門性の高いスタッフの派遣				
説明	・学校の取り組みをサポートするため、スクールカウンセラー、支援教育推進巡回指導員、学習支援員、学校看護介助員などを学校に派遣する。				
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム学校を強化するため、学習支援員の配置を継続して行った。 ・ボランティア支援員を配置した。 				
【参考】予算事業名	支援教育充実事業	【参考】実績額	88,569,720円	担当課	学校教育課
2025年度 実施内容	スクールカウンセラー地域連絡協議会を年2回開催し、アドバイザーを呼んでケース共有をするなど、児童・生徒の支援の充実を図った。また、支援教育推進巡回指導員が学習支援員への研修を重ね、支援シートを学習支援員と職員がチームとして活用するよう支援した。				
【参考】予算事業名	教育相談事業	【参考】実績額	8,729,359円	担当課	療育教育総合センター

具体的施策		③ ICTを活用した授業と情報教育の推進						
KPI	「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」の「教員のICT活用指導力等の実態の項目」のうち「①授業にICTを活用して指導する能力」「②情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力」の「できる」「ややできる」の回答が80%以上になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
未実施	①77.0%	①78.0%	①65.4%					80%以上
	②77.1%	②78.3%	②71.3%					
進捗状況評価								
B：概ね順調であるとみなせる								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
アンケート結果が減少した要因として考え得るものとして、以下の2点が挙げられる。 1.①②ともに、教育現場における活用のフェーズが国全体で変わってきている。特に、一人一台のタブレット端末の活用については、活用頻度を上げていくことを目指すフェーズから、効果的に活用するというフェーズに変わってきた結果、自己評価が厳しくなっている。 2.情報の活用について、AIの急速な発展に伴い、その適切な扱いについてが最重要課題となってきていることにより、AIを含むICTの活用について自信が持てないものが一定数出てきている。								
今後の対応								
・タブレットの活用が進み、健康面や学習における課題が分かってきた中で、様々な視点から適切かつ効果的な活用を図っていく。また、急速なICTの発展に遅れないよう教職員の研修を計画的に行っていく。								

主な取り組み

取り組み①	授業におけるICT機器の効果的な活用				
説明	・新しい機器を活用した授業づくりや、新しい授業スタイルを見据えた環境整備について、教育情報化推進会議において研究を進める。 ・夏季研修会においてICT機器等を活用した研修を計画し、授業づくりを推進する。				
2025年度 実施内容	・GIGA端末を効果的に授業で活用する研究を各学校において進めた。				
【参考】予算事業名	教育用コンピュータ維持管理事業（小学校費）	【参考】実績額	81,757,619円	担当課	学校教育課
【参考】予算事業名	教育用コンピュータ維持管理事業（中学校費）	【参考】実績額	56,017,515円	担当課	学校教育課
2025年度 実施内容	夏季研修会で小中学校にそれぞれ配付する副読本をDB化し、ICT機器を使って活用する研修を行った。また、自主研修においても、ICT機器を効果的に活用する授業づくりに取り組んだ。				
【参考】予算事業名	調査・研究事業	【参考】実績額	3,581,845円	担当課	療育教育総合センター

取り組み②	児童・生徒の発達段階に応じた情報モラル教育と情報リテラシーの育成方法の研究				
説明	・教育情報化推進会議において、児童・生徒の発達段階に応じた情報教育の在り方を研究する。				
2025年度 実施内容	・全小学校で情報モラル教育等に取り組んだ。				
【参考】予算事業名	—	【参考】実績額	—	担当課	学校教育課

具体的施策		④ 地域教育力の効果的な活用と幼・保・小・中の相互理解の促進						
KPI	地域講師を活用した授業を各小・中学校で年3回実施する。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
未実施	年2回	年6回	年6回					年3回実施
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・ 各学校の最低回数を実績とするもの。 ・ 年間指導計画に基づき、各学校において学校支援地域本部に協力を依頼し、地域講師の派遣による授業を行った。 ・ 各学校年6回～24回実施した。								
今後の対応								
・ 小学校に比べ中学校の実施回数が少なく、中学校は活用の工夫をしていく。 ・ 今後も積極的に地域とともに教育活動を創っていくよう努める。								

主な取り組み

取り組み①	コミュニティ・スクールの実現							
説明	・学校支援地域本部事業を各学校に委託し、学校・家庭・地域の連携による「共育」活動を推進し、市民が地域に開かれた学校づくりに積極的に参画できる仕組みに発展させる。 ・コミュニティ・スクール準備協議会（仮称）を立ち上げ、各学校の取り組みに関する情報を共有し、学校支援地域本部からコミュニティ・スクールへの移行について検討する。							
2025年度 実施内容	・学校支援地域本部の協力の下、授業の充実を図った。 ・コミュニティスクールの導入に向けて学習会や模擬熟議を計画実施した。							
【参考】予算事業名	学校支援地域本部事業				【参考】実績額	2,967,833円	担当課	学校教育課
取り組み②	効果的な研修内容の企画と提示							
説明	・放課後児童クラブやふれあいスクール指導員が参加できる子どもに関わる研修内容を検討し夏季研修会にて企画し、参加を促していく。							
2025年度 実施内容	小・中学校教職員以外の参加者数は合計55名であった。							
【参考】予算事業名	調査・研究事業				【参考】実績額	3,581,845円	担当課	療育教育総合センター
取り組み③	幼稚園・保育園・小学校・中学校との連携の推進							
説明	・幼・保・小連携推進連絡調整会議における情報交換の機会を充実させる。 ・幼稚園、保育園、小学校における保育参観や授業参観等を計画立案し、参観後の研究協議等を通して相互理解を促進する。 ・スムーズな接続を実現させるために、年度末の新就学児及び中学校進学児童のそれぞれの校種での交流・体験の機会を設定する。 ・中学校区における小学校教員と中学校教員の交流を深めるために、校内研究会等に参加する等相互の交流を実施する。							
2025年度 実施内容	・就学支援委員会を3回開催した。 ・幼保小で連携し、架け橋期のスタートカリキュラムを実施した。							
【参考】予算事業名	就学事務事業				【参考】実績額	1,307,092円	担当課	学校教育課

取り組みの方向	5 ふるさとの遺産をまもりつないでいくまち
<p>わたしたちの身近にある様々な文化財は、先人たちの暮らしの中で生まれ、育まれ、受け継がれてきたものであり、このまちに暮らすわたしたちの心を支え、豊かにするものとして後世にながく伝え、いかしていくべきふるさとの遺産です。</p> <p>文化財を適切に保存しつつ、わたしたちの身近な歴史から共に学び、共に育ち、次世代へ誇りや愛着をつないでいくまち、ふるさとの遺産を共にまもり、つないでいくまちをめざします。</p>	

具体的施策	① 文化財保護の推進							
KPI	市指定文化財の数が24件に増加している。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
21件	22件	23件	23件					24件
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
有形文化財 1 件について、所有・管理者及び学識者との事前調整を行い、次年度に指定できるよう準備を整えた。								
今後の対応								
過去の各種調査結果に基づきリストアップした候補物件について、指定に向けて所有・管理者と協議調整を積極的に進めるとともに、適切な保存措置を適宜検討する。								

主な取り組み

取り組み①	文化財の展示活用の推進							
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな収蔵・展示施設の設置を検討する。 ・池子遺跡群資料館の展示の充実を図るほか、他の公共施設と連携し、展示活用場を確保する。 ・主要な文化財資料について、ウェブ等での公開を進める。 							
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡指定地等の草刈清掃、洗浄作業等 随時 304,000円 ・市指定文化財保存管理奨励交付金の交付 16件 192,500円 ・池子遺跡群資料館利用状況 * 開館日数 307日 * 入館者数 1,773人（前年度 1,673人） 							
【参考】予算事業名	文化財保護事業	【参考】実績額	677,641円	担当課	社会教育課			
【参考】予算事業名	池子遺跡群保護事業	【参考】実績額	533,229円	担当課	社会教育課			

取り組み②	史跡の公開活用				
説明	・ 関連部局と連携しつつ、学術的価値や周辺環境の保護とのバランスを考慮した史跡・文化財の活用を図る。				
2025年度 実施内容	○名越切通 ・ まんだら堂やぐら群限定公開 *公開日数 48日 *入場者数 5,785人（前年度 7,277人） ・ 植生管理・危険木伐採の実施 年4回 1,874,180円 ・ 名越切通リーフレットの印刷 211,200円 ・ まんだら堂やぐら群C群整備設計の実施 4,774,000円 ・ まんだら堂やぐら群C群発掘調査の実施 1,953,735円 ・ まんだら堂やぐら群C群測量の実施 2,200,000円 ・ 名越切通石塔保存処理の実施 957,000円 ○長柄桜山古墳群 ・ 第1号墳舗装補修工事の実施 299,442円 ・ 植生管理等の実施 825,536円 ・ 現地説明板のQRコードによる多言語表示の実施				
【参考】予算事業名	名越切通維持管理事業	【参考】実績額	3,101,510円	担当課	社会教育課
【参考】予算事業名	名越切通整備事業	【参考】実績額	10,639,049円	担当課	社会教育課
【参考】予算事業名	古墳維持管理事業	【参考】実績額	1,137,278円	担当課	社会教育課
取り組み③	未指定文化財の調査				
説明	・ 未指定文化財保護の仕組みの検討及び新規指定に向けた調査を行う。				
2025年度 実施内容	・ 文化財保護委員会の開催 *委員数 5人 *開催回数 3回 ・ 新規指定に向けた現地確認 1回				
【参考】予算事業名	文化財保護委員会経費	【参考】実績額	143,878円	担当課	社会教育課
【参考】予算事業名	文化財保護事業	【参考】実績額	677,641円	担当課	社会教育課

逗子市総合計画

進行管理表

第3節

柱	第3節 自然と人間を共に大切にするまち
---	---------------------

めざすべきまちの姿

逗子を取り巻く自然は、海や、市街地の三方を囲む丘陵のみどりなどが良好な状態で残されています。この豊かな自然は、市民の暮らしに潤いを与えてくれます。

わたしたちは、これからも、常に自然を守り、育み、地球に優しい持続可能な潤いのあるまちをつくり、自然と人間を共に大切にするまちの実現をめざして、この恵み豊かな環境を、次の世代へとつないでいきます。

目標	自然と人間を共に大切にするまちをめざす市の取り組みに満足している人の割合が10ポイント増加している。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
未実施	72.5%	75.3%(74.2%)	70.8%(75.9%)	(77.6%)	(79.3%)	(80.9%)	(82.5%)	82.5%

進捗状況評価

B：概ね順調であるとみなせる

取り組みの方向	1 自然を大切にするまち
---------	--------------

首都圏に残された貴重な財産である自然を保全し、次世代に引き継ぐことは、健康で快適な生活環境を確保していくうえで重要・不可欠であり、わたしたちの責務です。

また、市街地においても、逗子の地域特性を最大限に発揮できるよう、潤いや安らぎのある環境を創造するとともに、緑地の保全や住宅地の緑化を進めていきます。

わたしたちは、逗子の山、川、海、そしてまちなかの名所を回廊としてつなぎ、市民が様々な生き物等と接する中で、学び、安らぎ、遊び、憩うことができる環境づくりを進め、自然と人の共生するまちづくりを進めていきます。

具体的施策	① 自然の回廊の保全と活用
-------	---------------

KPI	自然の回廊を活用したイベントを複数回支援している。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
年1件程度	0回	1回	1回					複数回

進捗状況評価

C：順調であるとみなせない

補足説明（反省点・問題点、工夫している点）

- ・市民との協働による新たな活用のイベントとして、スポーツ関連団体によるウォーキングイベントでの活用に向けて調整した。
- ・市民との協働によるイベントのほか、観光関連イベントとして、市観光協会主催「逗子旅+プロジェクト関連ウォーキング」を1回、自然の回廊を活用したイベントの開催に協力した。

今後の対応

- ・観光関連に加え、教育、文化、スポーツ、福祉関連の市民団体等が実施するウォーキングイベント等での活用を働きかけて支援する。

主 な 取 り 組 み

取り組み①	自然の回廊プロジェクト事業の推進				
説明	・「自然の回廊プロジェクト」として、自然と人が調和し、回遊性と活力のあるまちづくりを図るため、「自然の回廊プロジェクト」を活用する市民団体の活動を支援する。 ・魅力の発信を図るため、自然の回廊の案内板の維持管理及びリーフレット等を配布する。 ・各回廊の自然を生かした工夫に取り組む。				
2025年度 実施内容	案内マップの配布や案内板の維持管理等での周知活動に加え、自然の回廊プロジェクトメンバーと協働で駅前案内板の更新に向けた原稿案を作成した。				
【参考】予算事業名	観光客誘致事業	【参考】実績額	595,446円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	逗子市観光協会助成事業	【参考】実績額	35,246,000円	担当課	経済観光課
取り組み②	みどりに親しむ環境づくりの推進				
説明	・みどりの美しい山にもっと親しめる環境づくりとして、ハイキングコースの維持管理を行う。				
2025年度 実施内容	ハイキングコース維持管理業務委託 1,328,369円				
【参考】予算事業名	ハイキングコース維持管理事業	【参考】実績額	1,328,369円	担当課	緑政課

具体的施策		② みどりの保全と緑化の推進						
KPI	公園への花苗の植栽が、年2,500個以上となっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
2,088個	2,304個	2,376個	2,448個					2,500個以上
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
引き続きみどり基金を活用している。 また、令和7年度より、県の自然保護奨励事務委託金を活用している。								
今後の対応								
・市の予算には限りがあるため、公益財団法人が行っている団体向けの花苗配付事業への応募を呼びかけ、花苗数の増加を目指す。 ・今後は事後調査にも積極的に取り組んでいきたい。								

主な取り組み

取り組み①	緑化に係る事業の推進							
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・生垣やシンボルツリーの苗木を配布することで、市街地のみどりを増やし、みどり豊かでうるおいのある住環境を創出する。 ・市民が利用しやすい市街地の緑化推進事業へと見直しを進める。 ・市民の参加などによる自然植生をめざした森の再生や里山の活用、維持管理を推進する。 							
2025年度 実施内容	シンボルツリー9件、生垣4件の配付を行い、シンボルツリーの苗木配布数累計は98件となった。							
【参考】予算事業名	緑化推進事業				【参考】実績額	384,250円	担当課	緑政課
取り組み②	公園への花苗の植栽						総合戦略	4-2-①-6
説明	・アダプトや自治会の協力により、公園に花苗の植栽をする。							
2025年度 実施内容	花苗配布箇所は16箇所であり、春期1,224株、秋期1,224株（合計2,448株）を配布した。							
【参考】予算事業名	苗木等配布事業				【参考】実績額	367,815円	担当課	緑政課
取り組み③	緑地の適正な維持管理							
説明	・市有緑地の適正な管理を行うため、伐採等を行う。							
2025年度 実施内容	緑地賠償責任保険料854,570円、緑地伐採等業務委託（42件）10,998,093円、市民の森（久木6丁目）借地料1,550,521円							
【参考】予算事業名	緑地維持管理事業				【参考】実績額	13,403,184円	担当課	緑政課
取り組み④	緑地の安全対策							
説明	・市有緑地の崩落を防ぎ市民の安全を確保するため、伐採及び法面防護工事を行う。							
2025年度 実施内容	緑地管理伐採業務委託（18箇所）24,999,700円、緑地擁壁補修設計等業務委託31,108,000円、既設法面保護施設補修等工事67,776,500円、緑地法面防護工事等（久木6丁目など）29,949,200円							
【参考】予算事業名	緑地安全対策事業				【参考】実績額	153,833,400円	担当課	緑政課

取り組み⑤	里山の環境の保全活用				
説明	・名越緑地を再生し、維持管理や利活用を行うため、里山の環境保全及び学習活動に関するアダプトプログラムを実施する。				
2025年度 実施内容	昆虫観察会（計2回）のため講師謝礼金30,000円 里山維持管理のための消耗品（種、苗、土のう等）購入費149,815円				
【参考】予算事業名	里山活用事業	【参考】実績額	200,469円	担当課	緑政課
取り組み⑥	歴史的風土特別保存地区の保全				
説明	・歴史的風土特別保存地区の指定区域は鎌倉市にまたがるため、神奈川県及び鎌倉市と指定に向けた調整を進める。				
2025年度 実施内容	事務的対応のみ				
【参考】予算事業名	歴史的風土保存事業	【参考】実績額	0円	担当課	緑政課
取り組み⑦	丘陵地の保全				
説明	・逗子市の良好な都市環境をつくる条例の運用により、開発行為や木竹の伐採について環境影響評価を実施することで自然環境の保全を図る。				
2025年度 実施内容	環境評価審査委員会 開催実績なし				
【参考】予算事業名	自然環境評価事業	【参考】実績額	1,331,000円	担当課	まちづくり景観課
取り組み⑧	環境教育等の推進				
説明	・市民団体との協働や市内学校、幼稚園、保育園等の関係機関との連携を深め、動植物とふれあう地域教育を推進する。 ・環境教育における施策を学校現場との連携を密にして取り組む。				
2025年度 実施内容	・ずしグリーンライフフェス（6/7・6/8）を開催した。 ・ずしし環境会議により、観察会及び出前授業を実施した。				
【参考】予算事業名	カーボンニュートラル推進事業	【参考】実績額	22,243,973円	担当課	環境都市課

具体的施策	③ 公園の活用及び維持管理
-------	---------------

KPI	「現在の逗子のイメージ」について、「気軽に行ける公園や広場が整備されている」と回答する人の割合が、過去5年の平均で25%以上になっている。							
2017～2021平均	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
22.96%	21.30%	21.70%	21.10%					25%以上

進捗状況評価
B：概ね順調であるとみなせる

補足説明（反省点・問題点、工夫している点）

- ・逗子市公園施設長寿命化計画により計画的な更新・修繕を実施することで、利用者が安全に過ごせる環境を整えている。
- ・R7に公園施設長寿命化計画の更新を行った。

今後の対応

公園施設長寿命化計画を進めつつ、今後、公園ストック再編計画を策定することで、ニーズに対応した公園整備を図る。

主な取り組み

取り組み①	池子の森自然公園の維持管理					
説明	・豊かな自然を次世代につなぐため、生物多様性に配慮した自然環境保全に努め、公園の維持管理を適切に行う。 ・池子住宅地区の一部約40haの共同使用を受けて、池子の森自然公園の自然環境の保全と活用を図る。					
2025年度 実施内容	緑地エリア管理運営業務委託3,445,568円					
【参考】予算事業名	池子の森自然公園維持管理事業	【参考】実績額	19,244,078円	担当課	緑政課	
取り組み②	公園の維持管理					
説明	・必要に応じて再編について検討し、多角的な活用方策を検討する。 ・利用者が安全で快適に利用できるよう、公園の維持管理を適切に行う。 ・多様化する市民ニーズに対応し、誰もが使いやすい公園となるようユニバーサルデザインの導入を図る。					
2025年度 実施内容	市民一人当たりの都市公園面積は16.54㎡となった。（令和7年度末）					
【参考】予算事業名	第一運動公園維持管理事業	【参考】実績額	7,212,413円	担当課	緑政課	
【参考】予算事業名	披露山公園維持管理事業	【参考】実績額	23,699,818円	担当課	緑政課	
【参考】予算事業名	蘆花記念公園維持管理事業	【参考】実績額	17,735,467円	担当課	緑政課	
【参考】予算事業名	近隣公園維持管理事業	【参考】実績額	7,194,015円	担当課	緑政課	
【参考】予算事業名	街区公園維持管理事業	【参考】実績額	61,067,891円	担当課	緑政課	

第3節 自然と人間を共に大切にするまち

1 自然を大切にするまち

取り組み③	公園の保全と活用				
説明	・市民が里親となって公園を管理するアダプトプログラムを実施し、協働によるまちづくりを推進する。				
2025年度 実施内容	各アダプト団体の維持管理活動（清掃、草刈り等）にかかる消耗品費 216,120円 公園アダプトは85箇所中52箇所（61.2%）で実施中。（前年度から変動なし）				
【参考】予算事業名	公園アダプト推進事業	【参考】実績額	216,120円	担当課	緑政課
取り組み④	国営公園の整備推進				
説明	・三浦半島国営公園設置に向けて「三浦半島国営公園設置促進期成同盟会」として、県や近隣市町と連携した国営公園整備の促進を国・県に働きかけていく。				
2025年度 実施内容	三浦半島国営公園設置促進期成同盟会幹事会（対面）及び総会（書面開催）に出席し、三浦半島国営公園設置促進に係る討議に参加した。				
【参考】予算事業名	—	【参考】実績額	—	担当課	緑政課
取り組み⑤	公園の整備				
説明	・市内の公園について、必要に応じて整備を行う。				
2025年度 実施内容	（仮称）小坪2丁目公園の開設に向け、県有地を購入し必要な整備を一部行った。 小坪2丁目県有地用地購入費118,344,600円、（仮称）小坪2丁目公園整備工事等65,324,541円				
【参考】予算事業名	近隣公園整備事業	【参考】実績額	183,669,141円	担当課	緑政課

具体的施策	④ 河川環境の保全
-------	-----------

KPI	アダプトプログラムにより市民が活動している河川管理の箇所数 6箇所、親水施設整備 4箇所							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
河川管理の箇所数：5箇所 親水施設整備：3箇所	河川管理の箇所数：5箇所 親水施設整備：3箇所	河川管理の箇所数：5箇所 親水施設整備：3箇所	河川管理の箇所数：5箇所 親水施設整備：3箇所					河川管理の箇所数：6箇所 親水施設整備：4箇所

進捗状況評価
B：概ね順調であるとみなせる

補足説明（反省点・問題点、工夫している点）

県有地の広場利用に関する要望書が市民から提出され、親水施設に近い形の多目的広場について、神奈川県とは概ね合意形成ができ、現在は周辺自治会と協議を行っており、令和8年度中に完成予定。

今後の対応

今年度、下田橋では神奈川県が左岸側の管理用通路の工事を行っており、逗子市でも神奈川県や周辺自治会と協議をしながら並行して多目的広場の整備工事を実施予定。その後、当該広場に関しては、河川アダプトを自治会と締結し、維持管理をしていただく予定。

主な取り組み

取り組み①	河川アダプト制度の活用				
説明	・水辺の環境を保全していくため、アダプト制度や市民、事業者との協働による清掃等を通じて、良好な水辺を継承していく。				
2025年度 実施内容	令和7年5月10日に田越川一斉清掃を行う予定であったが、雨天のため中止となった。 アダプト制度を活用した団体の清掃は継続して行っている。				
【参考】予算事業名	河川維持管理事業	【参考】実績額	7,627,194円	担当課	都市整備課
取り組み②	河川環境保全に留意した維持管理の推進				
説明	・水辺景観や生き物の生息場所に配慮した河川の維持管理を行う。 ・「自然の回廊」の一つとして、水辺環境の創生（河川管理通路を遊歩道として利活用）を図る。				
2025年度 実施内容	河川の草刈等の維持管理等を行った。				
【参考】予算事業名	河川維持管理事業	【参考】実績額	7,627,194円	担当課	都市整備課
取り組み③	河川環境保全に留意した改修工事の推進				
説明	・親水性を向上させるような仕様など、快適性（アメニティ）と調和に配慮した河川改修を行う。				
2025年度 実施内容	河川改修については未実施。				
【参考】予算事業名	河川維持管理事業	【参考】実績額	7,627,194円	担当課	都市整備課

具体的施策	⑤ 良好で持続可能な逗子海岸の推進
-------	-------------------

KPI	国際環境認証であるブルーフラッグを継続して取得している。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
取得申請中	継続取得	継続取得	継続取得					継続取得

進捗状況評価
A：順調である

補足説明（反省点・問題点、工夫している点）
4年連続で国際環境認証ブルーフラッグを取得、小学校での出張授業などの環境教育プログラムを協働で実施するなど、周知啓発活動を中心に取り組んだ。
今後の対応
・良好で持続可能な逗子海岸を将来へつないでいくための旗印として、ブルーフラッグの認証を継続取得するとともに、市内学校と連携した教育プログラムを推進するなど、周知啓発活動に取り組み、環境に配慮した活動の輪を広げていく。 ・海岸への排水対策として、海の家排水設備の整備促進に向けて調査研究を進め、手法や財源確保の検討を行う。

主な取り組み

取り組み①	国際環境認証ブルーフラッグの継続取得				
説明	・持続可能で良質な逗子海岸を維持するため、国際環境認証であるブルーフラッグの取得を継続し、市民向けに環境教育のイベント、講座等を実施する。 ・海洋プラスチックごみがもたらす環境への影響、プラスチック製品の使用の注意事項や使い捨て製品の使用を控える行動を促す等の周知活動を行う。 ・海岸への排水・廃棄の禁止、海の家排水設備の整備促進など海を汚さない取り組みを行う。 ・養浜対策について県に要請する。 ・関係機関を通じ、国に対して養浜対策の技術的支援を要請する。				
2025年度 実施内容	・逗子海岸営業協同組合と協働で、4年連続で国際環境認証ブルーフラッグを取得した。 ・逗子小学校での出張授業などの環境教育プログラムを協働で実施し、12企画に約1,100人が参加した。 ・海岸への排水対策に向けて、調査研究を行なった。 ・養浜対策について、国及び県へ要望活動を行うことに加え、観光教育プログラムの実施や東京大学と連携した調査研究結果の共有を受けた。				
【参考】予算事業名	海水浴場運営事業	【参考】実績額	33,153,975円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	海浜美化推進事業	【参考】実績額	10,219,520円	担当課	経済観光課

取り組み②	逗子海岸美化活動の推進				
説明	・海岸利用者にごみ等の散乱防止を啓発するとともに、協力を得て美化活動の実施に努める。 ・アダプトプログラムによる海岸一斉清掃を実施する。				
2025年度 実施内容	・かながわ海岸美化財団による海岸清掃を99日実施した。（負担金及び一部委託） ・アダプトプログラムによる海岸一斉清掃を11回実施し、約700人が参加した。				
【参考】予算事業名	海水浴場運営事業	【参考】実績額	33,153,975円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	海浜美化推進事業	【参考】実績額	10,219,520円	担当課	経済観光課

取り組みの方向	2 廃棄物による環境負荷の少ないまち
<p>ごみの排出は環境に大きな負荷をかけます。良好な環境を保全し、次世代につないでいくためには、できる限り「燃やさない、埋め立てない」という持続可能な循環型社会をめざす必要があります。</p> <p>わたしたちは、自主的にごみの発生・排出抑制に取り組むとともに、廃棄物を貴重な資源として一層有効活用し、環境保全と安全・安心に配慮したごみ処理の推進に努めます。</p> <p>わたしたちは、廃棄物による環境への負荷をできる限り低減し、「ゼロ・ウェイスト社会」の実現をめざします。</p>	

具体的施策	① ごみの発生量・排出量の削減
-------	-----------------

KPI	市民1人当たりのごみ排出量が1日当たり797g以下になっている。							
2021.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
851g/人・日	(2022年度数値) 812g/人・日	(2023年度数値) 771g/人・日	(2024年度数値) 775g/人・日					797g以下

進捗状況評価	
A：順調である	
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）	
逗子市一般廃棄物処理基本計画（2021年3月）に、目標年度を2030年度とした、一人1日当たりのごみ排出量の目標値を記載しているため、同計画との整合を図り目標を設定した。	
今後の対応	
2029年度まで、ごみの発生・排出抑制と資源物の分別徹底の促進、排出量に応じた負担の公平化及び市民意識の啓発を継続し、市民1人当たりのごみ排出量が1日当たり797g以下を目指すこととしており、2024年度は目標を達成した。さらなるごみの発生量・排出量の削減に向けて取り組んでいく。	

主な取り組み

取り組み①	ごみの発生・排出抑制の意識啓発の推進							
説明	・家庭ごみ処理有料化による減量効果を最大化するため、有料化の意義と趣旨、目的の十分な周知啓発を行う。							
2025年度実施内容	広報ずし、市ホームページにおいて、ごみ発生・排出の抑制について周知を図った。							
【参考】予算事業名	家庭系ごみ排出抑制推進事業				【参考】実績額	48,781,682円	担当課	資源循環課

取り組み②	ごみ処理手数料の適正化				
説明	・ごみ処理原価と近隣市町の状況を踏まえたごみ処理手数料の適正化を図る。				
2025年度 実施内容	事業系ごみ処理手数料について、ごみ処理原価と近隣市町の状況を踏まえたごみ処理手数料の適正化を図るため、手数料改定に向けて逗子市廃棄物減量等推進審議会へ諮問し、2024年3月に答申を受け、同年9月に条例を改正した。広報ずしや市ホームページでの周知の他、逗子市一般廃棄物収集運搬業許可業者、逗子市商店街連合会に個別に周知し、関係事業者への周知の協力を得た。また、逗子市商工会を通じてチラシの配布による周知を図った。2025年4月1日から改定後の金額（10kg当たり350円）を適用した。				
【参考】予算事業名	じんかい処理手数料（歳入）	【参考】実績額	98,446,250円	担当課	資源循環課

取り組み③	生活環境の保全				
説明	・不法投棄、ポイ捨て及び不適正排出の防止と生活環境保全のため、啓発活動、パトロール及び散乱ごみ回収等を実施する。				
2025年度 実施内容	散乱ごみ収集運搬業務委託、県市合同の不法投棄パトロール、不法投棄禁止看板の設置等を行った。				
【参考】予算事業名	環境づくり・美化推進事業	【参考】実績額	1,366,021円	担当課	資源循環課

具体的施策	② 生ごみの減量化・資源化の推進							
KPI	家庭用生ごみ処理容器等の助成件数が延べ9,010件以上になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
7,763件	8,103件	8,425件	8,599件					9,010件以上
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
集合住宅等の非電動式の家庭用生ごみ処理容器等の使用が困難な家庭における生ごみの自家処理の促進を図るため、2023年度から電動式生ごみ処理機も助成対象とした。これらの取り組みにより助成件数が大幅に増加し、生ごみの自家処理の普及拡大につながった。助成制度をより適正に運用するため、2025年4月1日から要綱を改正した。								
今後の対応								
引き続き、市ホームページ、広報ずしによる周知、チラシの配布を行い、当該助成制度の周知を図り、生ごみ減量化施策を進める。								

主な取り組み

取り組み①	家庭用生ごみ処理容器等の普及促進							
説明	・市民団体や事業者と連携して、家庭用生ごみ処理容器等による生ごみの自家処理の普及拡大・継続使用を推進する。							
2025年度 実施内容	<p>・家庭用生ごみ処理容器等の助成制度について、市ホームページ、広報ずしによる周知、チラシの配布を行い、普及促進を図った。</p> <p>・助成制度をより適正に運用するため、電動式生ごみ処理機については、耐用年数を考慮し、助成金の交付決定を受けた年度の翌年度から5年が経過した後に、再度電動式生ごみ処理機の申請を可能とすること、非電動式生ごみ処理容器、電動式生ごみ処理機ともに申請期限は購入後1年以内とすることについて、逗子市廃棄物減量等推進審議会の意見聴取を行い、2025年1月にパブリックコメントを実施した。2025年4月1日から要綱を改正した。</p>							
【参考】予算事業名	生ごみ処理容器等購入費助成事業				【参考】実績額	4,552,800円	担当課	資源循環課
取り組み②	生ごみの分別収集・資源化							
説明	・家庭から排出される生ごみを分別収集し、葉山町が整備する生ごみ資源化処理施設で資源化を図る。							
2025年度 実施内容	<p>地方自治法に基づく事務委託を葉山町に行うため、事務委託議案を提案し令和5年逗子市議会第3回定例会において可決された。2025年3月から家庭系生ごみの分別収集・資源化の実施を予定し、生ごみの分別収集・資源化の方法等について各地域で市民説明会を開催し広く周知を図っていたが、葉山町の生ごみ資源化処理施設の工期の延長に伴い、開始時期を延期した。</p>							
【参考】予算事業名	家庭系ごみ排出抑制推進事業				【参考】実績額	48,781,682円	担当課	資源循環課

具体的施策	③ 安心・安全で持続可能な廃棄物処理システムの構築
-------	---------------------------

KPI	環境クリーンセンター焼却施設長寿命化計画を策定し、計画的な維持管理を行い、年間20,000tの焼却処理を行っている。							
2021.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
葉山町可燃ごみ全量を受入れ共同処理を実施	葉山町可燃ごみ全量を受入れ共同処理を実施	葉山町可燃ごみ全量を受入れ共同処理を実施 鎌倉市可燃ごみの試行受入れを実施	年間20,000 t 程度の焼却処理を実施					年間20,000tの焼却処理を行っている。

進捗状況評価	
A：順調である	
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）	
鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画において、ごみ処理施設の整備方針を整理しており、第２期（2025年度～2029年度は、逗子市の焼却施設に、葉山町の可燃ごみ及び鎌倉市の可燃ごみの一部を、年間20,000トンの範囲で集約し、焼却する計画である。2025年度は葉山町可燃ごみ全量及び鎌倉市可燃ごみの一部を受入れ、年間19,912トンの焼却処理を行った。	
今後の対応	
環境クリーンセンター焼却施設長寿命化計画に基づき、施設保全の適正な実施・運用により、施設の機能低下を抑制し、施設の延命を図っていく。	

主な取り組み

取り組み①	環境クリーンセンター焼却施設長寿命化計画の策定				
説明	・環境クリーンセンター焼却施設について、中長期的なごみ量とごみ質の変化等を踏まえた長寿命化計画を策定し、計画的な維持管理を図る。				
2025年度 実施内容	焼却施設の定期補修工事を実施したほか、設備機器の劣化状況に基づいた計画的な整備（補修、交換等）を行った。				
【参考】予算事業名	—	【参考】実績額	—	担当課	資源循環課
取り組み②	民間委託の計画的な推進				
説明	・収集・運搬、中間処理、最終処分各段階における直営と民間委託の役割分担のあり方を整理し、民間委託の計画的な推進を図る。				
2025年度 実施内容	一般廃棄物収集・運搬業務委託、焼却灰の資源化業務委託等について、役割分担を明確にし、計画的に推進した。				
【参考】予算事業名	—	【参考】実績額	—	担当課	資源循環課

具体的施策	④ 紙ごみの減量化・資源化の推進							
KPI	燃やすごみに含まれる紙ごみが36.7%以下になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
37.3%	31.1%	35.1%	36.4%					36.7%以下
進捗状況評価								
B：概ね順調であるとみなせる								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
2025年3月から、生ごみの分別収集・資源化が開始するため、現在、燃やすごみに含まれている生ごみを分別収集することで燃やすごみの全体量が減量するため、燃やすごみに含まれる紙ごみの割合が自ずと大きくなる。このことから、燃やすごみに含まれる資源化可能な紙類の混入3割減を指標とし、生ごみ分別収集実施後の組成として計算した。 ※2025年3月から生ごみの分別収集・資源化を開始する計画としていたが、開始時期の延期により、2024年度及び2025年度実績は生ごみ分別収集実施前の燃やすごみに含まれる紙ごみの組成として計算している。								
今後の対応								
紙ごみの分別徹底が徹底され、更なる減量化・資源化が促進されるよう周知啓発を進める。								

主な取り組み

取り組み①	紙ごみの減量化・資源化の推進				
説明	<ul style="list-style-type: none"> 紙ごみの分別排出が徹底され、減量化・資源化が促進されるよう周知啓発を進める。 資源回収奨励金制度の合理化・活性化を図る。 				
2025年度 実施内容	<p>燃やすごみを減らすために資源化できる紙ごみの分別徹底について周知を図った。</p> <p>2024年度は生ごみの分別収集・資源化を開始する計画としていたが、開始時期の延期により、生ごみ分別収集実施前の燃やすごみに含まれる紙ごみの組成として計算している。</p>				
【参考】予算事業名	資源再利用推進事業		【参考】実績額	27,693,170円	担当課 資源循環課

具体的施策		⑤ 資源化品目の拡大						
KPI	資源化率が61.4％以上になっている。 最終処分率が0.3％以下を維持している。							
2021.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
資源化率：48.1％ 最終処分率：0.3％	(2022年度数値) 資源化率：45.9％ 最終処分率：0.4％	(2023年度数値) 資源化率：44.9％ 最終処分率：0.4％	(2024年度数値) 資源化率：45.6％ 最終処分率：0.5％					資源化率：61.4％以上 最終処分率：0.3％以下
進捗状況評価								
B：概ね順調であるとみなせる								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
逗子市一般廃棄物処理基本計画（2021年3月）に、目標年度を2030年度とした資源化に関する目標及び最終処分に関する目標値を記載しているため、同計画との整合を図り目標を設定した。								
・製品プラスチックの再商品化について、他自治体との調整のほか、施設改修あるいは更新、民間事業者への委託も含め、手法を検討していく。紙おむつについても、新たな資源化について、国や他自治体の動向等を見据え検討していく。								

主 な 取 り 組 み

取り組み①	資源化効率の向上							
説明	・焼却灰の安定的な資源化処理の確立を図る。 ・最終処分する不燃残さを最小化するための資源化品目の拡大と資源化効率の向上を図る。 ・燃やすごみの約15%を占める植木剪定枝について、環境クリーンセンターでの処理、粉碎車両の活用及び民間処理委託により、焼却処理をせずに全量資源化を図る。 ・製品プラスチック、紙おむつ等、新たな資源化品目の追加について、国の動向等を見据え継続して検討する。							
2025年度 実施内容	製品プラスチック、紙おむつ等の新たな資源化品目の追加について、他自治体や国の動向等を見据え、民間への業務委託について継続して検討した。 2023年度実績について、目標達成に向けて概ね順調に資源化率が向上しているものと考えている。 2024年度からは生ごみの分別収集・資源化を開始する計画としていたが、開始時期の延期により資源化率の進捗に遅れが出ている。							
【参考】予算事業名	—				【参考】実績額	—	担当課	資源循環課
取り組み②	ごみと資源物の分別方法の意識啓発の推進							
説明	・市民、事業者との協働により、正しい分別の仕方、資源物の出し方の啓発を図る。 ・地域の拠点での資源物の回収の促進を図っていく。							
2025年度 実施内容	ごみと資源物の分別方法、出し方について周知を図った。逗子市廃棄物減量等推進員や自治会・町内会に対し、資源回収ネット容器の使用について引き続き周知を進め、資源物の回収促進を図った。							
【参考】予算事業名	—				【参考】実績額	—	担当課	資源循環課

具体的施策		⑥ ごみ処理の広域連携の推進						
KPI	鎌倉市の可燃ごみの一部を受入れ広域処理を行っている。 葉山町の生ごみ資源化処理施設での生ごみ資源化共同処理を行っている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
未実施	未実施	鎌倉市可燃ごみの 試行受入れを実施	鎌倉市可燃ごみ の一部を受入れ 広域処理を実施					広域処理及び共同 処理を行っている
進捗状況評価								
C：順調であるとみなせない								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画のスケジュールのとおり進めることとしている。 2025年3月から家庭系生ごみの分別収集・資源化の実施を予定し、生ごみの分別収集・資源化の方法等について各地域で市民説明会の開催し広く周知を図っていたが、葉山町の生ごみ資源化処理施設の工期の延長に伴い、開始時期を延期した。 2025年4月から鎌倉市の可燃ごみの一部を逗子市が受け入れ、共同処理を開始した。								
今後の対応								
生ごみの分別収集・資源化については、葉山町と工事進捗等の状況の確認を継続して行っていく。開始に当たっては、ごみ処理負担金の協議が調った後、補正予算の議決を得て契約行為や市民説明会の開催、指定ごみ袋の流通等の準備が必要となる。								

主な取り組み

取り組み①	ごみ処理の広域連携の推進					
説明	・平常時の共同処理、緊急時の相互支援及び災害時の広域処理の各場面における合理的かつ効率的な自治体間連携の関係構築に取り組む。 ・食品リサイクル法に基づく登録再生事業者の活用、食品廃棄物の発生抑制・排出抑制、手数料の見直し等を鎌倉市、逗子市及び葉山町で連携して推進する。					
2025年度 実施内容	2市1町で広域連携に係る協議を行った。 生ごみの分別収集・資源化に向けた取り組みとして、地方自治法に基づく葉山町への事務委託を行うため、事務委託議案を提案し令和5年逗子市議会第3回定例会において可決された。2025年3月から家庭系生ごみの分別収集・資源化の実施を予定し、生ごみの分別収集・資源化の方法等について各地域で市民説明会の開催し広く周知を図っていたが、葉山町の生ごみ資源化処理施設の工期の延長に伴い、開始時期を延期した。 地方自治法に基づく事務委託により鎌倉市の可燃ごみの一部を逗子市が受け入れ、共同処理を開始するため、令和6年第4回逗子市市議会に事務委託議案を提案し可決された。円滑に共同処理を開始するため、2024年度に試行受入れを通して、搬入ルート、搬入時間などの検証を行い、鎌倉市と十分に調整を図った。また、2024年6月に鎌倉市からの可燃ごみ試行受け入れに関する市民説明会（池子会館、市役所）を開催する等、市民周知を図った。2025年度から年間焼却量20,000トンの範囲で鎌倉市の可燃ごみを受入れ、広域処理を行った。					
【参考】予算事業名	家庭系ごみ排出抑制推進事業		【参考】実績額	48,781,682円	担当課	資源循環課

取り組みの方向	3 カーボンニュートラルを実現するまち
<p>地球温暖化の問題は、地球規模で取り組む課題です。</p> <p>その原因の一つである二酸化炭素を主なものとする温室効果ガスは、日常生活においても発生しています。わたしたち一人ひとりのライフスタイルを見直し、身近なことから温室効果ガス排出量の削減を実践していきます。</p> <p>また、温室効果ガスの発生量の多い化石燃料から、地球環境への負荷が少ない再生可能エネルギーへの転換に努めます。</p> <p>わたしたちは、持続可能な社会を実現するため、2050年温室効果ガス排出実質ゼロのまちづくりを進めます。</p>	

具体的施策	① 2050年カーボンニュートラル実現の推進
-------	---------------------------

KPI	市内の電力を使用するすべての市所有（管理）施設において、再生可能エネルギー100%の電気を導入する。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
12施設	16施設 (73.5%)	16施設 (68.6%)	17施設 (77.4%)					全施設
進捗状況評価								
B：概ね順調であるとみなせる								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
2050 年カーボンニュートラル実現をめざし、2021 年（令和 3 年）3 月に策定した「公共施設の電力調達の方針」において、2030 年度（令和 12 年度）までに、原則として市内の電力を使用するすべての市所有（管理）施設において、再生可能エネルギー100%の電気を調達することを目標としている。高圧施設についてはほぼ調達が完了しており、2025年（令和 7 年）度からは低圧施設（自転車保管場所）においても調達を開始している。								
今後の対応								
各施設において、電力の契約（見直し）時に、可能な限り再生可能エネルギー電気を調達する。なお、指定管理者により管理されている施設についても同様とする。								

主 な 取 り 組 み

取り組み①	環境に配慮したライフスタイルへの移行促進							
説明	・「チャレンジ！逗子カーボンニュートラル2050」宣言を踏まえて、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を改定し、その目標値達成に向けた事業を推進する。 ・市民、事業者との協働により、環境に配慮したライフスタイルに移行するきっかけとなる施策を展開し、温室効果ガス排出量削減に向けた取り組みを促進するための意識啓発を実施する。							
2025年度 実施内容	・東京ガスとの「カーボンニュートラルのまちづくりに向けた包括連携協定」に基づき、庁内職員研修及び市民向け事業「親子エコ・クッキング」を実施した。 ・ずしグリーンライフフェス（6/7・6/8）を開催した。 ・かんきょう講演会（2/22）を開催した。							
【参考】予算事業名	カーボンニュートラル推進事業				【参考】実績額	22,243,973円	担当課	環境都市課
取り組み②	民生部門の再エネ・省エネ・蓄エネの推進							
説明	・市民、事業者による再生可能エネルギーの利用及び省エネ・蓄エネ設備等の導入に向けた意識啓発や支援に取り組む。							
2025年度 実施内容	・カーボンニュートラル推進補助金を交付（交付額：6,396,000円）							
【参考】予算事業名	カーボンニュートラル推進事業				【参考】実績額	22,243,973円	担当課	環境都市課

取り組み③	公共施設における再エネ・省エネ・蓄エネの推進				
説明	・公共施設における再生可能エネルギーの利用及び省エネ・蓄エネ設備の導入等による温室効果ガス排出量削減に向けた具体的な取り組みを検討し、実施する。				
2025年度 実施内容	・令和5年度に実施した太陽光発電設備導入可能性調査の結果に基づき、逗子小学校における太陽光発電設備を更新することとし、公募型プロポーザル方式事業者選考にて選出したPPA事業者による太陽光発電設備等導入事業を実施した。				
【参考】予算事業名	カーボンニュートラル推進事業	【参考】実績額	22,243,973円	担当課	環境都市課

取り組み④	移動の脱炭素化の推進				
説明	・低公害車への乗り換えの啓発・推進など、自動車による環境負荷を少なくするための取り組みを行う。 ・第4節 3 歩行者と自転車を優先するまちの取り組みと連携し、公共交通の利用を促進する。				
2025年度 実施内容	・グリーンライフフェスにて公用車E Vカーシェアリングの周知活動を実施した。				
【参考】予算事業名	カーボンニュートラル推進事業	【参考】実績額	22,243,973円	担当課	環境都市課

取り組みの方向	4 暮らしと景観に配慮したまち
<p>きれいな水と空気に恵まれた良好な生活環境を維持し、より一層人に優しい都市環境を整備することは重要な課題です。</p> <p>また、みどり豊かな低層の家並みと路地がめぐる美しいまち並みは、市民共有の財産です。</p> <p>良好なまち並みと、そこに住む人々の暮らしで形成される「景観」をまちづくりの重要な要素として位置付け、自然景観及び人工景観の向上をめざしていきます。</p> <p>わたしたちは、良好な生活空間、景観を次世代に引き継いでいくため、暮らしと景観に配慮したまちづくりを進めていきます。</p>	

具体的施策	① 景観まちづくりの推進
-------	--------------

KPI	景観啓発冊子「まちなみデザイン逗子」を活用した啓発活動を年3回以上実施する。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
3回	5回	5回	3回					3回以上
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
逗子葉山高校で、まちなみデザインの授業の実施、トモイクフェスティバルや環境展への展示を行った。								
今後の対応								
引き続き、公共施設整備事前協議の依頼や市民を対象とした啓発活動を行う。								

主な取り組み

取り組み①	地域特性等に応じた景観形成					
説明	・ 地域特性や立地条件に応じた施設整備が行われるよう、景観形成重点地区の追加指定を含め様々な手法を検討し、地域資源がより生かされる方策を実施する。 ・ 関係機関と協議し、景観に配慮した公共施設の整備を推進する。					
2025年度 実施内容	・ 公共施設整備実施前の協議を関係所管に周知、協議を行った。 ・ 逗子市景観条例適用案件における進行管理表を作成し、地域特性や立地条例に応じた施設整備における基礎資料の整備を開始した。					
【参考】予算事業名	景観のまちづくり推進事業	【参考】実績額	680,851円	担当課	まちづくり景観課	
取り組み②	景観啓発冊子「まちなみデザイン逗子」の活用					
説明	・ 「まちなみデザイン逗子」の普及啓発を図り、市民の自発的な景観づくりに活用してもらうよう誘導する。 ・ 地域ごとに景観を考える機会をつくり、「まちなみデザイン逗子」を使って自然と調和したまち並みや魅力ある路地など地域の特色を活かした景観を維持・創造していく。					
2025年度 実施内容	逗子葉山高校で、まちなみデザインの授業の実施、トモイクフェスティバルや環境展への展示を行った。					
【参考】予算事業名	景観のまちづくり推進事業	【参考】実績額	680,851円	担当課	まちづくり景観課	
取り組み③	生垣やシンボルツリーの苗木の配布					
説明	・ 景観に配慮した緑化の取り組みを推進する。					
2025年度 実施内容	シンボルツリー 9 件、生垣 4 件の配付を行い、シンボルツリーの苗木配布数累計は98件となった。					
【参考】予算事業名	緑化推進事業	【参考】実績額	384,250円	担当課	緑政課	

逗子市総合計画

進行管理表

第4節

柱	第4節 安全で安心な、快適な暮らしを支えるまち							
めざすべきまちの姿	<p>わたしたちは、逗子が持つ豊かな自然環境やコミュニティの質の高いまちを未来に継承していきます。</p> <p>そのため、土地利用の基本方針を尊重し、社会ニーズを的確にとらえ、長期的な視点に立った都市のデザインを描いて、計画的なまちづくりを進め、誰もが安全で安心して快適に暮らせるまちをめざします。</p>							
目標	安全で安心な、快適な暮らしを支えるまちをめざす市の取り組みに満足している人の割合が10ポイント増加している。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
未実施	57.7%	60.0%(59.4%)	61.8%(61.1%)	(62.8%)	(64.5%)	(66.1%)	(67.7%)	67.7%
進捗状況評価								
A：順調である								

取り組みの方向	1 良好な住環境の形成により、くつろぎが生まれるまち
<p>土地利用の基本方針にうたわれた理念の実現を図るため、逗子が潜在的に持つ優れた価値と原風景を再認識し、大局的長期的視点に立ち、住む人にも訪れる人にも優しく、にぎわいとくつろぎ、そして安らぎが生まれる人間らしいスケールのまちをめざします。</p> <p>基本的に低層のまち並みの形成を基盤とする中で、地域ごとの整備方針に基づき、地域のまちづくりを進めます。</p>	

具体的施策	① 計画的なまちづくりの推進							
KPI	市を取り巻く環境の変化による条例運用上の課題等に早急に対応するため、3年ごとに土地利用に係る3条例等の見直しを行う。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
令和2年8月 まちづくり条例施行規則の改正	令和6年3月 まちづくり条例施行規則の改正	まちづくり条例改正の検討を行った	まちづくり条例改正案について審議会に諮問した					3年ごとに見直す
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
都市計画マスタープランとの整合性を図るため、開発規制等の見直しを行い、改正案をまちづくり審議会に諮ることができた。								
今後の対応								
まちづくり条例施行規則の一部改正に関わる市民説明会を実施し、改正を目指す。								

主 な 取 り 組 み

取り組み①	計画的なまちづくり推進事業の推進				
説明	・まちづくり条例を運用するとともに、市民の主体的なまちづくりの取り組みを支援し、計画的なまちづくりを推進する。				
2025年度 実施内容	まちづくり条例に基づく開発行為等の届出（4件）　まちづくり審議会開催（5回）				
【参考】予算事業名	計画的なまちづくり推進事業	【参考】実績額	1,857,427円	担当課	まちづくり景観課
取り組み②	コンパクト・プラス・ネットワーク型都市構造の推進				
説明	・立地適正化計画に基づき適正な土地利用誘導を行うとともに、公共交通ネットワークの維持向上に取り組む。				
2025年度 実施内容	・都市計画事業の円滑化を推進するための基礎資料となる都市計画基本図について、都市計画基礎調査の実施に先立ち、最新データに更新した。 ・第8回線引き見直しに係る都市計画変更について、令和7年11月11日付で告示を行った。 ・三浦半島中央道路に関する都市計画変更について、市民説明会、都市計画素案の閲覧、神奈川県主催による公聴会を実施した。				
【参考】予算事業名	都市計画策定事業	【参考】実績額	14,041,814円	担当課	環境都市課

具体的施策	② 空き家対策と利活用							
KPI	空き家バンク等の施策誘導を通して、解消された空き家が中期実施計画期間中累計で35件になっている。							
2019.4～2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
19件	9件	10件	19件					35件
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
空き家バンクの運営に留まらず、所有者へのアプローチとして空き家アドバイザー派遣制度を活用し、利活用を提案することで、空き家を市場流通に乗せることができた。相続人不存在の空き家解消のため相続財産清算人選定の申し立てを裁判所に行った。								
今後の対応								
空き家バンク、空き家アドバイザー派遣制度を運営し、空き家の利活用の啓発を行う。 相続財産清算人の申し立ての事務手続きマニュアル化や専任された清算人の対応など、今後も増加が見込まれる本制度のノウハウの蓄積を図る。								

主な取り組み

取り組み①	空き家解消事業の推進							
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民や関係団体と連携し、空き家の抑制・適正管理を図る。 ・ 所有者及び利用希望者に対し売却や利活用に向けた提案等を行い、流通・利活用を促進する。 							
2025年度 実施内容	空き家バンクの運営 空き家アドバイザー派遣制度の実施 相続財産清算人の選任申立							
【参考】予算事業名	計画的なまちづくり推進事業				【参考】実績額	1,857,427円	担当課	まちづくり景観課

取り組みの方向	2 災害に強く、犯罪のない安全なまち
<p>高齢化が進む住宅都市として、「自らの命は自ら守る。皆のまちは皆で守る。」という意識の浸透、自主防災組織の充実及び避難行動要支援者に対する地域での助け合いの取り組み等を広げ、市民自らの防災力の向上を図るとともに、情報伝達体制の整備や津波対策の充実、河川の改修等を進め、地震や大雨等の自然災害に強いまちづくり、狭あい道路の整備や消防力の充実など都市災害を防ぐまちづくりを進めます。</p> <p>また、市民一人ひとりの防犯意識の向上を図り、地域の安全は地域で守るという意識を高め、防犯環境に配慮した環境整備を図り、誰もが安心して暮らすことができる、犯罪の起きにくいまちづくりをめざします。</p>	

具体的施策	① 自主防災組織育成の推進
-------	---------------

KPI	防災ハンドブックを更新し、各種訓練、イベント等で配布し、世帯数の80%以上に配布している。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
未更新	未更新	防災ハンドブックの更新内容を検討した	防災ハンドブックの更新をコンサルティングを含めた業務委託で作成する計画を立てた。					世帯数80%以上に配布

進捗状況評価	
C：順調であるとみなせない	
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）	
・各種ハザードマップの内容も含めて防災ハンドブックを作成する予定だが、本市浸水想定区域図の更新に伴い、新たな土砂災害等ハザードマップを作成し、盛り込む予定である。 ・令和7年度土砂災害ハザードマップを更新した。 ・本市の特色や能登半島地震の課題を踏まえた内容にすることを計画している。	
今後の対応	
・令和8年度では防災ハンドブック、地域防災計画、受援計画の作成をコンサルを入れて業務委託する流れで計画したが、地域防災計画等を優先し進めていくことになった。 ・令和9年度改めて防災ハンドブックの作成に取り掛かる。 具体的な内容として、自主防災組織の災害時活動マニュアル、災害の最新ガイドライン及びハザードマップ等の反映を盛り込み、令和9年度に作成、令和10年度配付を予定している。	

主な取り組み					
取り組み①	自主防災組織の育成、加入率向上の支援				
説明	・様々な主体の連携を図りながら、総合防災訓練、避難所運営訓練、地域住民を対象とした防災教室（初期消火、応急手当、避難訓練等）を実施する。 ・防災ハンドブック等の作成、配布を行う。 ・自主防災組織の育成、加入率向上のほか、自主防災活動を支援するなど自主防災組織の活性化に取り組む。				
2025年度実施内容	防災教室の実施（76回） 防災訓練の実施（逗子地区11/15、沼間地区11/8、池子地区11/9、久木地区11/30、小坪地区12/6） 消防・防災フェア2025in逗子を第一運動公園で実施（R8.3/1、来場者数約2,000人） 防災資機材等整備費補助金交付（34団体） 避難所運営委員会補助金交付（5団体）				
【参考】予算事業名	自主防災組織育成事業	【参考】実績額	2,952,000円	担当課	防災安全課

具体的施策		② 災害対策に係る整備の充実						
KPI	津波避難ビル（民間施設）の指定数が21施設以上になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
17施設	17施設	17施設	16施設					21施設以上
進捗状況評価								
C：順調であるとみなせない								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
<div>・津波避難ビルに指定できる新たな開発行為が無く、また、既存の対象施設においても、指定同意が得られなかった。</div> <div>・指定済みの津波避難ビルに対して、対面にて協定内容の確認を行った。</div> <div>・昨今は夜間等、管理者が建物外に居たときに対応できない等の理由から、津波避難ビル普及に対し消極的な意見が多いことが現状である。</div> <div>・令和7年度に、1施設（サングレイス逗子）が津波避難ビル解除となった。</div>								
今後の対応								
<div>・引き続き、津波避難ビル指定の必要性等について、理解を求めていく。</div> <div>・指定済みビルが指定解除とならないよう、運用上の課題等について対面でのヒアリングを定期的に行っていく。</div>								

主な取り組み

取り組み①	災害対策用資機材等の計画的な整備							
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・予想される災害の的確な情報把握と市民に対して確実な情報提供ができるような整備を推進するとともに、市民に対し情報の受信方法の周知を行う。 ・予想される災害に備え備蓄資材等の整備に努める。 ・津波災害に備え、津波避難路などの整備を進める。 							
2025年度 実施内容	備蓄用品（携帯トイレ、食料、飲料水、粉ミルク、毛布ほか）及び防災倉庫の購入							
【参考】予算事業名	災害対策事業				【参考】実績額	63,116,418円	担当課	防災安全課
取り組み②	避難施設整備事業の推進							
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模地震等による津波災害から市民等の生命の安全を確保するとともに、津波に対する市民等の不安を解消するため、津波避難施設整備を図る。 							
2025年度 実施内容	津波避難施設の整備なし（津波避難ビルの指定なし）							
【参考】予算事業名	災害対策事業				【参考】実績額	63,116,418円	担当課	防災安全課

具体的施策		③ 避難行動要支援者への支援の確立						
KPI	個別避難計画の作成率が35%以上になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
10.4%	12.50%	12.35%	14.28%					35%以上
進捗状況評価								
C：順調であるとみなせない								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
<p>・現状は、自主防災組織役員が無報酬で計画を作成している。</p> <p>・支援（作成）者となる福祉専門職、民生委員、自主防災組織らの心理的負担が大きい。</p> <p>・市が主体となり作成に取り組むべき優先度の高い避難行動要支援者（Sランク）を、災害リスクと心身の状況を考察し決定した。</p> <p>・個別避難計画の作成率は、作成に係る同意者数を計画作成済者で割ったものである。</p> <p>（2023年度）同意者数:1,536件/作成済者数:192件</p> <p>（2024年度）同意者数:1,627件/作成済者数:201件</p> <p>（2025年度）同意者数:1,540件/作成済者数:220件</p>								
今後の対応								
<p>・継続して支援（作成）者となる福祉専門職等に理解・協力を求めていく。</p> <p>・Sランク者の作成における、福祉事業所等に対する業務委託料を令和8年度当初予算に計上した。</p>								

主な取り組み

取り組み①	避難行動要支援者支援制度の普及・啓発の推進							
説明	<p>・避難行動要支援者支援制度の普及・啓発を行う。</p> <p>・庁内関係所管の連携・情報共有による避難行動要支援者名簿の作成を行う。</p> <p>・避難行動要支援者名簿の情報が、もれなく随時更新される体制の整備を行う。</p> <p>・民生委員・児童委員や逗子市社会福祉協議会、地域包括支援センター、相談支援事業所等、福祉関係専門機関・団体への制度周知と、理解・協力を求める。</p> <p>・住民自治協議会及び自主防災組織等との協力体制を確立する。</p> <p>・平常時から築かれた近隣の関係性を避難行動要支援者への避難支援体制づくりに導く。</p> <p>・避難行動要支援者に必要な避難所の資機材の整備等を図る。</p>							
2025年度 実施内容	<p>・自治会及び自主防災組織91団体中、58団体に対して、避難行動要支援者名簿及びマップを配付し、避難支援体制の強化を図った。</p> <p>・関係部署と協議を行い、要支援者の優先順位について決定した。次年度に向け、個別避難計画の作成を具体的に進めるため、事務の運用等について調整を行った。</p>							
【参考】予算事業名	災害対策事業				【参考】実績額	63,116,418円	担当課	防災安全課

具体的施策	④ 消防力の充実
-------	----------

KPI	防災拠点としての機能強化を図るため、老朽化した分団詰所3箇所の整備が進められている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
老朽化が著しい	・第3分団の設計 実施 ・第5分団の基本 構想案策定 ・第9分団の移転 用地の検討	・第3分団の解体 工事実施 ・第5分団の基本 的計画の策定 ・第9分団の移転 用地の検討	・第3分団の建築工 事が完了し、運用 を開始している。 ・第5分団の基本実 施設計の策定 ・第9分団の移転 用地の検討					整備が進められ ている

進捗状況評価
B：概ね順調であるとみなせる

補足説明（反省点・問題点、工夫している点）

第3分団詰所・・・令和7年度内までに建設・完成を目指していた第3分団詰所が完成した。

今後の対応

- ・第5分団詰所・・・北分署庁舎との合築で計画を進めており、令和8年度に設計業務を完了し、工事着手については令和14年度、工事完了が令和15年度予定となる。
- ・第7分団詰所・・・小坪分署庁舎との合築で計画を進めており、令和8年度に基本構想の策定を完了し、令和13年度までに工事完了を目指している。
- ・第9分団詰所・・・移転用地の検討が進められている。老朽化した施設の修繕を計画的に進めている。

主 な 取 り 組 み

取り組み①	消防車両の更新整備				
説明	・ 消防力の充実強化を図るため、消防自動車等を計画的に整備する。				
2025年度 実施内容	・ 消防ポンプ車(3.5 t)の購入(第3分団)				
【参考】予算事業名	車両整備事業	【参考】実績額	22,660,000円	担当課	消防総務課
取り組み②	消防水利の整備				
説明	・ 消防水利を適正に維持管理する。				
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化した消火栓の補修を行った。 ・ 消火栓路面標示の塗装を行った。 				
【参考】予算事業名	消防水利維持管理事業	【参考】実績額	1,537,083円	担当課	消防総務課
取り組み③	消防団の充実				
説明	・ 地域防災力の中核となる消防団の充実強化のため、老朽化した消防団詰所を計画的に整備する。				
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3分団詰所の整備として、建築工事が完了した。 ・ 第5分団詰所の整備として、基本設計及び実施設計業務が開始された。 ・ 第9分団詰所の整備として、桜山長柄線計画延長との兼ね合いから、対応について今後検討となった。 				
【参考】予算事業名	消防団詰所整備事業	【参考】実績額	160,210,600円	担当課	消防総務課
取り組み④	消防広域化の可能性の検討				
説明	・ 消防力の充実強化を図るため、消防の連携・協力の推進について検討する。				
2025年度 実施内容	・ 総務省消防庁が策定した「市町村の消防の広域化に関する基本指針」が、令和6年3月に一部改定され、消防広域化の期限が令和11年4月1日まで延長となったことを受け、実現に向け、引き続き、検討していく。				
【参考】予算事業名	—	【参考】実績額	—	担当課	消防総務課

具体的施策	⑤ 建築物等の耐震化の推進							
KPI	耐震改修工事の補助金により耐震化された住宅が中期実施計画期間中累計35件になっている。							
2015.4～2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
37件	1件	3件	7件					35件
進捗状況評価								
C：順調であるとみなせない								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
木造住宅の補助制度の対象を居住の用に供するものから、貸家住宅まで拡大した。								
今後の対応								
訪問型の耐震セミナーに加えて、チラシ作成等により、制度の周知啓発を図る。								

主な取り組み

取り組み①	建築物等の耐震化の推進							
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震性の劣る建築物を主な対象とし、その所有者・管理者等に耐震診断及び耐震改修の促進について、普及・啓発を図り、必要に応じて耐震診断や耐震改修の補助、意識啓発のための情報提供を行う。 ・耐震診断・耐震補強工事の補助金を交付することにより、木造住宅の耐震化を推進する。 ・危険ブロック塀除去の補助金を交付することにより、避難路の安全確保を推進する。 							
2025年度 実施内容	耐震セミナーの開催、耐震診断や耐震改修工事、危険ブロック塀除去工事に係る費用の補助							
【参考】予算事業名	震前震後対策事業				【参考】実績額	3,473,508円	担当課	まちづくり景観課

具体的施策		⑥ 浸水対策の推進						
KPI	2025年度末までに、田越川準用河川浸水想定区域図及び内水浸水想定区域図を作成し、浸水被害が予想されるエリアの周知を行う。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
未完成	作成中	作成完了	区域図の周知					区域図を作成 エリアを周知
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
令和6年度中に区域図を作成することができた。令和7年度には区域図をホームページで公表し、防災部局でハザードマップを作成し、周知を行った。								
今後の対応								
引き続き周知を行う。								

主な取り組み

取り組み①	田越川準用河川浸水想定区域図の作成・公表			
説明	・昨今の気象条件を踏まえた田越川準用河川の浸水想定区域図を設定し、公表する。			
2025年度 実施内容	令和7年度に区域図をホームページで公表し、防災部局でハザードマップを作成し、周知を行った。			
【参考】予算事業名	河川維持管理事業	【参考】実績額	7,627,194円	担当課 都市整備課
取り組み②	田越川準用河川の整備			
説明	・新たに設定する田越川準用河川浸水想定区域を基に、田越川準用河川の整備内容を検討する。また、新技術の研究を行うとともに、必要に応じて関係地権者と調整して事業を進めていく。			
2025年度 実施内容	令和6年度に設定した区域図を基に今後、河川整備計画を策定する予定。			
【参考】予算事業名	河川整備事業	【参考】実績額	—	担当課 都市整備課
取り組み③	田越川二級河川区間の河川改修の推進			
説明	・県に対し、継続的な河川改修整備の実施を要望する。			
2025年度 実施内容	神奈川県による田越川の河川改修は継続して行っている。			
【参考】予算事業名	河川維持管理事業	【参考】実績額	7,627,194円	担当課 都市整備課
取り組み④	内水浸水想定区域図の作成・公表			
説明	・2021年度に施行された流域治水関連法に伴う、想定最大降雨等による内水浸水想定区域図の作成・公表を2025年度までに行う。			
2025年度 実施内容	令和7年度に区域図をホームページで公表し、防災部局でハザードマップを作成し、周知を行った。			
【参考】予算事業名	管路建設費	【参考】実績額	129,866,412円	担当課 下水道課
取り組み⑤	雨水浸透施設等の設置			
説明	・新築等の際に宅内に降った雨水については、宅内で浸透させるように指導を行う。 ・開発基準に基づき、雨水浸透施設及び雨水貯留施設設置の指導を行う。			
2025年度 実施内容	排水設備等確認申請書における指導 257件 まちづくり条例の開発指導 6件			
【参考】予算事業名	—	【参考】実績額	—	担当課 下水道課

具体的施策	⑦ 防災・消防・防犯分野の連携の推進							
KPI	各関係機関と連携を図り、刑法犯発生率が0.15%以下となっている。							
2021.12	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
0.19%	0.49%	0.47%	0.54%					0.15%以下
進捗状況評価								
C：順調であるとみなせない								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・本市の刑法犯発生数は、2021年（112件）に比べ増加している。（2025年:296件） ・刑法犯発生率は認知件数を人口(毎年4月1日現在の推計人口）で割ったもので、人口が減少していることもあり2021年に比べ約2.6倍となっている。 ・全国、神奈川県ともに刑法犯発生数は、2021年に比べ増加している。 （全国）568,104件→709,385件（2025年11月） （神奈川県）33,252件→50,060件（2025年）								
今後の対応								
・継続して年金支給日に特殊詐欺防止周知活動に取り組む。 ・防災・防犯メールを活用し、防犯事案について周知する。 ・青色パトロールを月1回以上実施する。								

主な取り組み

取り組み①	各関係機関との連携強化			
説明	・安全で安心なまちづくりを進めるために、関係機関と連携を図り情報を共有する。			
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none">・市内防犯関係機関と連携強化を図るべく、情報交換を行った。・年金支給日に特殊詐欺防止周知活動（ポケットティッシュ配布）を実施した。			
【参考】 予算事業名	—	【参考】 実績額	—	担当課 防災安全課

具体的施策	⑧ 犯罪のないまちづくりの推進							
KPI	防犯メール登録者数が21,000人以上となっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
15,450人	16,024人	16,139人	16,328人					21,000人以上
進捗状況評価								
C：順調であるとみなせない								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・ 防災訓練などのイベント時や窓口対応などで、防災・防犯メールの登録方法等について周知している。 ・ 目標値と登録者数の乖離が広がる一方で、LINEによる行政情報取得者が増加している。								
今後の対応								
・ 引き続き、イベント時や窓口対応などにおいて、防災・防犯メールの登録方法等について周知する。								

主 な 取 り 組 み

取り組み①	各関係機関との連携強化及び支援				
説明	・ 市民一人ひとりの防犯意識を高め、犯罪を回避するための行動の指針となる情報を提供する。				
2025年度 実施内容	・ 市内防犯関係機関と連携強化を図るべく、情報交換を行った。 ・ 毎月10日（防犯の日）に、防災・防犯メールにより注意喚起等を行い、意識啓発に取り組んだ。				
【参考】予算事業名	—	【参考】実績額	—	担当課	防災安全課
取り組み②	安全・安心に係る情報提供				
説明	・ 各地域の防犯意識が高まり、より多くの市民により防犯・地域安全体制の強化が進められるよう、犯罪回避のための情報提供の推進、防犯情報の共有化、市民、市、警察、防犯協会等の団体との連携強化を支援する。 ・ 地域での防犯情報の共有化を図るため、防犯メール登録者数の増加に努める。				
2025年度 実施内容	・ 年金支給日に特殊詐欺防止周知活動を実施				
【参考】予算事業名	防犯対策事務費	【参考】実績額	416,000円	担当課	防災安全課
取り組み③	市道における適正な防犯灯の確保				
説明	・ 市が公共施設を設置する際、防犯アドバイザーにより、市道における防犯灯の設置など、あらゆる分野における防犯対策のアドバイスを行う。 * 被害対象の回避・強化（犯罪発生要因の除去、対象物の強化を図ること） * 接近の制御（犯罪企図者が被害対象者（物）に近づきにくくすること） * 監視性の確保（多くの人の目が自然に届く見通しを確保すること） * 領域性の確保（領域を明確にして部外者が侵入しにくい環境をつくること）				
2025年度 実施内容	・ 街路灯数4,702灯（令和8年3月31日現在） ・ 適正な街路灯維持管理のため、事業者に維持管理を委託				
【参考】予算事業名	街路灯維持管理事業	【参考】実績額	30,198,787円	担当課	防災安全課
取り組み④	防犯対策事業の推進				
説明	・ 防犯指導及び自主防犯活動の高揚を図ることを目的としている団体へ補助及び支援等をする。				
2025年度 実施内容	・ 逗子市防犯協会に対し補助金を交付 ・ 小坪交番連絡協議会に対し補助金交付				
【参考】予算事業名	防犯対策事務費	【参考】実績額	416,000円	担当課	防災安全課

取り組みの方向	3 歩行者と自転車を優先するまち
<p>自動車交通がもたらす交通事故や交通公害、混雑などを解決するためには、環境負荷の低減を図り、自動車の過度な利用を抑制し、公共交通機関や歩行者、自転車の安全性や利便性、快適性を高める必要があります。</p> <p>わたしたちは、歩行者も自転車も優先することができる社会をめざすことにより、豊かで快適、安全な、生活の質（クオリティ・オブ・ライフ）の高いまちづくりを実現します。</p>	

具体的施策	① 歩行者と自転車を優先するまちの推進							
KPI	<p>居住地域の現在のイメージで、次に掲げる項目の数値を達成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①「歩行者や車イスの人が安全に出歩けるまち」と回答する人の割合が10%以上になっている。 ・②「自転車を利用しやすいまち」と回答する人の割合が10%以上になっている。 							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
①3.5%	①4.4%	①4.2%	①4.3%					①10%以上
②6.0%	②5.8%	②7.5%	②6.3%					②10%以上
進捗状況評価								
B：概ね順調であるとみなせる								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
シェアサイクルポートを積極的に設置をし、自転車を利用しやすい環境を整えつつあるが、歩行者・自転車の共存方法の具体的な方策が示せていない。								
今後の対応								
今後、地域公共交通計画を策定し、自家用車の移動に頼らないまちづくりを具体的に進めていく方策を検討する方針であるため、それらの検討と合わせて進めていく。								

主な取り組み

取り組み①	歩行者と自転車を優先するまち推進事業の推進				
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な立場の方が安全で快適に利用できる交通環境をつくるため、市民参加・参画のもと、地域で交通問題に取り組む仕組みづくりを進める。 ・自動車利用の際、事故、公害、混雑を軽減するために、歩行者、自転車、自動車の棲み分け、共存のあり方を点検するなど、限られた道路空間を有効に活用する工夫と、それを実現する仕組みの検討を行う。 ・主要道路へ自転車走行位置を示す自転車誘導マーク設置の調整を行う。 ・自転車の正しい利用方法に関するキャンペーン、教室の開催など、周知、啓発に努めていく。 ・主に児童、高齢者を対象とした交通安全教育を進める。 ・駅周辺をはじめとした市内の交通環境をより円滑なものとするため、必要な調査等を行う。 				
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者と自転車のまちを考える会の主催で、「ツール・ド・逗子2025」（6月1日）、「逗子カーフリーデー2025」（9月23日）、「トモイク自転車教室」（3月21日）を実施した。 ・シェアサイクル実証実験（経済観光課にて令和元年度より開始）の専用駐輪場（ステーション）を2か所追加設置した。（合計39か所） 				
【参考】予算事業名	—		【参考】実績額	—	担当課 環境都市課

取り組み②	自家用車に頼らないまちづくりの推進			
説明	<p>・自家用車に頼ることなく、誰でも気兼ねなくおでかけできる状態を構築し、それによって地域を持続可能とするため、地域・交通事業者・市等、関係者が一堂に会する場である地域公共交通の活性化及び再生に関する法律にもとづく法定協議会において、地域公共交通計画を策定し、計画に位置付けられた事業を実施する。</p> <p>・地域公共交通計画策定後も、地域公共交通に関する状況を関係者で定期的に共有し、施策の改善を図れる体制を構築する。</p>			
2025年度 実施内容	<p>・地域公共交通計画策定業務委託のため、プロポーザル実施し、事業者選定を行った。</p> <p>・公共交通の目指す姿を明確にするため、関係者等へのヒアリング・市民アンケート調査・モビリティデータの分析を行い、それぞれの結果をもとに、具体的な施策の方向性を検討した。</p>			
【参考】予算事業名	公共交通拡充支援事業	【参考】実績額	16,248,720円	担当課 環境都市課
取り組み③	駐輪場の整備等			
説明	<p>・民間事業者による駅周辺の開発の際には、十分な台数の駐輪場を設置するよう求めていくなど、民間事業者等と協働した駐輪環境の整備を進める。</p>			
2025年度 実施内容	東逗子駅等の無料駐輪場の駐輪環境を改善するため、有料化に向けた駐車需要調査を実施し検討を進めた。			
【参考】予算事業名	公共駐車場維持管理事業	【参考】実績額	7,660,896円	担当課 環境都市課
【参考】予算事業名	自転車等駐車場維持管理事業	【参考】実績額	3,020,438円	担当課 環境都市課
取り組み④	自転車通行帯の明確化			
説明	<p>・主要道路へ自転車走行位置を示す自転車誘導マークを設置する</p>			
2025年度 実施内容	逗子市55号道路舗装工事と合わせて、自転車誘導マークを設置した。			
【参考】予算事業名	道路補修事業	【参考】実績額	63,874,057円	担当課 都市整備課
取り組み⑤	鉄道事業者との連携による通勤電車本数の維持			
説明	<p>・市街地整備に関する必要な事務の一環として、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じて、鉄道事業者へ要望活動を実施する。</p>			
2025年度 実施内容	神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じ東日本旅客鉄道へ朝の通勤・通学時間帯の逗子駅始発上り電車の増発を依頼した。			
【参考】予算事業名	市街地整備事務費	【参考】実績額	27,519円	担当課 環境都市課
取り組み⑥	より快適な通勤環境整備への支援			
説明	<p>・市民が快適に通勤できる環境整備を行う。</p>			
2025年度 実施内容	神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じて、「逗子駅始発上り電車の増発」について、鉄道事業者へ要望した。			
【参考】予算事業名	—	【参考】実績額	—	担当課 企画課

取り組みの方向	4 都市機能の整った快適なまち
<p>市民の安全で快適な都市生活を維持し、拡充を図るため、高齢化の急速な進展や多様化する社会ニーズに対応し、長期的な視点に立った都市機能の整備が必要です。</p> <p>本市の財政状況や限られた土地の利活用の視点、高齢化等への配慮から施設の複合化や多機能化、バリアフリー化を図り、また、地震をはじめとした自然災害等を考慮した都市機能の再編・再整備を計画的に進めます。</p>	

具体的施策	① 公共施設等の更新・統廃合・長寿命化の実施
-------	------------------------

KPI	JR東逗子駅前用地活用に係る構想、計画のもと、2027年度末までに整備した施設が利用されている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
施設整備が実施されていない。	基本計画を策定した	基本設計を実施したが見直しが必要となった	事業費の圧縮に向けた事業の見直しの検討を行ったが、事業休止となった。					整備した施設が利用されている。

進捗状況評価
C：順調であるとみなせない
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）
<ul style="list-style-type: none">・ 複合施設の機能の確保を基本としつつ、事業費の圧縮に向けた事業の見直しの検討を行った。・ 整備する複合施設諸室の一部見直しによる事業費の圧縮は一定程度見込まれるものの、物価及び資材の高騰等が続いている社会情勢や、そうした社会情勢の中で、老朽化の進む浄水管理センター再整備などの大型公共施設整備が見込まれる状況に鑑みて、当分の間、本事業を休止。
今後の対応
<ul style="list-style-type: none">・ 休止中。

主 な 取 り 組 み

取り組み①	公共施設マネジメントの推進				
説明	<ul style="list-style-type: none">・ 行財政改革基本方針において、公共施設マネジメントの取り組みを位置づけ、将来の財政状況を勘案した上で、人口減少、少子高齢化の進展等による公共施設等の利用需要の変化に対応した公共施設のあり方の検討を進める。・ 計画的な予防保全型の修繕・更新の実施によるライフサイクルコストの縮減及び施設の長寿命化を図る。・ 更新に当たっては、既存施設の集約化・複合化・転用を基本とし、全体としての延床面積を減少させる。				
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none">・ 逗子市公共施設整備計画（第1期実施計画）をはじめとする各個別施設計画に基づき、公共施設等の整備事業を行った。・ 令和6年4月に「逗子市の公共施設整備等に関する協定」を締結したミーズ設計連合協同組合（三浦半島を活動地域とする一級建築士事務所で構成する官公需適格組合）と「逗子市公共施設整備計画進行管理支援業務委託契約」を締結し、整備対象施設の現状把握、公共施設整備等に関する定例相談及び個別施設の整備等に関する継続的な相談・支援の支援を受けた。・ 逗子市公共施設整備計画（第1期実施計画）の改定に向け、行財政改革推進本部に公共施設集約化等検討部会を設け、公共施設集約化等についての検討や次期改定に向けた骨子の検討を行った。				
【参考】 予算事業名	行財政改革推進事業	【参考】 実績額	576,893円	担当課	総務課
取り組み②	東逗子地域の活性化をめざしたJR東逗子駅前複合施設整備事業の推進				
説明	<ul style="list-style-type: none">・ JR東逗子駅前の旧国鉄清算事業団用地を有効活用して、公共施設を集約し複合施設として整備することで、駅周辺の快適性、利便性の向上及び地域の活性化を図る。				
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none">・ 複合施設の機能の確保を基本としつつ、事業費の圧縮に向けた事業の見直しの検討を行った。・ 整備する複合施設諸室の一部見直しによる事業費の圧縮は一定程度見込まれるものの、物価及び資材の高騰等が続いている社会情勢や、そうした社会情勢の中で、老朽化の進む浄水管理センター再整備などの大型公共施設整備が見込まれる状況に鑑みて、当分の間、本事業を休止。				
【参考】 予算事業名	—	【参考】 実績額	—	担当課	企画課

具体的施策		② バリアフリーのまちづくりの推進						
KPI	金沢新道踏切について改良工事が完了している。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
協議中	協議中	改良設計完了	JRによる改良工事開始					改良工事完了
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
予定通りJRによる改良工事に着手しており、順調である。								
今後の対応								
令和7年度に引き続き、JRによる改良工事を進めていく。								

主な取り組み

取り組み①	無電柱化の推進							
説明	・歩行空間のバリアフリー化とともに、景観上の観点からも幹線市道の無電柱化を推進する。							
2025年度 実施内容	神奈川県において災害対応力の強化、安全・円滑な交通確保、景観形成の3つの観点から取り組んでいる道路の無電柱化について、県および県内市町村が連携して推進することを目的に「神奈川県無電柱化推進会議」を立ち上げ、将来的な事業予定箇所として、なぎさ通り及び逗子55号を抽出した。							
【参考】予算事業名	道路改良事業				【参考】実績額	23,056,810円	担当課	都市整備課
取り組み②	市道のバリアフリー化の推進							
説明	・2003年（平成15年）に策定した「逗子市交通バリアフリー基本構想」に基づき、市道のバリアフリー化を行う。							
2025年度 実施内容	市役所前の神武寺第4踏切が特定道路となっており、踏切道改良促進法に基づき誘導表示の設置を行った。							
【参考】予算事業名	道路改良事業				【参考】実績額	23,056,810円	担当課	都市整備課
取り組み③	国・県道のバリアフリー化の推進							
説明	・歩道が狭い県道について、無電柱化の検討も含め、神奈川県へバリアフリー化を行うよう要望する。 ・金沢新道踏切の改良について神奈川県へ要望を行い、バリアフリー化を推進する。							
2025年度 実施内容	県道については、引き続き神奈川県に歩道の拡幅等の要望を行っている。 金沢新道踏切についてはJRによる改良工事に着手した。							
【参考】予算事業名	—				【参考】実績額	—	担当課	都市整備課
取り組み④	市民協働による公共施設のバリアフリー化の推進							
説明	・ユニバーサルデザインの視点を取り入れたバリアフリー化を図るため、公共施設整備バリアフリー懇話会にて意見聴取を行い、障がい者や高齢者などが公共施設を安全かつ快適に利用できるよう整備を進める。 ・特に避難施設については、積極的にバリアフリー化を進めていく。							
2025年度 実施内容	逗子市消防署北分署建替工事について、バリアフリー懇話会を1回開催した。							
【参考】予算事業名	障がい者の住みよいまちづくり推進事業				【参考】実績額	478,954円	担当課	障がい福祉課

具体的施策	③ 都市環境の改善							
KPI	防災工事費助成件数が中期実施計画期間中累計で182件になっている。							
2015.4～2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
81件	15件	25件	43件					182件
進捗状況評価								
C：順調であるとみなせない								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
令和7年度は広報等で周知を行ったことや集中豪雨があった影響で、例年よりも相談が多く、補正予算にて増額するなど、実績としても過去2年間より多かった。								
今後の対応								
引き続き防災工事費助成を行うが、事業について広報等で周知を行い広く知ってもらうことで助成件数を増やしていきたい。								

主な取り組み

取り組み①	都市機能を整えるインフラの整備				
説明	・ 個別施設計画（舗装編）に基づき、計画的な舗装修繕工事を行う。 ・ 個別施設計画に基づかない道路についても、道路の状態により修繕を行う。 ・ 県道の拡幅等の整備について、国・県等関係機関に要請する。 ・ 県道24号の交通渋滞の緩和に向け、県に三浦半島中央道路の早期着工を要請する。 ・ 橋りょう長寿命化修繕計画及びトンネル長寿命化修繕計画に基づき、計画的な橋りょう及びトンネルの修繕工事を行う。				
2025年度 実施内容	・ 逗子55号、小坪44号外1、小坪201号及び小坪229号の道路舗装工事を実施した。 ・ 入会橋及び愛染橋の修繕工事を行った。 ・ 県道の拡幅については、引き続き神奈川県に要望を行った。				
【参考】 予算事業名	道路舗装事業	【参考】 実績額	97,594,380円	担当課	都市整備課
【参考】 予算事業名	橋りょう長寿命化事業	【参考】 実績額	4,188,800円	担当課	都市整備課
【参考】 予算事業名	道路改良事業	【参考】 実績額	-	担当課	都市整備課
取り組み②	道路アダプトプログラムの推進				
説明	・ 道路等里親制度を活用した市民協働による道路やポケットパーク等の美化活動を推進する。				
2025年度 実施内容	道路アダプト団体への花苗の配布を年2回行った。				
【参考】 予算事業名	道路維持管理事業	【参考】 実績額	24,146,548円	担当課	都市整備課

取り組み③	街路樹の計画的な管理			
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・道路等を通行する車両や歩行者の安全を確保するために、街路樹を適正に管理する。 ・老朽化した街路樹の多い地域では、植替計画を策定し、計画的な植え替えを行う。 			
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹維持管理業務委託にて、街路樹の維持管理を行った。 ・危険木伐採業務委託等を実施し、街路樹診断結果を元に30本の伐採を実施した。 ・ハイランドでは自治会と協議した上で20本の植え替えを実施した（累計40本）。 ・街路樹の簡易診断を774本行った。 			
【参考】予算事業名	街路樹維持管理事業	【参考】実績額	46,741,851円	担当課 都市整備課
取り組み④	道路の拡幅や隅切り等の整備			
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・狭あい道路整備事業により、道路の拡幅や隅切り等の整備をする。 ・広報誌や特定行政庁の協力を得て、狭あい道路整備事業の啓発を図る。 			
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・申請件数 12件 合計272件 ・寄附延長約106m ・狭あい道路率65.43% 			
【参考】予算事業名	狭あい道路整備事業	【参考】実績額	8,108,487円	担当課 都市整備課
取り組み⑤	長寿命化対策の実施			
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ストックマネジメント計画に基づき、順次対策工事を実施する。 			
2025年度 実施内容	逗子市公共下水道管路施設ストックマネジメント修繕・改築計画策定業務委託（2期）、令和7年度 逗子第五分区污水管布設替工事を実施した。			
【参考】予算事業名	管路建設費	【参考】実績額	129,866,412円	担当課 下水道課
【参考】予算事業名	ポンプ場建設改良費	【参考】実績額	19,250,000円	担当課 下水道課
2025年度 実施内容	遠方監視制御装置改築実施設計他業務委託、第3系列ろ過設備改築工事（令和6・7年度2か年継続工事）、第1・2系列散気装置等改築工事（令和7・8年度2か年継続工事）を実施した。			
【参考】予算事業名	処理場建設改良費	【参考】実績額	776,690,582円	担当課 下水道課
取り組み⑥	地震対策の実施			
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・総合地震対策計画に基づき、順次対策工事を実施する。 ・地震・津波等で被害を受けた場合の下水道業務継続計画（下水道BCP）については、必要に応じて改訂を行う。 			
2025年度 実施内容	令和7年度下水道管路施設耐震化工事を実施したが、試掘調査した結果、支障物件があり、年度内に完了することが出来ず、繰り越した。			
【参考】予算事業名	管路建設費	【参考】実績額	129,866,412円	担当課 下水道課
取り組み⑦	合流式下水道の改善			
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・合流式下水道を改善するため、久木ハイランド地区において雨水管渠等対策工事を順次実施し、更なる分流化を進める。 			
2025年度 実施内容	逗子第5分区雨水渠整備工事を実施したが、試掘調査した結果、支障物件があり、年度内に完了することが出来ず、繰り越した。			
【参考】予算事業名	管路建設費	【参考】実績額	129,866,412円	担当課 下水道課
取り組み⑧	下水処理場等下水道施設の再整備に向けた調査・研究等			
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な下水道事業を推進するため、将来像を見据え令和3年度に策定した浄水管理センター再整備基本構想のもと、引続き必要な調査・研究等を行う。 			
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・浄水管理センター再整備基本構想をブラッシュアップするとともに、日本下水道事業団に業務委託して水処理施設の耐震診断等を実施した。 ・下水処理場再整備の先進事例を視察し、実施計画や施設計画等を調査した。 			
【参考】予算事業名	処理場建設改良費	【参考】実績額	776,690,582円	担当課 下水道課

取り組み⑨	道路沿いのがけ崩れ対策の推進				
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・民有地に関しては、土地所有者に倒木のおそれのある木の伐採や崩落のおそれのある斜面の法面保護工事等についての防災工事費助成制度や急傾斜地崩壊対策事業の説明をしながら、適正な維持管理を行うよう促す。 ・防災性の高いまちづくりを推進するために、ホームページや広報誌で啓発を図る。 ・自治会・町内会や住民自治協議会等と連携して危険箇所の把握や周知を図る。 				
2025年度 実施内容	防災工事費助成を18件行った。				
【参考】予算事業名	防災工事助成事業	【参考】実績額	13,138,000円	担当課	都市整備課
取り組み⑩	市内の交通環境の改善				
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・JR逗子駅前公民連携プロジェクトに係る逗子市基本方針に基づき、交通渋滞の緩和や安全で安心な歩行空間の確保、回遊性の向上や滞留スペースの創出のための整備を行う。 				
2025年度 実施内容	J R 逗子駅前の開発事業者と J R 逗子駅前公民連携プロジェクトに係る逗子市の基本方針に基づき協議を行い、特にJRの商業ビルについては、基本方針に沿って設計を行っていただいている状況。				
【参考】予算事業名	道路改良事業	【参考】実績額	23,056,810円	担当課	都市整備課

取り組みの方向	5 地域資源を生かした個性豊かなにぎわいのあるまち
<p>市街地を囲むみどり豊かな山や青い海の逗子海岸や小坪漁港、これらの逗子の魅力を国内外に向けて発信し続け、人が集い、ふれあいの輪が広がり、地域のにぎわいが生まれるまちをつくります。</p> <p>自然、文化、人という逗子の恵まれた地域資源を、磨き、つなぎ、生かすことにより、地域産業の活性化や個性豊かな産業の創出を図るとともに、住む人、働く人、訪れる人が一体となって、成熟した魅力あふれるまちをつくります。</p>	

具体的施策	① 逗子海岸保全活用事業の推進							
KPI	海水浴客数が40万人になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
86,600人	220,200人	214,900人	245,200人					400,000人
進捗状況評価								
C：順調であるとみなせない								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
<p>・来場者数は2024年に比べて30,300人増加となった。これは、昨年は南海トラフ地震臨時情報の発表や、お盆や最終週に台風が発生したことにより、来場者が落ち込んだものの、2025年はそのような影響もなく、天候にも恵まれた日が多かったことによるとと思われる。</p> <p>・条例等ルールに基づいた安心安全な海水浴場の運営は概ね維持できているものの、事業者によるクラブ化に抵触する行為が行われるなど、ルール認識の甘さが見受けられるなどの課題もある。</p> <p>・海の家営業時間を試行的に21時閉店としたり、試行的イベントを実施し、ファミリービーチとして相応しい振興策となり得るのかを昨年に引き続き検証した。</p> <p>・また、市観光協会を中心とした実行委員会との協働により、逗子海岸に親しみ愛着を持ってもらうためのきっかけづくりを継続して取り組んでいる。特に「逗子海岸ウォーターパーク」は、27,533人と過去最多を大幅に超える利用者数となっており、ファミリービーチの推進に大きく貢献している。</p>								
今後の対応								
<p>・地域住民の生活環境や海水浴場の風紀を維持したうえで、ファミリービーチとしての魅力を高める取組を検討する。</p> <p>・検討にあたっては、引き続き試行的取組を実施し、検証を行う。</p>								

主な取り組み

取り組み①	安全で快適な海水浴場の運営							
説明	<p>・条例に基づく市民、関係団体・機関との協議により、市としての海水浴場の対策を決定し実行する。</p> <p>・海水浴場安全対策の充実を図る。</p>							
2025年度実施内容	<p>・逗子海水浴場の運営に関する検討会での検討・協議を踏まえてルールを策定し、海水浴場を運営した。</p> <p>・マナーアップ警備員外国人通訳アドバイザーの配置や違反者への退場勧告を予告するルール周知啓発看板を設置するなど、周知啓発活動に取り組んだ。</p> <p>・ルール違反や犯罪の抑止のために防犯カメラを設置して周知し、安全安心な利用を促した。</p> <p>・市観光協会を中心とした実行委員会と協働で、「逗子海岸ウォーターパーク」の開設や、「わっしょい逗子海岸」子ども向け体験イベントを開催し、逗子海岸に親しみ楽しむきっかけづくりに取り組んだ。</p>							
【参考】予算事業名	海水浴場運営事業				【参考】実績額	33,153,975円	担当課	経済観光課

取り組み②	海水浴以外の海岸の活用の推進				
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・海水浴以外の逗子海岸の魅力を高めて情報発信する。 ・海岸の利用を促すイベント等を実施する。 ・逗子市観光協会を助成することで、観光客誘致に係る事業を推進し、更なる観光振興を図る。 ・海・浜のルール of 周知を行う。 ・マリンスポーツの普及を図る。 				
2025年度 実施内容	・主な取組として、市観光協会を中心とした実行委員会と協働で、春先に「わっしょい逗子海岸」など子ども向け体験イベントを開催し、海水浴以外の逗子海岸の利用を促した。				
【参考】予算事業名	観光客誘致事業	【参考】実績額	595,446円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	逗子市観光協会助成事業	【参考】実績額	35,028,709円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	海水浴場運営事業	【参考】実績額	33,153,975円	担当課	経済観光課
取り組み③	【3-1再掲】国際環境認証ブルーフラッグの継続取得				
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能で良質な逗子海岸を維持するため、国際環境認証であるブルーフラッグの取得を継続し、市民向けに環境教育のイベント、講座等を実施する。 ・海洋プラスチックごみがもたらす環境への影響、プラスチック製品の使用の注意事項や使い捨て製品の使用を抑える行動を促す等の周知活動を行う。 ・海岸への排水・廃棄の禁止、海の家 of 排水設備の整備促進など海を汚さない取り組みを行う。 ・養浜対策について県に要請する。 ・関係機関を通じ、国に対して養浜対策の技術的支援を要請する。 				
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・逗子海岸営業協同組合と協働で、4年連続で国際環境認証ブルーフラッグを取得した。 ・逗子小学校での出張授業などの環境教育プログラムを協働で実施し、12企画に約1,100人が参加した。 ・海岸への排水対策に向けて、調査研究を行なった。 ・養浜対策について、国及び県へ要望活動を行うことに加え、環境教育プログラムの実施や東京大学と連携した調査研究結果の共有を受けた。 				
【参考】予算事業名	海水浴場運営事業	【参考】実績額	33,153,975円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	海浜美化推進事業	【参考】実績額	10,219,520円	担当課	経済観光課
取り組み④	【3-1再掲】逗子海岸美化活動の推進				
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸利用者にごみ等の散乱防止を啓発するとともに、協力を得て美化活動の実施に努める。 ・アダプトプログラムによる海岸一斉清掃を実施する。 				
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・かながわ海岸美化財団による海岸清掃を99日実施した。（負担金及び一部委託） ・アダプトプログラムによる海岸一斉清掃を11回実施し、約700人が参加した。 				
【参考】予算事業名	海水浴場運営事業	【参考】実績額	32,308,303円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	海浜美化推進事業	【参考】実績額	10,219,520円	担当課	経済観光課

具体的施策		② 商工業振興の推進						
KPI	逗子市商工会の会員数が、1,300人以上になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
1,206人	1,196人	1,201人	1,236人					1,300人以上
進捗状況評価								
B：概ね順調であるとみなせる								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・ 会員増強と会員間交流の促進に役員一同力を合わせて取組み、地域内で様々な協力協業の輪が広がり、脱退者より加入者が上回った。 ・ また、商工会の創業支援事業により、加入者の半分が創業者である。								
今後の対応								
・ 市内事業者が商工会に加入することで、市内商工業事業者間の連携を促進し、市内商工業の活性化に寄与することから、加入数を維持、増加していくために、商工会と連携した事業者支援等に取り組んでいく。								

主な取り組み

取り組み①	逗子市商工会や市内商店街への支援				
説明	・ 商工業者支援に係る方策を計画的に進めるための基本的方向性を定め、商工業の活性化を図り、振興施策の具体化を図る。 ・ 物価高、人件費上昇等社会変化に応じた事業者への相談窓口の設置を支援する。 ・ 商工会と連携し、イベントの実施や周知等の活動を支援する。				
2025年度 実施内容	・ 逗子市商工会や市内商店街の取り組みを支援するための補助事業を実施した。 ・ 社会状況の変化に応じた事業者相談窓口の設置を支援するための補助事業を実施した。 ・ 物価高等により落ち込んだ市内の消費を喚起するために、商店街団体等が実施するイベント開催等の取り組みを支援するための補助事業を実施した。				
【参考】予算事業名	商工業振興事業	【参考】実績額	159,117円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	逗子市商工会助成事業	【参考】実績額	19,152,240円	担当課	経済観光課
取り組み②	地域産業の増収支援や地域資源開発に関する取り組み				
説明	・ 商工会と連携し、地場産品の認定や周知等の活動を支援する。				
2025年度 実施内容	・ 商工会による地場産品の認定や周知等の活動の取り組みを支援する補助事業を実施した。 ・ 商工会と連携し、地場産品をふるさと納税返礼品として認定し、周知PR活動を支援した。				
【参考】予算事業名	逗子市商工会助成事業	【参考】実績額	19,152,240円	担当課	経済観光課
取り組み③	ふるさと納税に関する取り組み				
説明	・ 商工会と連携し、ふるさと納税返礼品を推進する活動を支援する。 ・ ふるさと納税の電子ポイント返礼品や体験型返礼品を市内事業者と創出し、まちの魅力発信を行う。				
2025年度 実施内容	・ 商工会と連携し、新たな返礼品の開発や事業者の開拓を行った。 ・ 通常のモノの返礼品のみならず、コト消費を促進する体験利用券取扱店や電子ポイント返礼品加盟店の増加を図り、商工会と連携して、まちの魅力発信を行なった。				
【参考】予算事業名	逗子市商工会助成事業	【参考】実績額	19,152,240円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	観光客誘致事業	【参考】実績額	595,446円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	逗子市観光協会助成事業	【参考】実績額	35,028,709円	担当課	経済観光課

具体的施策	③ 小坪漁港を中心とした小坪海浜地域活性化の推進							
KPI	小坪漁業協同組合が観光等の組み合わせによる漁業体験等を事業として実施し、年間280人以上参加している。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
60人	341人	308人	717人					280人以上
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
<p>・漁業に使わない時間帯や時期に漁師が操船する漁船を有効活用する「小坪漁師タクシー」の事業化に向けて、小型旅客船の法改正に伴う必要な装備及び手続等の支援を行うとともに、マルシェのイベントとの同時運航による定期運航や随時運航を支援した。</p> <p>・民間企業と小坪漁業協同組合や漁業者との連携を支援し、漁業体験イベントを複数回実施した。</p> <p>・2023年度に策定した小坪漁港海業振興計画＜骨子＞を基に、「小坪漁港の海業振興に関する検討会」で協議・検討を行い、「小坪漁港機能増進基本計画」（小坪漁港海業振興基本計画）を策定した。</p>								
今後の対応								
<p>・2026年度も引き続き新制度対応のための必要な支援を行うとともに、今後の航路拡大のための支援を行う。</p> <p>・漁業者と民間企業や市民団体等が連携し、漁業体験コンテンツの創出、自走化に向けた支援を行う。</p> <p>・「小坪漁港機能増進基本計画」（小坪漁港海業振興基本計画）に基づき、個別の漁業者との調整、漁業振興センター裏空地の舗装工事等を進める。</p>								

主な取り組み

取り組み①	小坪漁港活用・活性化（海業）の推進				
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・漁港の新たな活用及び活性化のために関係者の意見を踏まえた活性化と老朽化対策を加味した漁港整備を実施する。 ・漁業と観光等の組み合わせによる新たな事業の展開を支援する。 ・漁港付近に市民と生産者の交流をできる場を設け、地域住民の利便性の向上と新しいにぎわいの創出を図る。 ・サザエ・アワビの稚貝放流や磯焼け対策など漁場整備を支援する。 ・地元漁獲物、加工品等のPRを行う。 				
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「令和5年度小坪漁港海業振興計画＜骨子＞」を基に「小坪漁港の海業振興に関する検討会」において協議・検討し、「小坪漁港機能増進基本計画」（小坪漁港海業振興基本計画）を策定した。 ・小坪漁業協同組合が観光との組み合わせによる試行的取組を支援するための補助事業を実施した。 ・「小坪漁師タクシー」の実証実験を協働で行い、9日間の運航で187人が乗船した。（2日間は荒天等により中止） ・民間企業と漁業者が実施する漁業体験イベントに協力し、3企画55人の参加があった。 ・2024年度に漁業者及び民間企業と共同で受託した「かながわ海業モデル創出事業業務委託」を踏まえ、学校単位での漁業体験プログラム開発に継続的に取り組んだ。 ・漁業者や市民団体、市観光協会が漁港で開催するイベントの開催に協力し、7回約7,300人の来場があった。 ・サザエ・アワビの稚貝放流に補助金を交付し、サザエ47,000個、アワビ5,000個が稚貝放流された。 				
【参考】予算事業名	小坪漁港活用・活性化促進事業	【参考】実績額	3,723,227円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	水産業振興事業	【参考】実績額	6,674,738円	担当課	経済観光課
取り組み②	小坪海浜地域の活性化の推進				
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・小坪漁港の活用・活性化の取り組みと施設整備の状況を踏まえて、逗子マリーナ及び小坪マリーナを含む小坪漁港周辺一帯と連携を図り、小坪海浜地域の活性化に取り組む。 				
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「令和5年度小坪漁港海業振興計画＜骨子＞」を基に「小坪漁港の海業振興に関する検討会」において協議・検討し、「小坪漁港機能増進基本計画」（小坪漁港海業振興基本計画）を策定した。 				
【参考】予算事業名	小坪漁港活用・活性化促進事業	【参考】実績額	3,723,227円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	漁港施設維持管理事業	【参考】実績額	260,645円	担当課	経済観光課

具体的施策	④ 創業への支援							
KPI	創業支援事業計画に基づき、創業に至った者が中期実施計画期間中累計で50件になっている。							
2017.4～2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
22件	35件	50件	54件					50件
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・創業支援ネットワークとの連携して、対面、オンデマンドでの創業スクールの開催や市広報誌で特集記事を掲載するなど、市内での創業の機運づくりに力を入れて取り組んだ。								
今後の対応								
・今後も継続して、創業支援等事業計画に基づき、創業支援ネットワークとの連携を密にし、市内で創業したい人や創業まもない人へのきめ細かな支援や、創業希望者を掘り起こすための機運づくりに向けて、取り組みを推進していく。								

主な取り組み

取り組み①	創業支援事業等の推進							
説明	・金融機関や商工会と連携している創業支援ネットワークを活用し、第二創業を含めた創業の準備から、融資、PRの場の提供等、創業から安定的な事業運営に至るまでの助言や支援を行う。 ・女性や若者も活躍できるような新たな産業などの創出に向けた支援策の調査・研究を行う。 ・事業承継を希望する中小企業者に対し、支援を行う。							
2025年度 実施内容	・創業支援ネットワークと連携し、対面、オンデマンドの創業スクールを開催し、136名の参加があった。 ・2023年1月から商工会が創業を考えている人や創業まもない人などへ貸出を始めたキッチンカー「走るチャレンジショップ ドリームキッチン」の運用にあたり、公用地を貸し出すなどの支援を行った。							
【参考】予算事業名	逗子市商工会助成事業				【参考】実績額	19,152,240円	担当課	経済観光課

具体的施策	⑤ 多様な働き手、柔軟な働き方の支援							
KPI	女性の個人市民税所得割課税額が14％増加している。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
1,122,484千円	1,217,329千円	1,232,594千円	1,354,949千円					1,279,632千円 (14％増加)
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
本市では、35歳から39歳までの女性の労働力率が低く、その背景には子育てをする方の通勤の難しさ等があると考えられる。そこで、子育て等の理由により離職した女性が、自身のライフスタイルに合った働き方としてテレワーク就業をするためのスキルアップを図り、地域への定住促進や地域経済の活性化を図るため、逗子市女性のテレワーク支援を実施した。在宅ワークのスキルアップセミナーやキャリアカウンセリング、就業マッチングまでのプログラムを提供し、参加者の就業支援を行った。								
今後の対応								
引き続き、ライフスタイルに合った働き方のできる環境の創出、スキルの向上を図ることを検討・実施していく。								

主な取り組み

取り組み①	テレワーク等の推進に関する取り組み							
説明	・テレワーク等の推進を図る。							
2025年度 実施内容	子育て等の理由により一度離職した女性が、時間にとらわれず自宅で仕事ができるようにテレワークのスキルアップセミナーを開催する女性のテレワーク支援事業を実施し、テレワーク就業に向けて取り組んだ。							
【参考】予算事業名	—				【参考】実績額	—	担当課	企画課
取り組み②	女性の就労支援							
説明	・自分らしく働き、暮らしやすいまちをめざすため、ライフスタイルに合った働き方のできる環境の創出・スキルの向上等を図る。							
2025年度 実施内容	子どもを預けながら働くことができる環境の創出を目指して、保育的機能を有する事業所開設の支援を行ってきたが、2024年度からは、より柔軟な「女性の新しい働き方」として時間にとらわれず自宅で仕事ができるテレワーク就業に向けたスキルアップセミナーを開催する女性のテレワーク支援事業を実施し、女性の就業支援を行った。 2024年度はオンラインのみのセミナーだったが、2025年度は逗子市商工会との連携により地域で活躍するロールモデルとなる女性による講演会を対面形式で実施した。対面形式の講座は多くの参加者から好評を得られ、自分らしく働くことの棚卸等を通じ、参加者同士のコミュニティの中で逗子市内で暮らしながら自分らしく働くことを目指すモチベーションの増加に寄与した。							
【参考】予算事業名	関係法人等創出事業				【参考】実績額	3,497,249円	担当課	企画課
取り組み③	就労等に関する情報の提供							
説明	・公共職業安定所や神奈川県からの就労等に関する情報を提供する。							
2025年度 実施内容	・公共職業安定所や神奈川県からの就労等に関する情報について、公共施設でチラシ等を配架した。							
【参考】予算事業名	—				【参考】実績額	—	担当課	経済観光課

具体的施策	⑥ 観光振興の推進							
KPI	入込観光客数が105万人/年になっている。							
2021年	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
589,042人	852,889人	839,521人	832,274人					1,050,000人
進捗状況評価								
B：概ね順調であるとみなせる								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・コロナ禍が落ち着いたことでイベントが再開され、新たなイベントも開催されたが、天候によりNIGHT WAVE等が中止となったため、入込観光客数が減少した。								
今後の対応								
・市民との協働でのまちの魅力向上の取り組みを推進するとともに、国や民間財団等の補助金の活用を検討するなどにより、既存の取り組みの継続や新たな取り組みの創出を図っていく。								

主な取り組み

取り組み①	逗子市観光協会への助成				
説明	・ 逗子市観光協会と連携し、逗子の身近な自然や歴史・文化の魅力を発見するイベントを市民や市民団体と企画・実施する ・ 逗子市観光協会と連携し、逗子市の認知度と、まちの魅力を高め集客力の向上と地域の活性化を図る ・ 逗子市観光協会への支援を行う。				
2025年度 実施内容	・ 市観光協会や実行委員会と連携し、逗子海岸保全活用事業として、子ども向け体験イベント「わっしょい逗子海岸」などのイベントを実施し、まちの魅力向上と愛着醸成につなげた。 ・ 市観光協会と共催で逗子海岸花火大会を開催し、約10万人の来場があり、まちの認知度向上と魅力発信につなげた。				
【参考】予算事業名	観光客誘致事業	【参考】実績額	595,446円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	逗子市観光協会助成事業	【参考】実績額	35,028,709円	担当課	経済観光課
取り組み②	逗子の魅力向上事業の推進				
説明	・ 逗子の身近な自然や歴史・文化の魅力を発見するイベントを市民や市民団体と企画・実施する。 ・ 逗子の特徴を生かし、市民と来訪者が「また訪れたい」「いつか訪れたい」から「住みたい」気持ちになるように、異なる季節や場所にて楽しめる観光をホームページ、案内板及びイベント等を通じて紹介する。				
2025年度 実施内容	・ 市観光協会を中心とした実行委員会と協働で、魅力発信の情報発信に加えて、逗子旅＋プロジェクト事業を行い、自然や歴史・文化を発見するイベントを開催し、4企画698人の参加があった。				
【参考】予算事業名	観光客誘致事業	【参考】実績額	595,446円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	逗子市観光協会助成事業	【参考】実績額	35,028,709円	担当課	経済観光課

取り組み③	観光情報発信の充実				
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・多種多様な媒体を活用として、逗子市の認知度と、まちの魅力を高め、集客力の向上と地域の活性化を図る。 ・逗子の特徴を生かし、市民と来訪者が「また訪れたい」「いつか訪れたい」から「住みたい」気持ちになるように、異なる季節や場所にて楽しめる観光をホームページ、案内板及びイベント等を通じて紹介する。 ・県及び近隣各市町と連携し、観光客の誘致を行う。 				
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・逗子市観光協会と連携し、まちの認知度と魅力を高めるためにウェブを中心とした情報発信を行なった。 ・フィルムコミッションとしてまちの魅力の向上につながる撮影に協力支援し、市内で103件の撮影があった。 				
【参考】予算事業名	観光客誘致事業	【参考】実績額	595,446円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	逗子市観光協会助成事業	【参考】実績額	35,028,709円	担当課	経済観光課
取り組み④	【再掲】ふるさと納税に関する取り組み				
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会と連携し、ふるさと納税返礼品を推進する活動を支援する。 ・ふるさと納税の電子ポイント返礼品や体験型返礼品を市内事業者と創出し、まちの魅力発信を行う。 				
2025年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会と連携し、新たな返礼品の開発や事業者の開拓を行った。 ・通常のモノの返礼品のみならず、コト消費を促進する体験利用券取扱店や電子ポイント返礼品加盟店の増加を図り、商工会と連携して、まちの魅力発信を行なった。 				
【参考】予算事業名	逗子市商工会助成事業	【参考】実績額	19,152,240円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	観光客誘致事業	【参考】実績額	595,446円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	逗子市観光協会助成事業	【参考】実績額	35,028,709円	担当課	経済観光課
取り組み⑤	逗子市広報大使による発信				
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・逗子にゆかりがあり、様々な分野で活躍されている方による、逗子の魅力や情報の発信を行う。 				
2025年度 実施内容	各広報大使の活動において、広く魅力を発信した。				
【参考】予算事業名	広聴広報事務費	【参考】実績額	2,791,863円	担当課	企画課

逗子市総合計画

進行管理表

第5節

柱	第5節 新しい地域の姿を示す市民主権のまち							
めざすべきまちの姿	<p>市民は、市政の主権者であり、まちづくりに参加する権利を有します。</p> <p>わたしたちは、主権者である市民として、互いに尊重し合いながら、その人のもつ個性や能力を十分に発揮できる地域社会をつくっていきます。また、グローバル化した社会の中で、地域や国を越えて、世界に貢献していきます。</p> <p>わたしたちは、地域社会、さらには世界の一員として主体的に行動する市民主権のまちをつくりまします。</p>							
目標	新しい地域の姿を示す市民主権のまちをめざす市の取り組みに満足している人の割合が10ポイント増加している。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
未実施	64.1%	66.7%(65.8%)	68.5%(67.5%)	(69.2%)	(70.9%)	(72.5%)	(74.1%)	74.1%
進捗状況評価								
A：順調である								

取り組みの方向	1 市民自治のまち
<p>逗子のまちづくりを担っているのは、市民一人ひとりです。自分のことだけでなく、他人や地域、自然のことを自分のことのように考え、行動することができる市民の姿が望まれます。</p> <p>また、逗子に住み、働き、学び、交わるあらゆる主体が、地域の一員として、考え、行動し、それぞれの関係の中で互いの理解を深め、担い合い支え合うことにより、心豊かな市民自治のまちを実現します。</p>	

具体的施策	① 住民による自治活動の推進							
KPI	住民自治協議会が組織され、その活動が防災防犯、環境や福祉など複数の領域で実施されている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
5 小学校区のうち 4 小学校区で組織 されている	逗子小学校区 内の自治会へ 働きかけ	逗子小学校区 内の自治会へ 働きかけ	逗子小学校区 内の自治会へ 働きかけ					住民自治協議会が 組織され、その活 動が防災防犯、環 境や福祉など複数 の領域で実施され ている。
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・ 逗子小学校区の立ち上げが課題。								
今後の対応								
<p>・ すでに立ち上がっている4小学校区は引き続き支援を行う。</p> <p>・ 逗子小学校区については、広域であり、海岸、中心市街地、住宅地が混在していることから、小学校区単位でまとめることが難しいと考えている。小学校区の単位でなくても柔軟に対応することを視野に入れ、自治会・町内会の意向を確認しながら働きかけを行っていく。</p>								

主な取り組み

取り組み①	住民自治協議会の支援				
説明	・ 市民が自ら課題を見つけ解決する地域コミュニティの醸成を図るため、住民自治協議会に対して財政支援、活動場所の提供その他必要な支援を行う。 ・ 未設立の地域に対し、住民自治協議会の設立を支援する。				
2025年度 実施内容	地域づくり交付金の交付、住民協連絡会の実施、地域担当職員の派遣を行った。				
【参考】予算事業名	地域自治システム推進事業	【参考】実績額	2,507,697円	担当課	市民協働課
取り組み②	ふれあい活動の推進				
説明	・ 互いの顔が見え、交流でき、歩いて行ける範囲において行われる「ふれあい活動」を推進する。				
2025年度 実施内容	空き家を活用した池子やまとしょしつにかかる固定資産税分を交付した。				
【参考】予算事業名	コミュニティ活動推進事業	【参考】実績額	1,154,300円	担当課	市民協働課

具体的施策	② 市民活動の推進							
KPI	市内で活動している市民団体が500団体になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
407団体	424団体	390団体	432団体					500団体
進捗状況評価								
B：概ね順調であるとみなせる								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・市民活動の拠点となる市民交流センターにおいて、窓口支援の強化や施設修繕等による環境整備に取り組み、登録団体数は増加傾向にある。								
今後の対応								
・市民交流センターと連携し、市民団体の抱える諸問題（世代交代など）を聞き取り、解決策を提案するなど、市民活動の活性化を図る。								

主な取り組み

取り組み①	市民協働推進事業の推進							
説明	・市民協働を推進するための制度の運用や市民活動を円滑に行うための支援を行う。							
2025年度 実施内容	・市民が安心して市民活動等に取り組めるよう、市民活動補償制度等を実施した。							
【参考】予算事業名	市民協働推進事業				【参考】実績額	249,326円	担当課	市民協働課
取り組み②	市民活動の場の確保							
説明	・市民交流センターの運営や市民活動のコーディネートを行う。							
2025年度 実施内容	・市民交流センターにて市民団体のアンケート調査等、コーディネートを行った。							
【参考】予算事業名	市民交流センター維持管理事業				【参考】実績額	62,509,666円	担当課	市民協働課
取り組み③	逗子市市民活動・生涯学習情報サイトの充実							
説明	・ポータルサイトの運営を行う。							
2025年度 実施内容	・ポータルサイト「ナニスル」の運営を行った。							
【参考】予算事業名	市民交流センター維持管理事業				【参考】実績額	62,509,666円	担当課	市民協働課

具体的施策	③ 行政活動に対する市民参加の推進							
KPI	パブリックコメントにおいて、1 案件当たりの意見提出数の平均が20件を超えている。							
	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
23件（2021年度） 8.8件（2018年度～ 2020年度平均）	10.4件	13.0件	11.9件					21件以上
進捗状況評価								
B：概ね順調であるとみなせる								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・ 関連所管に市民参加制度審査会への参加説明、パブコメなどHP周知、結果の公表を依頼している。								
今後の対応								
・ 関連所管に市民参加制度審査会への参加説明、パブコメなどHP周知、結果の公表を依頼している。								

主な取り組み

取り組み①	市民参加制度の運用							
説明	・ より効果的な市民参加が図られるよう、市民参加の手法や時期を的確に選択して市民参加制度を運用するとともに、制度の見直しを行う。							
2025年度 実施内容	・ 市民参加制度審査会を2回実施した。							
【参考】予算事業名	市民参加制度審査会経費				【参考】実績額	167,050円	担当課	市民協働課

取り組みの方向	2 誰もが尊重され、自由で平等なまち
その人の持つ個性、人格そのものや能力が尊重され、それらが十分に発揮できるまちづくりを推進し、誰もが、性別、国籍、障がい等によって差別されることなく人権が尊重され、自由で平等な参画が保障されているまちをめざします。	

具体的施策	① 人権啓発活動の推進							
KPI	「逗子市は、人権が尊重されているまちだ。」と感じる市民の割合が70％を超えている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
未実施	69.70%	70.60%	76.10%					70％超
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
<ul style="list-style-type: none">・ ずし人権を尊重するまちづくり指針（逗子市人権施策推進指針）を策定した。・ 特設人権相談について、LINE等により積極的に情報発信をした。								
今後の対応								
<ul style="list-style-type: none">・ ずし人権を尊重するまちづくり指針（逗子市人権施策推進指針）を周知し、人権意識の更なる向上を図る。・ ホームページやSNSなどを活用し、引き続き積極的な情報発信に努める。								

主な取り組み

取り組み①	人権意識向上のための啓発活動				
説明	・ 人権意識の向上を目的とした講座や講演会を実施する。				
2025年度 実施内容	・ 人権メッセージパネル展（同時開催：特定失踪者パネル展示）を開催した。（2025年12月2日～10日） ・ 人権の花運動を5小学校で実施した。 ・ 市民まつりにて啓発活動を行った。				
【参考】予算事業名	人権推進事業	【参考】実績額	1,820,666円	担当課	市民協働課

取り組み②	人権に関する相談等への対応				
説明	・ 人権に関する相談や苦情について、関係機関へつなぐ等適切な対応を図る。				
2025年度 実施内容	特設人権相談を実施した。（2025年6月2日、12月8日）				
【参考】予算事業名	人権推進事業	【参考】実績額	1,820,666円	担当課	市民協働課

取り組み③	人権指針の検討				
説明	・ 人権が尊重されるまちづくりに向けて、人権指針の策定について検討する。				
2025年度 実施内容	人権に係る講演会や関係機関との会議等において、人権指針策定に係る周知を行った。				
【参考】予算事業名	人権推進事業	【参考】実績額	1,820,666円	担当課	市民協働課

具体的施策	② 男女平等参画の推進							
KPI	「男女の地位が平等」と感じる人の割合が50%を超えている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
15.8%	18.90%	22.20%	20.50%					50%超
進捗状況評価								
C：順調であるとみなせない								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進するための啓発事業として、職員課と合同で職員研修を実施した。								
今後の対応								
ホームページやSNSなどを通じて、引き続き積極的な啓発活動に取り組む。								

主な取り組み

取り組み①	ずし男女平等参画プラン2030の推進							
説明	・男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進するための意識を高める啓発活動や、市の審議会や各種委員会における男女数の比率の偏りをなくすことなどから、政策や方針決定の場における男女平等参画の推進を図る。							
2025年度 実施内容	・ずし男女平等参画プラン推進会議を4回開催した。 ・啓発事業「親子で学ぼう！子どもの護身法」（参加者26人）、デートDV予防ワークショップ（参加212人）、「仕事や家庭で役立つコミュニケーション講座」（参加者24人）、職員研修（動画視聴）「男女平等参画及び多様性を尊重する意識を高めるための研修」（参加者485人）を実施した。							
【参考】予算事業名	男女平等参画プラン推進事業				【参考】実績額	4,561,587円	担当課	市民協働課
取り組み②	相談体制の充実							
説明	・ドメスティック・バイオレンス（DV）等の暴力の未然防止・根絶のため、啓発活動を行うほか、関係機関と連携をし、相談体制の充実を図る。							
2025年度 実施内容	女性相談を実施した。（相談件数290件）							
【参考】予算事業名	男女平等参画プラン推進事業				【参考】実績額	4,561,587円	担当課	市民協働課

取り組みの方向	3 世界とつながり、平和に貢献するまち
<p>ICTの進化や移動時間の短縮化など、科学技術のめざましい発展を背景に、世界との距離は加速度的に近くなっています。</p> <p>市民の誰もが国際性を身につけ、池子米軍家族と培ってきた日米親善交流を礎に、さらに多くの世界の人々や都市との交流、協力を進め、逗子から世界に向けて、世界の恒久平和や調和ある発展についてメッセージを発し、貢献するまちをめざします。</p>	

具体的施策	① 国際交流・国際理解の推進							
KPI	フェアトレードの認知度が50%を超えている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
39.4%	45.0%	44.6%	44.50%					50%超
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・逗子フェアトレードタウンの会と共催し、イベント等を協働で行っている。認知度については2025年度は0.1ポイント減少しているが、商品を購入したことがあるについては2025年度は4.1ポイント増加している。年次計画上は概ね順調であると考えている。								
今後の対応								
・引き続き逗子フェアトレードタウンの会と共催し、さらに市民に国際理解の醸成を図るため、市民の国際性を高めるテーマを取り扱うなど工夫し、事業を継続していく。								

主な取り組み

取り組み①	国際交流推進事業の推進							
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の国際感覚の醸成と国際理解の増進、地域の国際化の推進を図るため、講座等を開催する。 ・外国籍市民との交流の機会を設ける。 							
2025年度 実施内容	・交流センターやコミュニティセンターなど多文化共生、外国人の相談窓口など国際理解の推進、地域の国際化の推進に関する情報提供・啓発を実施。							
【参考】予算事業名	国際交流推進事業				【参考】実績額	316,097円	担当課	市民協働課
取り組み②	フェアトレードタウンの取り組みの支援							
説明	・フェアトレードタウンとして、国際理解を進めるための講座やイベントなどを市民団体と協力して開催する。							
2025年度 実施内容	・フェアトレード/ローカルランチキャンペーン、フェアトレードフォーラム、フェアトレード連続講座を実施。							
【参考】予算事業名	国際交流推進事業				【参考】実績額	316,097円	担当課	市民協働課

具体的施策	② 非核平和の推進							
KPI	平和イベントへの参加者数が3,000人を超えている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
約710人	約1,030人	約1,900人	約2,300人					3,001人以上
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・ ずし平和デー実行委員会と共催し、イベント等を協働で行っている。								
今後の対応								
・ 引き続き、ずし平和デー実行委員会と協働し、これからの世代につないでいくために、世代間交流が図れるイベントを実施するなど工夫し、事業を継続していく。								

主な取り組み

取り組み①	非核平和推進事業の推進							
説明	・ 市民が非核平和について考える機会を提供するため、「ずし平和デー」を市民団体との共催により開催する。							
2025年度 実施内容	・ 2025ずし平和デーを実施。例年企画（パネル展示、紙芝居、ワークショップなど）に加え、戦後80年特別企画として、戦争体験者や被爆者の講演会を開催した。							
【参考】予算事業名	非核平和推進事業				【参考】実績額	227,144円	担当課	市民協働課

総合戦略における進捗状況評価一覧

基本目標	数値目標	進捗状況評価
1 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	出生数が280人/年を維持している。	B
2 逗子市への新しいひとの流れをつくる	5年間の転入超過数が累計で1,000人になっている。	C
3 逗子市に暮らしながら「しごと」の希望をかなえる	個人市民税納税義務者数が31,450人になっている。	B
4 魅力的で、誰もがいつまでも安心して健康に暮らせるまちづくりを推進する	「今住んでいる場所に住み続けたい」「市内の他の場所へ移りたい」と回答する人の割合が90.0%になっている。	B

逗子市
まち・ひと・しごと
創生総合戦略

進行管理表

総合戦略の基本目標と基本的方向

※各年度の（ ）は当該年度の想定目標

総合戦略における基本目標と効果を客観的に検証するための数値目標、講ずべき施策の基本的方向は次のとおりです。

総合計画と総合戦略を一体化するにあたり、中期実施計画の中に総合戦略の主な取り組みを位置付け、これを推進す

基本目標 1 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

進捗状況評価

B：概ね順調であるとみなせる

指標	出生数が280人/年を維持している。					
2023年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	目標
277人	264人(280人)	(280人)	(280人)	(280人)	(280人)	280人/年
基本的方向	<ol style="list-style-type: none"> 若い世代が結婚・妊娠・出産・育児をしやすい環境づくりを進める。 子どもたちが学びやすい環境整備をさらに進め、子どもたちの生きる力をより一層高める教育を実践する。 誰もが働きながら子育てしやすい環境を整えるなど、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みを進める。 					

基本目標 2 逗子市への新しいひとの流れをつくる

進捗状況評価

C：順調であるとみなせない

指標	5年間の転入超過数が累計で1,000人になっている。					
2023年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
1,071人	44人(200人)	(400人)	(600人)	(800人)	(1000人)	1,000人
基本的方向	<ol style="list-style-type: none"> 逗子市での居住を潜在的に希望している層を、逗子市への移住に確実に結びつけ、逗子市への定住を促進する。 「また訪れたい」「いつか訪れたい」から「住みたい」という気持ちになるようなシティプロモーションを推進する。 					

基本目標 3	逗子市に暮らしながら「しごと」の希望をかなえる
---------------	--------------------------------

進捗状況評価
B：概ね順調であるとみなせる

指標	個人市民税納税義務者数が31,450人になっている。					
2023年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
28,926人	29,272人 (29,768人)	(30,189人)	(30,610人)	(31,031人)	(31,450人)	31,450人

基本的方向	<p>1 東京・横浜への通勤圏に位置する住宅都市として発展してきた逗子市の性格を踏まえ、逗子市に暮らしながら快適に「しごと」が行えるよう環境整備を進める。</p> <p>2 商工業や漁業など逗子市の地域産業の活性化を図る。</p> <p>3 ダイバーシティ（多様性）を受け入れながら、若者、女性、高齢者、障がいのある人などあらゆる立場の人が活躍できるよう、就労支援や新たな「しごと」の場などの創出を目指す。</p>
-------	---

基本目標 4	魅力的で、誰もがいつまでも安心して健康に暮らせるまちづくりを推進する
---------------	---

進捗状況評価
B：概ね順調であるとみなせる

指標	「今住んでいる場所に住み続けたい」「市内の他の場所へ移りたい」と回答する人の割合が90.0%になっている。					
2023年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
87.1%	87.6%(88.1%)	(88.6%)	(89.1%)	(89.6%)	(90.0%)	90.0%

基本的方向	<p>1 市民の誰もが逗子市に住んでいることを誇りに思い、「いつまでも住み続けたい」と思えるような、魅力的な地域づくりを進める。</p> <p>2 市民同士のつながりを深め、安全安心のまちづくりを進める。</p> <p>3 誰もがいつまでも健康でいきいきと暮らせるような環境づくりを進める。</p>
-------	---

逗子市総合計画進行管理表

発行 | 逗子市（経営企画部企画課編集）

〒249-8686 神奈川県逗子市逗子 5 丁目 2 番 16 号

TEL 046-873-1111（代表）

FAX 046-873-4520